



伊藤音次郎日記

1943(昭和 18)年

文字データ作成: 一般財団法人 日本航空協会 2018(平成 30)年 6 月

* お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。

一般財団法人日本航空協会
航空遺産継承基金事務局

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-1

電話 03-3502-1207

ファクス 03-3503-1375

電子メール isan@aero.or.jp

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会



▲▼2ページ▲▼ 昭和十八年要記

國家方針ニ従ヒ違背セザル事
常ニ感謝ノ念ヲ第一トシ報恩ヲ心掛クベキコト
スベテニ不平ナキ事 特ニ食事ニ小言申マジキ事

▲▼4ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月1日(金)

天気 晴

五時五十分起床 四方拝 大神宮、佛壇参拝後航空神社参拝 雲多ク日出拝セズ
氏神ニ参ル 祝膳ヲ終ラナイ内カラ参吉、青木提橋近藤光外一名來 太田、布施、島
兄、上岡兄弟、藤原、廻間、鈴木菊雄、勝野等相ツイデ來
兄清平ツル姉参吉君子小供二人ト晝食ヲ共ニス 五時頃ヨリ野口君訪問 勝野ノ件
先月中ニテ打切ルコトニ話取キメル 坂下町長ト六日夜九時カラ十時迄ノ間ニ志奈志
ニテ会フコトヲ約束シ、尾鷲材ノ板ニ枚貫フコトヲタノンデ帰ル
夜徳治帰ル 明日ノ出發準備ス 和子熱アリ アスピリンヲノマス

▲▼5ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月2日(土)

天気 晴

時事 初旅を、寿く如く、初日出
幸福を 身一杯の 有難さ

留都(ママ)中ノコト仁三郎エミ子ニ頼ミ徳治モ揃ッテ御祝ヒシテ七時十分前出カケル
昨日拝メナカッタ初日出ガ正ニ顔ヲ出シタバリ(ママ)デ前途ヲ祝福スル如クデアッタ
又車中富士ガヨク見エタ 岐阜ヲ過ギルト曇ッテ一時ハ雪ガ大分降ッタ 京都ハ又晴レ
テ居タ 実ニ幸福ナ日デアッタ 車中ハ横浜カラ乗ッタ人達ハ乗席ガナカッタガ大シテ
混雑スル程デナカッタ
ステーションホテルニツキ食後家内ト和子ハ入浴シテスグ床ニ入ル 自分ハ七時ニ長尾ト
会见 一時間余リ。初メテ諸般ノコトニツキ意見ヲカワス 清平ニ業務ヲヤラセルコトモ
タノム 終ッテ入浴 床ニ入ル 七時半カラ十時過ギ迄スチームガ通ッテ居タダケデ実
ニ寒カッタ

▲▼6ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月3日(日)

天気 晴

昨夜カラ相談シテ家内モ自分モ見タコトノナイニ條城ヲ見テ同所カラ平安神宮清水寺カラ三十三間堂ヲ最后トシテ桃山ニ行ク予定ヲ立テタ。ニ條城デ御殿ノ拝観デ時間ガカ、リ一時ニ清水サンヲ終ツタノデ三十三間堂ヲ取ヤメホテルデ預ケタ荷物ヲ受取り奈良線ニテ桃山ニ参拝 再ビ湊町行キ四時三十三分デ奈良ニ向フ 余リコムノデ二等ニ乗り替ヘ車掌ニコトワル 後チ切符改メニ來タ時ニモ話シタノニ後ニ來ルトテ、ツヒニ來ナカッタ 五時二十一分着 止ムナク其マ、出ル 何ンダカ氣ニナル 歩イテ閑急前ノ新温泉ニ行ク。考ヘルト以前中君ガ説明シテ居タ、川西ノグライダーヲ展観シタ建物デアッタ

徳川の 栄枯をしのぶ 二條城

▲▼7ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月4日(月)

天気晴

約束ノ八時ニ車來 丁度二時間デ一通リ見物ヲ終ル 鹿ガ沢山ヨク慣レテ居ルノデ和子ガヨロダ(ママ) 汽車デ法隆寺ニ行キ拝観 持參ノ本ニ印ヲ押シテ貫ヒヨイ記念ニナツタ。次ハ閑急ニテ三時ヨリウネビ御陵ト檀原神宮ニ参拝 此間チラ、雪降ル 五時十分上六着 市電ニテ恵美須町ニ行ク スグ竹島ヘ挨拶ニ行ク 夜姉來 間モナク清平ノ一行モツキ賑ヤカニ夕食ヲ共ニス。富田ノ父ト兄來 清平ヨリ新会社ニツキ諒解ヲ求ム 十一時過ニ床ニツク 姉モ泊ル

角のなき 鹿をあつめて 兎は嬉し

日の本の 栄の基 あをぐかな

▲▼8ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月5日(火)

天気晴

家内ハ髪ヲ作りニ 自分ハ和子ヲ連レテ住吉神社ニ参拝 和子ノ希望デ天王寺ノ動物園ヲ見十時半天王寺ノ姉ノ家ニツク 清平マダ居タ スグ出發サセル。晝食トゼンザイヲ馳走ニナリビール一本デヨイ氣持ニナツテ姉ヲ同道十二時上六發出發ス 二時半着 外宮ニ参拝 内宮ハ明日ノコトニシテ二見臨海楼ニ四時前ツク 清平モ間モナク來スグ恵美会ノ発会式ニ入ル 先ヅ会則ヲ定メ宴ニ入ル 自分ヨリ禮ヲ述べル 終リニ井上長一君ヨリ姉ノコトヲ皆ニ話ス

野島氏出席サレタノハ嬉シカッタ

出席者 野島銀藏、井上長一、清平、参吉、太田喜、太田善、宮崎、佐藤、上岡、長島、青島、照井トコチヲ四人 和子共計十六人 井上君ノ漫談デ皆腹ヲカ、エタ

日の恵み 仰ぐ心の 美しき

▲▼9ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月6日(水)

天気 晴

七時前起床 二見ノ日ノ出ヲ繪デ見タ通りカト出カケテ見タガ日ノミジカイ爲メハルカ右ノ方カラ出ルノデ岩トハ何等関係ナク又向フノ山ガ高イノデ日ノ出ノ莊嚴サハ見ラレナイノデ帰ル 食後二見興玉神社デ慰霊祭ヲ行ヒ二見ノ岩デ記念撮影ヲナシ十時散会 自分等ハ自動車デ内宮サンニ参拝 航空神社へお祭リスル祭神ヲ受ケ和子ノ昨日カラノ希望デ馬車ニノリ山田駅ニ行ク 十二時十五分着 太田善、佐藤、長島待ツテ居タノデ姉ヲ大坂迄同行ヲタノミ自分等ハ十二時四十七分発名古屋ニ向フ 途中ヨリ名古屋グライダーノ木下氏乗車 会談又タノマレル。三時 各甘屏着 志奈忠ニ行ク 川井氏ヨリ電話ガアッタトノコト 荷物ヲ預ケ中村公園ニ豊公ヲシノビ四時半宿ニツク 入浴後六時川井子息來 会談 七時夕食後再ビ川井氏來 会社ノ証明ヲタノマレル

恵美会や みそぎの浜の 初つどひ

豊公に 祈る東亜の 勝いくさ

▲▼10ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月7日(木)

天気 晴

八時二十分名古屋発ニテ家内ト和子帰ル 送ツテ行ク 名古屋発ダカラト安心シテ居タノニ、立錐ノ予(ママ)地ナク立ツテ帰ル 自分ハ十一時五十五分ノ特急券ヲ求メ顔ヲ當ツテ九時半宿ニ帰ル 川井君待ツテ居タ 十時半坂下ノ町長 十一時過ギ川井父君來 町長ヨリ木材供出機構ニツキ話シヲヨク聞ク 結果軍ノ証明ガナイト大量ニハ出ナイトノコトデアッタ 時間ガ來タノデ五時三十五分出ル 川井氏駅迄送ツテ來(ママ)レル 少シヅ、デモ早く出スコトヲ話ス

夜ニ入ルト列車ハ越(ママ)満員デアッタ ツヒニ立ツクメデアッタ 然シ自分ハ特急デ五時間二十分デアッタガ家内ハ七時(ママ)時間以上乗ツタ訳ダ。ソレニシテモ席ヲ譲ルモノノ皆無ナノニ驚カザルヲ得ナイ 自分ハ二回食堂ニ入ッタノデイクラガマシデアッタガ静岡迄ノ二時間半ハカナリツラカッタ 腹ハヘルシ熱イノデ気分ガ悪クナッタ

七時無事帰宅ス

▲▼11ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月8日(金)

天気 晴

九時出社ノ爲メ七時出カケル 新年ノ挨拶ヲスルツモリデ予定シテ行ツタ處スデニ朝礼ヲ終ツタトノコトニ中止ス

本社ニ行ク 畑氏ダケ居タ。東亜軽飛行機ニ行キ長尾君同道シテ局ニ挨拶ニ行ク 二部長午後帰ルトノコト 駒林氏居ラレタノデヨカッタ 長田氏其他ニモ挨拶ヲナシ第二分室ニ行ク 午後ノ会議石倉羽田ヨリ帰ラズ明日ニ延期シテ東亜ニ行キ長尾同道第二部長ニ行ク 自分ノ新社開ト長尾君ヲ招(ママ)介シ諒解ヲ求メ且ツ今後ヲ依頼シテ帰ル 組合ニヨル 此頃ヨリ気分悪シク熱モ出タラシイノデ相羽君ノ招待ヲ清平ニ代理スル様電話シテ帰宅 スグ床ニ入ル 熱七度六分 アスピリンヲノミ発汗ス

▲▼12ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月9日(土)

天気 晴

終日安静ニシ午後アンマヲ取ル 汽車ノツカレラシイ 腰ガトテモ痛カッタ 夕刻七度ニ下ル 明日ハ大丈夫ラシイ

▲▼13ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月10日(日)

天気 晴

八時過ぎ起床 十時ヨリ出社 正午着

会議ニ利根川氏通知ガ今朝同氏外出ノアトヘツイタ爲メ二時半頃來社 直子ニ開会出席次長、青木、富岡、足立、大藪、田中、田、以上ノ外利根川氏ト長田氏参加ス 自分ヨリ指道(ママ)精神ニツキ国家ニ役立つ青年ヲ作ルコト シカモ役立ちハ當会社ヲ通シデノコトタルベキコト、小供達ガ家庭ヨリ会社ヲ好ンデ來ル様ニ諸施設ハ勿論精神的ニ指導スルコトヲ希望ヲ述べ會議ニ入り四時頃終ル 次回ハ今週ノ土曜日トス

▲▼14ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月11日(月)

天気 雨

今日アタタカカッタ 朝カラ降ツタリ止ンダリシタノガ午後本降りトナル 本年初メテ津田沼工場ニ出ル 九時ニナツテモ池松齋藤ト女以外出社ナシ 松戸モ山本一人 三九ノ足ヤツテ居ルノカ居ラナイガ誰レモ知ラナイ 小型ニテ松戸ニ行ク 十時八七部隊カラスデニ少尉ト下士各一名 兵八名來テ居タ 挨拶後足立ヲ連レテ養成所へ挨拶ニ行ク 十一時帰ルト富岡來テ居タ アトヲタノミ松戸駅ヨリ上野二十二時ツク 丸万へ行ク時間ナク広場ニマゴツイテ居タラ丁度出発ノ青年達五六名來タノニ會フ 激励シ

テ分レ組合ニ福地氏ト会フ 十六日クハ二型五百機製作ノ会議ガアルトノコトニ出来レ
ハ参加ヲ希望シテ居ク 後チニ考ヘテ、シイテ参加スルノモ考ヘモノト思フ
観音讀誦会ニ出講話ヲ聞キ五時家内ト共ニ帰ル 道ガ悪カッタ

▲▼15ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月12日(火)

天気晴

西風強ク外ハ寒カッタガ日當リハ特ニ熱カイ日デアッタ 試験場行ヲ中止シ九時頃工
場出 一通リ見テ戸田氏ニモ會フ 十時過ぎ迄居ル 星野氏會エズ 船橋へ十一時行ク
清平、廻間、参吉ニ會フ 陸軍ノ話シラス 晝食後清平上京 自分奈良原氏へ新年ノ挨
拶ト様子見ニ行ク 新春後一日出カケタガ途中カラ帰ッタトノコトデアッタ 一時間
余リ話シ、アツキノ馳走ニナツテ船橋ニヨリ八十七部隊ニ行キ新年ノ挨拶ト測量ノ禮ヲ
述ベル 副官ト斎藤少佐ニ會フ 四時徒歩ニテ帰宅 盆栽ヲ置キ場所ヲ替エル

▲▼16ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月13日(水)

天気晴

七時起床 佐藤孝吉來 赤坂氏ニ工場見学ヲ照(ママ)介ス 十時十分事ム所着 輸送
機ノ話シヲ板垣ニス 大分乗デアッタ 鉄道ノ件富岡ヨリ報告ヲ聞ク
鈴木菊同道試験場へ挨拶ニ行ク 南波、松浦、其他ホトンド會フ 九州の前田 秋田ノ
平田ニモ會フ 二時半第二分室ニ帰ル 四時板垣ト本社ニ行ク 両専務板垣ト會談
經理ノ事ヨリ銀行金融不可能ノ状態トノコト 増資以外ニ道ナキ由 ソレニハ昨年未
達ノアツタ海軍ノ作業ノミデハ不可能ニツキ何ントカ方法ヲ講ズル必要アリトノコトデ
アッタ 自分ノ増資意見書ノ通りニナツテ來テ居ル

▲▼17ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月14日(木)

天気晴

六時四十分起床 八時ヨリ散髪ニ行キ十時半家内ト船橋ニ同道 丁度立寄ル 清平
ト一所ニ上京 秋葉原デ分レ組合ニ行キ福知氏ト近所デ會食 陸軍ノ模様ヲ聞ク 国
際、日本小型、福田、前田、東洋、ヲ以テ第一工業会ノ中ニ滑空部ヲ決義(ママ) 国
際ガ理事長ニナツタトノコトデアッタ 大体陸軍ノ意向モワカッタ 事ム所第一ニ行キ
石倉ガ丁度居タノデ鋼管溶接ガ出來ルモノアルヤヲ聞ク 三人位居ルトノコトデアッタ
後協会へ挨拶ニ行ツタガ會議中デダメ 北尾君ト一寸話シテ帰り三時出テ日本橋ニヨ
リ東亜輕飛行機へ行ク 田村氏差支アリ來ラズ 五時迄懇談シテ清平ト帰ル

▲▼18ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月15日(金)

天気 晴

九時出 船橋ヨリ清平ト上京 清平今日長野へ行ク 十一時第一二行キ午後第二二行キ更ニ第二ニ帰ル

今日大日航ヨリ機体ノ整備ガ迅速ニ出来タコトニツキ感謝状ヲ貰フ 板垣ト今里兩人デ行 五時ヨリ丸ノ内会館ニテ滑空機組合ノ理事会ニ出席 清水理事長初ノ会議々案ハ軍需ニツイテトアツタガ四日ニ福知君ガ行ツテ聞イタコトト十一日ノ第一工業会分会ノ結果トデ軍ノ意向ニ変更アツタモノト思ワル 即チ前ニハ組合へ発注サレルモノトノ見解デアツタガ十一日ノ結果ハ組合ハ単ニ補助的ナ役目ヲ帯ルコトナル 明日ノ会合ニハ軍カラハ出ナイガ組合トシテ一名出ルコトニナリ福知氏行クコトニ決定

▲▼19ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月16日(土)

天気 晴

七時起床 八時半出 十時丁度事ム所交詢社着 二十分位遅レテ全部揃フ 社長ニハ本年初メテ會フ 足立ノ示達ニ対シ増資案ヲ決定 尚確實ヲ期スル爲メ専務ガ主トシテ海軍側ト連絡スルコトトナル 後チ輸送機ノ件ニツキ聞キタイトノコトニ自分ヨリ話シヲシ社長ヨリ連絡ヲ保タタイトノ希望アリタリ 尚増資計画資金中急速ニ増員ヲ要スベキ工員ノ養成費ニツキ全然触レナカッタコトヲ指摘シ考慮ヲウナガス 正午終リ清水氏第一分室ニ來ル 板垣ト同道第一ホテルデ晝食ヲ共ニス 午後二時半ヨリ分室ニテ青年學校ノ會議ヲ開キ前回懸案ヲ決定ス 四時半終ル 本社ニ行キ津田沼ノ戸田木村ヨリ提出ノ工員昇給ノ件自分ニ意見ヲ聞カレタガ工賃ニ於テ松戸ト大差ナキニツキ加給金ニテ考慮スベキコトヲ提案 専務其他モ同様意見ニテ明日津田沼ニテ凸凹ダケ直スコトニ決定ス 七時帰宅

▲▼20ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月17日(日)

天気 晴

時事 タバコ、酒上ル増税発表アリ 間接税ニヨル増収十億ナリ 遊興ハ二百%
七時起床 朝食後三吉ヲ呼ビ福井ノ退社時期ヲ聞ク 終ツテ小鳥ノ手入レ後スグ船橋ニ行ク 十時五分前 後チ十分過ぎテ川名氏來 会谈正午過ぎニ及ブ 少シシヤベリ過ぎル様ダガ募集ニハ最適ト思ワレル 履歴書ヲ出シテ貰フコトニシテ分レ工場カラ平ラヨビ晝食ハ船橋デ牛肉ノスキ焼 二時工場出 工員昇給ノ件階上ニテ池松ヨリ各個ニツキ意見ヲ聞キ斎藤ダケハ半額トシアトハ止ムナキモノト認め明日會議ニ決定スルコトトス 四時帰宅

夕食後新年來マタツタ(ママ)手紙ヲ書ク 約八通 八時半終ル

▲▼21ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月18日(月)

天気晴

七時前起床 十時第二分室出社 板垣モ居タノデ昨日川名ニ會ツタコトト津田沼工場ノ工員昇給ノ件話シ今日夕方方行カナイカラ自分査定通り決定スルコトニキメル 下受ケ神崎來。高岡ヨリモ手紙來 ソレ、命ジ正午本社ニ行キ昇給ノ件畑氏ニ報告 同ジク夕方不参加ヲ話シ組合ニ行ク 福知氏ニ會フ 昨日ノ軍需會議ノ模様ヲ聞ク 日軍へ行クトノコトニ當社トシテハ今割當ノ分ニ喰込ム様ナコトハシタクナイ コチラカラ仕事ヲ頼ム程余裕ハナイガ軍トシテ之レダケハ最(ママ)非ヤレトノコトデアレバ決戦下策戦上必要トアレバヤルカラトヨク話シテ居ク

一時半浅草ニ行キ讀経後太田信次郎氏ノ觀音信仰ノ體驗談ヲ聞ク 大ニ得ル處アリ 終ツテ五時迄ノ間家内ト久シ振リニニュース映画ヲ見五時本堂ニ行キダラニノ祭式ヲ拝觀ス 最後ノ兎ノ飛ビ出スノハ達觀デアッタ 九時帰宅 入浴ス

▲▼22ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月19日(火)

天気晴

七時半起床 九時半工場出 正午帰宅 讀書 二時半ヨリ工場ニ行キ航空神社ニ新ラタニ受タ大神宮様ヲ御祭リシ仁三郎ニ切り抜全部ヲ持ツテ帰ラセル 帰宅後之レカ整理ヲナシニ臺ノ棚ニ整頓ス

川名明日出社スルコトス 指導所長ニ中島ニ狀況ヲ聞カセル 夕方報告ヲ聞ク

▲▼23ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月20日(水)

天気晴

五時過ぎ清平來 明日正午長野へ十名、バカリ出發スル由 手帳ハ昨日手配シテ居イタノデ今日二時頃第二分室へ取りニヤル様話ス 陸軍ノ話モス 鷺見風引デ休ンデ居ル由 八時出 九時半第一着 川名待ツ間青年學校他校ノ々規ナド讀ム 十一時第二へ川名來テ居ルトノコトニ行キ昨日ノ狀況ヲ板垣青木ニ話シ青木ニ聞取り書ヲ作ラセル 正午出テ本社ニ一寸ヨリ戦時手當ノ件承認ノ判ニツキニ越ニヨリカナリヤノ菓ヲ買ヒ 帰津 工場出 広瀬、小原、手帳ヲ処理セシム 途中東亜ノ事ム所ニヨル 廻間ニ會フ。 四時帰宅 新聞ヲ讀ミ庭木ノ枝カケヲナス

▲▼24ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月21日(木)

天気晴

八時出 昨日七時ニ就床シ今朝七時起キタノデ今日ハ一日頭ノ工合ガヨカッタ。九時半第一着 十時ヨリ一同ニ新年ヲ兼ネテ昇給ニ関スル件戦時手當支給ノ件ヲ挨拶ス。後チ第二分室三行キ同様挨拶ヲナス
正午野口、川井父、島田ニ飛行館下地(ママ)室ニテ會見 島田ヨリ下請会社証明ヲ依頼受ケル 引受ケル 板垣ニ技術課内ニ研究課ヲ居クコトヲ話ス 共鳴シテ居タ。尚建設ノ食堂、浴室等ニツキ設計上ノ注意ヲ行フ 四時迄第一ニ居リ觀音経ノ話シヲ讀ム 岡本かの子と女ノ書トアッタガ実ニヨク分ツテヨカッタ
五時半帰宅 久シ振リデ白米のすしデウマカッタ

▲▼25ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月22日(金)

天気晴

今日ハカナリ温イ日デアッタ 夕方少シ曇ル
朝工場ニ出テ米代ヲ支拂ヒ自動車ナク上京 十一時第二ニ行キ正午晝食後第一ニ行ク 二時頃協会ニ堀、東両閣下ト久シ振リデ會見ス 佐藤閣下居ラズ會エナカッタ 四時十分出 六時帰宅
羽黒山ト鹿島洋両横綱大相撲ニナッタ 後チ下手投ニテ鹿島ノ勝ち

▲▼26ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月23日(土)

天気 雨後晴

七時半起床 昨夜一バン降ツタガ雨ハ八時過ギカラ小止ミトナリ九時頃西空ハ明ルクナツテ來タ
工場ニ出米一袋ヲ受取り自動車ニテ野口君(持ッテ行ッテヤル 明バン岐阜へ出発スル由 櫛ノ圖面タノム 十一時第一着 三時迄居ル 板垣本社ニテ分室へ來ラズ 晝食ニ富岡ト會食ス
厚生省ヨリ第一種トシテノ人員要求書提出方通知アリ 富岡ニ提出内容ヲ作ラセル本年度壺千名トス 其他研究課ノコト養成費ノ件等話シ合フ
廻間本日正午長野へ出発セリト

大工一人晝ヨリ

▲▼27ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月24日(日)

天気晴

時事 春場所千秋楽二葉又全優勝ス

昨夜徳治帰り今朝帰ル 明日休日ニアパートへ引越シスル由

七時半起床 朝食後大工ヲ連レ工場ニ行キ廃材ヨリ建築材ヲ譲リ受ケル。引ツゞキ自動車ニテ野口君へ行キ樵ニ枚貫ツテ帰り工場デハギ合セヲタノム 帰途上岡ニ会フ一寸話シガアルトテ北海道ノ会社設立進行ニツキ聞ク 自分ニモ何ニカ加ワツテ呉レトノコトデアツタ 顧問位ナラ考ヘテ見ル旨話シ丁度葉方ガ來タノデ他ニ話シガ移リ晝前帰宅ス。寒餅ハスデニ終ツテ居タ 午後八終日コタツデ新聞ヲヨミ後チ相撲ノラジオヲ聞ク

大工一人

▲▼28ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月25日(月)

天気 晴

七時起床 八時工場出 九時自動車ニテ船橋ニ行キ星野氏見舞ノリンゴ三十個ヲ求ム 公定デ安カツタ

十時半第一着 板垣ニ立川部品製作設備ニ関スル件話ス。予期ノ設備シテ呉レナケレバ 松戸トシテ、ヤラナイコトニスルツモリダトノコトニ交渉ヲマカセル

正午ヨリ星野氏見舞ニ行ク 大分ヤセテ居タ。晝帖ニ何ニカ書イテ呉レトノコト コトワツタガ聞カナイノデ圖通ト書ス 永居シテハ身体ニサワルト思ツテ切り上ゲル 帰途本屋ガアツタノデ見ル 茶ノ心ト茶席ノ香ノ二冊ヲ求メ五時半帰宅ス

大工一人

▲▼29ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月26日(火)

天気 晴後曇

今日大工大勢來

八時半工場出 十時駅迄行ク 三十五分待ツタガ大藪來ラズ 工場ニ帰ニ(ママ)第一分室ニ電話シタラ九時半頃出タトノコト 駅カラ電話ガアルカト待ツタガ、ツヒニ來ナカツタ 千葉中へ電話シテ利根川氏ニ宅へ來テ貰フコトトス

一時帰宅 晝食後新聞、讀書ヲシテ三時半利根川氏來 其後ノ模様ヲ聞キ尚養成費ヲ調査ヲ依頼ス

仁三郎日大予科ノ世田ヶ谷へ受験願書持参ス

大工二人 仕事師二人 九時半出

▲▼30ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月27日(水)

天気晴

今日ハ中々冷エタ 北風キビシ

八時出 船橋ニヨリ工場デ酒ノ配給アルコトヲ知ラセ上京 組合ニテ福知氏ト会見 陸軍ノ話聞ク 前ノ話シト大差ナキニツキ軍カラ示達セラレタイ旨タノムデ居ク。明日航空本部デ木材ニ関スル懇談会ガアルトノコトデ自分ニモ出テ貫ヒタイトノコトニ同道スルコトヲ約ス

第一ニヨリ第二ニ行キ板垣ニ會フ

其前本社ニヨリ社長、畑、赤坂氏ニ會フ 軍ノ経過報告ヲナス
午後局ニ行キ三時半ヨリ帰ル

大工二人 仕事師一人

▲▼31ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月28日(木)

天気晴

十一時第一出 明日ノ打合セラ富岡トナス 八木下來タノデ同人ト営業ノ福田ヘグライダー發送ノ件ニツキ話シテ居ク 正午組合ニ行ク 清平今帰ツタトノコトデ會フ 一時航本技術部ノ会ニ出席ス。木材ニ関スル懇談会 目的ハ今回ノ輸送機製作業者ニ木材ノ智識ヲ知ラシメルニアッタラシイ 五時半終ツテ後チ相羽ノ招キデ鉄道協会デ夕食ヲ共ニス 久シ振リデ浜名氏ニ會フ

帰宅 船橋ニヨリ十時帰宅

大工二人 内一人遅出 一人ハ材料取りニ行ツテ來ラズ 仕事師一人

▲▼32ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月29日(金)

天気晴

九時宅ヲ出 自動車ガナイノデ津田沼駅迄徒歩 大藪ガ來テ居タ 八十七部隊ニ同道 書類ノ諒解ヲ得 大藪ハ千葉ニ出張 自分ハ第一ニ行キ富岡君ニ書類ヲ渡ス 長田氏ヲ連レ第一ホテルニテ晝食ヲ共ニス。板垣モ他ニ客ヲ連レテ來テ居タ。第一ニ帰り後第二ニ行ク 四時頃畑専務來 話シガアルトノコトニ本社ニ同行ス 丁度清水氏モ居リ津田沼ニテ安田ヲヤメサセタ後所長ト池松ガ会社ヲ通サナイデ小林ノ仕事ヲヤツテ居タトノコト 所長ハヤメサセ池松ハ空廠トノ関係上留任サセルトノコト 所長ニハ板垣ニ兼任サセルトノコトニ星野氏ノコトヲ話スト星野氏ガイヤデヤメルナラ止メテ貰フト

ノコトデ、更ニ云フベキコトナシ
五時帰途ニツク 畑、今里、板垣三人デソウコウトシテ、ドコカエ出テ行ツタ
社長防弾タンクノ發明者ニ會ツタトノコトデアッタ 大ニヤルトノコト

大工二人 内若ハ一時間程デ帰ル 仕事師一人

▲▼33ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月30日(土)

天気 晴夕曇

七時起床 八時過ギ出カケル處へ岐阜ノ川井氏來 家ノ圖面ヲ持參 承細ノ話ニワ
ザ、來タトノコト 今里ノ方ガ事ワラレタノダガ余リオシイ氣ガスルノデ外ニ聞合セ月
曜日中ニ電報デ返事スルコトニキメル 同道シテ船橋ニ行キ清平ニ引合ス 角長野ヨリ
帰り寸法表モ出來テ居タノデ渡ス

第一ニヨリ正午京橋ノ中央亭ニ行キ恵美子引退ニツキ組合ノ事務員全部ヲ招待 晝
食ヲ共ニス

第二ニ行キ四時第一ニ帰り板垣ニ會フ 小林君來テ呉レタノデ今朝デ食共ニシ防弾
タンクノ件ト成曾圈飛行機ノ話シヲ聞ク 聞クダケデモ氣持チガヨイモノダ

大工老一人

▲▼34ページ▲▼ 昭和18(1943)年1月31日(日)

天気 晴

六時起床 仁三郎ヲ連レ成田山ニ參拜 十時帰宅 家内ハオバアサント和子ニ面會ニ行
ク 病床ニ居ルトノ通知ガアッタノデ見ニ行ク

午前中工場ニ行ク 千鳥ノベット下請出來ル 處ガ今日下請人ガ材料ノコトデ來テ居
タ 驚イタタイマンデアル

今日大工一人 若イノハツヒニ來ラズ 鳶ト老人ノ勘定ダケ支拂ヒヲナス 今日ハ道具
屋ト武力屋ガ寸法ヲ取りニ來タ

午後ハ終日讀書ス 觀音經ヲ語ルト茶ノ心 朝成田行車中勤勞ノ精神ヲ讀了ス
今月ハ性理的ニ健康ヲ増進シタコトカ感ゼラレル ツカレナイコト、便通ノヨイコトナド

特筆ニ價ス

大工老一人

▲▼36ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月1日(月)

天気 晴

六時半起床 船橋ニヨリ清平ニ夕方今朝へ來ル様打合せ上京 第二三行キ午後二時本社ニ建設委員会ニ出ル 五時迄会議 結論ハ足立ニ建設課ヲ設置スルコト ソレダケデアツマラナイ会議デアツタ

市ヶ谷ニ航本生産課ニ渡辺君ヲ訪ネ同道シテ今朝ニ行ク 丁度七時ニナル 清平大分待ツタラシイ 防弾タンクニツキ資料ニヨリ設(ママ)明ヲ聞キ大ニ得ル處アリ 結局砲弾ノ進歩モ早イノデ余リ用ヲナサナイトノコトデアツタ
十二時帰宅

▲▼37ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月2日(火)

天気 晴

七時起床 角、早瀬來。十時第二着 正午第一二行ク 東氏鋼索持参 大量ニアル由ナレドモ値段高ク組合へ取次ギ四時迄ニ組合ヨリ返事サセルコトトス
協会へ仁三郎ノ石岡入所願書提出ス

夕方川畑氏ニ会フ 工場ノ責任者ヲ世話シテ呉レトノコトニ甲斐氏、戸田氏、星野氏、ヲ上ゲル 結局甲斐氏ヲ話シテ呉レトノコトデ佐藤閣下ニ相談スルコトトス 今後モ今朝ニ川畑氏ガ行クト云フノデ同行ス 昨日チップヲハツンデ居タノデ下足番カラ大ニ持テル 九時半帰宅ス

▲▼38ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月3日(水)

天気 雨

終日雨 寒イ日デアツタ 處ニヨリ雪モアツタ

工場ニヨリ自動車ニテ船橋ニテ清平ヨリ実印ヲ受取り本社ニ寄り調印ヲナシ社長、畑両氏ニ、防弾タンクニツイテ調査セル處ヲ話シ第一二行ク 晝川畑氏來 富岡ヨリ建設ニ必要ナル事項ヲ教へ第一ホテルニテ晝食ヲ共ニス
板垣午後三時ヨリ中国九州へ今里ト出發ス 佐藤閣下不在 出勤ナク會エズ
寺沢氏モ横浜工場ニ行キテ出社ナク會エズ 福西泰一郎氏へ久シ振リデ電話ス 不在
妻君出テ來タノデ会社成立ノ嬉(ママ)ビヲ述ベル
三時半出五時帰宅ス

▲▼39ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月4日(木)

天気 曇リ雨

七時起床 角、村山、籠崎、長島來 十時迄話し合フ ミシンハ一度持ち出シタガ分解

シテ持チ込ンダモノヲシク組立工場内ノモノニ相違ナイコト明カデア。村山ニ今度止メタ三人ヲツケテ來ナクナツタ。大工ノ仕事ヲ續ケル様ニ話シス。七日カラヤルコトトス。長島君ニタンスノ金具ヲ直シテ貰フコトトス。

十一時半第一着。午後第二三行キ三時協會ニ佐藤閣下ヲ訪問。丁度局ヘ行ク處ダトノコト。明日ヲ約シ武田氏ト三四十分話シテ四時第一ヲ出テ帰ル。五時半帰宅。

▲▼40ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月5日(金)

天気 晴

七時起床。散髪後工場行。井田ノ行状調査、山本ノ件調べ、出張者ノ宿所調査ス。村山出張トシテ宅ヘ寄越スコト池松ニ話ス。飯塚ニ工程調査ノ件ヲ命ジモミ材譲リ受ケノコトモ話ス。今村ニ工場工作課ヲヤルコトヲ聞ク。進ンデヤリタイ希望デアツタ。作業ニ対スル方針ヲ聞ク。後チ池松ニモ作業状況ヲ聞ク。ヤハリ今村ノ方ガ実行性ガアル。正午宅デ晝食後上京。第一ニ行ク。協會ニテ佐藤閣下ニ會フ。甲斐氏ノ件ヤハリ人トノ調和ノ取レナイ人トノコトデアツタ。顧問ノ件ハ表向キニハ出來ナイシ仕ナイ主義ダガ應援ハスルトノコトデアツタ。夕方今朝デ夕食ヲ共ニス。鈴木課長ヨリ電話アリ。長本負傷入院シタトノコト。南方問題紛キユウトノコト。明朝聞クコトトス。

▲▼41ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月6日(土)

天気 晴後曇リ

九時過ぎ第一分室着。鈴木ト工作課長トノ電話連絡ヲ聞キ明後日帰宅スル由。愛媛ヘ電報ニテ様子ヲ聞カセル。青木課長ヨリ各指導所旅行中ノ報告ヲ聞ク。

午後前田某入社ス。三洋電気経済違反デ警察ヘ上ゲラレタ件ニツキ當社ハ交渉アレドモ違反事実ナキコトヲ専務ニ報告スベク富岡課長同道ス。途中木下氏ニ會ヒ、共ニ社ニ行キ少時話ス。後チ専務ヨリ足立ノ増産ニツキ社長ニ専心シテ貰フコト。赤坂氏ヨリ社長辞任ノ申出等アリタリ。清水、矢野氏モ同席。四時半迄各意見ノ開陳アリ。結局赤坂氏ノ案ニテ所長ナクシテ社長出馬スルコトヲ社長ニ相談スルコトニホゞマトマリ辞シテ大日本航空三児玉新總裁ヘ挨拶ニ行ク。不在。名刺ヲアツケ組合ニ行ク。スデニ、誰レモ居ラズ。止ムナク福西ヘ行クノヲ中止シテ帰ル。

▲▼42ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月7日(日)

天気 雨風

朝工場ニ行キ第二分室ヘ用件ノ有無聞合セ目黒ノ寺沢氏自宅ヘ電話シタガ昨日カラ出張不在トノコト。明日会社ヘ電話スルカラ会見ノ時日ヲ分ル様ニサレ度旨依頼ス。帰

宅後終日一休ヲ讀ム

今日休職木工三名來 仕事ニカ、ル 村山明日カラ來ルコトナリ今日ハ三時デ終ツテ
歸ル 夜ハ七時半床ニ入ル

籠崎外二名九時半ヨリ三時迄

▲▼43ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月8日(月)

天気晴

静カナ上天気トナル 清平工場へ來ル

十一時前県ヨリ來 大詔奉戴式ヲ十一時二十分舉行 国民義禮後自分大詔ヲ奉讀
シ県労務課監督官補ノ訓示アリ 終ツテ自分ヨリ職工移動防止ニツキ一席述べ晝食ヲ
共ニシ一時ヨリ上京 二時半第一着 書類ヲ見二三用件ヲ命ジ本社三三時半行ク 原
價計算ニ関スル會議 八時半迄カ、ッテ終ラス 十日再会トシテ十時十分帰宅ス
村山本日ヨリ來 木工二名ト仕事ヲ初メル
昨夜ノ大風ニ松戸ノ寄宿舎棟上タバカリノモノ一部破損ス

村山外二名

▲▼44ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月9日(火)

天気晴

電車行キカラ立ッタノデクタブレタ

第一二行キ局へ長田氏同道ス 住宅営團ノ件 日本橋ノ事ム所ニヨル 長尾十一日朝ツ
ク由

午後第一ト第二三行ク

工作課長ヨリ九州ノ報告ヲ聞キ津田沼ノ話ヲナス

四時過ギヨリ帰宅 五時半着 今日モ大工人数ノ割合ニ仕事ハカドラズ

大工村山外三名

▲▼45ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月10日(水)

天気晴

七時起床

津田沼工場、第一分室、航空局、第二分室、協会、松戸、局、住宅営團ト厚生省交

渉ノ件 更ニ厚生省生活局へ申請書提出スルコトナリ長田、富岡ニ今日中ニ出ス様命
ズ 長田事ム官中々ヨクヤツテ呉レル
組合福知氏ト會見 堀氏鹿兒島へ世話スル件相談 手紙デ會見申込ンデ貰フコトトス。
後チ足立君ニ聞クトダメトノコト ムシロ信田ガヨイトノコトデアッタ。月曜日信田君會
見ノコト連絡ヲタノム

浦川科長ヨリ工場養成工達チ女ニカラカッテイケナイトノコトヲ聞ク 足立ニ注意ス

大工村山外三名 内二名ハタンス 村山九時半、四時帰ル

▲▼46ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月11日(木)

天気 晴

ヨイ紀元節デアッタ

七時半起床

老母昨日カラ下痢シテ居ルシカッタ 今日モマダイケナイラシイノデ、エビオスヲノマ
セル

小鳥ノ掃除

長島君來 タンスノ金物作ツテ來テ呉レタ 晝食後帰ル

十時頃利根川氏來 青年學校ノ件意見ヲ聞ク

午後、清平來 夕食後帰ル 青木夕方來 間モナク帰ル

今日ハ余暇ニ香ノ茶ヲ讀ミ戸棚ノ設計ヲナス

大工休

▲▼47ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月12日(金)

天気 晴

七時起床 工場ニ行キ村山ニ今日ノ仕事ヲヨク話ス

自動車ニテ船橋ヨリ乗車 十時第一着

本社ニテ畑氏ニ會見 本日ヨリ板垣ヲ社長代理トシテ呉レトノコトデアッタ 承知シテ
其旨全員ニ申渡ス

板垣ニ第一ニテ會ヒ津田沼ノ模様、其他會談

足立君信田連レテ來ル 川畑氏ノ話シス 明日川畑氏ニ引合スコトニ話出來ル

今朝清平ヨリ電話アリ 寺沢氏會見申込ンデ居タノデ午後二時ヨリ重山ヲ連レテ横
浜ノ工場ニ行ク 監督官ガ來テ居タノデ秋山氏ト會見 重山ヲ引合セ指導協定方ヲ
申入レル 寺沢氏ト相談スルコトナリ今日ハ會エズ帰ル

七時帰宅

長尾今朝京都ヨリ上京ス

大工村山外二人

▲▼48ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月13日(土)

天気晴

昨夜ハ神經痛 左ノ小指ガハゲシク殆ンド眠レナカッタ 七時半起床

行先キ津田沼工場、組合、第一、第二。

信田五平治君ノ件相談スベク川畑ニ電話スル 今朝出發シタトノコト 少々奮(ママ)慨モノダ 信田ニ其旨ツタエ意志ヲ聞ク 二三日待ツテ與レトノコトデアッタ

朝十一時板垣、富岡、東京ヨリ自動車ニテ來場ス 和田秀穂閣下ノ處ヲ知リタイトノコトデ本社へ知ラス 東君カラピアノ線イラナイカト電話デ照(ママ)介來タ 萩野岐阜ヨリ帰社ス

飯塚ヨリ工程調査表受取ル コンナモノデダメ、アトモット具体的ナモノヲ作ル様命ズ 四時十分前新橋發ニテ帰ル。スキナ、ハタ、手ニ入り二百匁買ツテ帰ル 百匁五十錢ハ安イ

休

▲▼49ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月14日(日)

天気晴

八時起床 仁三郎ニ村山ヲ呼ビニヤル

午前中松ノ植替エヲ行フ ホボ満足スベキ状態ニ出來ル 正午野口君來 坂下ノ証明ヲホシイトノコトデアッタ 他ニ縣滑空場設置ノ狀況ニツキ聞ク 大分ウマク運ンデ居ルラシイ

午後六軸入レノ柵作りヲナシ五時半終リ一杯ノンデ身心共ニ今日ハ安息ナルヲ得タ 和子通信ニ又病室ニ這ッタトノコト 明日希望ノモノヲ揃エ恵美子行クコトトス

大工村山外二人(籠崎休)

▲▼50ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月15日(月)

天気晴

九時半第二三行キ二三見テ第一二行ク 東亜軽飛行機ノ証明問題デ総務課長ニ会フベク局二行ク 不在 工務課ニ行クト丁度会社ノ事ム員ニ会フ 今日証明書下附サレタトノコト 丁度ヨカッタ

石島、長田事ム官、等ニ會ヒ組合ニ行キ、小林ノ履歴書ヲ福知氏ニ渡シ一時半丁度観音様ニ行ク 今日ハ釋尊ネンノ日ニ當ルノデ鹽入氏ノ講和(ママ)ヲ聞キ五時帰宅ス 今日ハ終ル筈ノガ少シ残ツテ居タ

大工村山外三人

▲▼51ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月16日(火)

天気 晴

八時安岡家内來 養成所へ提出ノ書類ノ保証人トナル 日立ヨリ寮母ニ來テ呉レトノ話シガアルトノコトニ勤マルカー一寸不安ヲ感ジタガ讚(ママ)成シテ心得方ニ話ス

十時半第一着 駒林氏カラ午前中ニ來テ呉レト電話アリタル由 スグ出カケル 指定会社キマッタノデ小島ヲ入レルカラ諒解シテ呉レトノコトデアッタノデ嬉(ママ)ンデ諒承ス 値上ゲ問題話シテ工業クラブノ組合役員会ニ出席 生田欠席 外皆出 機構改正マダ具体案出來ズ 監査役調査立案トナル。局ヨリ新規指定十二社申渡シアリタル由 二時第一ニ帰ル 福知君來 一時間余リ話シテ帰ル 川畑ニ手紙出ス

第二三行キ四時半ヨリ帰ル 六時帰宅

中谷一人

▲▼52ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月17日(水)

天気 晴

工場、第二第一東亜軽飛行機、第一

第二八池田ニ見舞ノ玉子八個持参

東亜ニ行ク 別段ノ事ナシ 日銀ノ書類不備訂正中 八木下氏ト清平ト会食。長尾、鷺見ニ會フ

三時ヨリ課長會議 職制変更ニツキ板垣氏ヨリ説明。後チ利根川氏ヲ中心ニ青年學校設立會議ヲ行フ 終ツテ募集中ノ國民校生ノ中間報告アリ

信田君來 遠方ノ爲メ行き手が少ナイノト自分デモ自信ガ持テナイトノコトデアッタガ尚色氣アリ昨日手紙ヲ川畑氏ニ出シタノデ回答アリ次第連絡スルコトトス

中正夫ヨリ電話アリ明日會フ約束ヲナス

◆▼53ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月18日(木)

天気晴

昨夜吹き出シタ南風ツヨク温カデアッタ

七時半出 九時第一着

十一時半ヨリ足立ニ福島同道新工場見ニ行ク 柱モ太ク屋根モスレートノ下ニ板ガ張ツテアッタ 帰ツテ板垣、富岡ニ話シ注意ヲ促ガス

午後板垣ト第二期ニ半ノ予算ト方針ニツキ協議シ尚今後ノ作業方針ニツキ協議シ新造機ニ進ムコト ソレニハ優秀ナル設計家ヲ入レルコトニ同意セシム 富岡モトヨリ其意デアッタノデノデ当製作所トシテノ方針定マル アトハ本社ヲ動カスノミ

夕方中、ト太田喜八郎來 共ニ太田ノ案内ニテ銀坐裏ノ水茶屋ニテ会食 和ヤカナ一時ヲスゴス 九時四十分帰宅

◆▼54ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月19日(金)

天気曇リ

七時起床 十時工場出。岩本検査官來。正午第一航廠ヨリ吉岡技師來場 朝十時分室へ申込シダノニツヒニ電話カ、ラズニ時ヨリ縣庁ニ行ク。松井氏ニ會ヒ住宅ノ件相談。教務課デハ古川氏ニ會ヒ仁三郎石岡入所ノ件ニツキ想(マ)談ス。滑空機五六台修理アルトノコトニ帰途旭航空へ寄り明日古川氏へ行ク様ツタエル

本年初メテ藤枝ニヨル サビレタ店デアル 風引イテズツト寝テ居タトノコトデアッタ。小鳥屋ニヨリ十姉妹ノ雌一羽求メル 三円五十銭ハ少々高過ギル様デアッタ

◆▼55ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月20日(土)

天気晴

十時第二三行ク 第二回目トシテ玉子五個池田ニ届ケル様青木ニ渡ス 正午迄居リ晝食後第一二行ク 板垣君東部軍司令部辻少尉ノ處へ行ク

三時半迄居ル 利根川氏來ラズ 組合ニ寄り預ケタ石ヲ受取リ久シ振リデ福西氏ヲ訪問 会社成立ノ祝詞ヲノベ古谷石ヲ贈ル 嬉(ママ)ンデ居タ 雑談ツキズ夕食ヲ之又久シ振リニ上野ノ 二行ク 八時辞シテ帰ル 十時帰宅

今日ハ寒天ノ研究ヲナス 塗料トシテモスデニ利用サレテ居ルコトハ分ツタガタソレダケデ製法等何ニモ書イテナカッタ 有望デアルコトハ確實ダ

◆▼56ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月21日(日)

天気晴

七時起床

散髪後午前中、カリントアケビノ植替エ 午後佛手柑ヲ植替

角手傳ヒニ來 小鳥小屋移轉作業ヲナス 六時頃中止ス 中々ヤハリ手間ガカ、ル
夜、森君來 中華航空ニ入りタイノデ世話ヲシテ呉レトノコト

寄席中繼デ大笑ヒス

▲▼57ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月22日(月)

天気晴

七時前起床 八時出 船橋ニヨリ明日川井氏上京ノコトヲ告ゲ十時十分前事ム所着

正午小栗常太郎君來 久シ振リデアッタ 晝食ヲ共ニス

一時半ヨリ傳法院ニ行ク 一時着 スデニ初マツテ居タ 四時終ツテ帰途野口君ニ寄り
川井氏明日上京ノコトヲ知ラセ、安岡ニヨリ日立ノコト聞ク 履歷書ヲ出セトノコトデ
ドウカクノカトノコトデアッタ

▲▼58ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月23日(火)

天気晴

八時半工場出 川井、清平、島田諸氏來 野口氏鈴木宅ニテ會フ 川井氏ハ東亜ト木

材供出ニ対スル契約ノ爲メ

八十七部隊へ現在ノ路線測量ノ件ニツキ諒解ヲ求メ十一時半第一ニツク 腹工合ガオ
カシイノデ晝食ヲ中止ス 午後第二ニ行キ四時過ぎ再ビ第一ニ寄り帰宅 六時

青島ノ娘來テ居タ 當分泊ル

▲▼59ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月24日(水)

天気晴

八時出 第一第二、第一、出社

五時今朝ニ行ク 渡辺君七時近ク漸ク來 八時過ぎ迄話シテ分レル 帰途船橋ニヨリ
徳治同道シテ歸ル 十時半

▲▼60ページ▲▼ 昭和18(1943)年2月25日(木)

天気晴

徳治松原ヲヤメタイトノコトニ不心得ヲサトス

池田ニ玉子九ツ持参ス
第二、第一、十一時ヨリ協会ニ仁三郎ノ石岡行聞キニ行ク 撰ニ入ラナカッタ由 四月
廿日ニ第八回ノ入所アル由
森ノ件ニツキ中華航空ニ新井氏ヲ訪問 一時間程雑談シテ帰途ニ二三ノ本ヲ求メ上野
ヨリ京成ニテ帰ル 六時十分

◆◆61ページ◆◆ 昭和18(1943)年2月26日(金)

天気晴

六時半起床 七時半出 九時十五分第一着 今日來ルト云フ関根君ハ風引ノ爲メ來
ラレナイトノコト

本社ニ行キ俸給ヲ受取ル 長島ノ百円ハ不明ノ爲メ包金トシテヤッタトノコトデアッタ
ドウモ変ナ金トハ思ツタ

第二ニ行キ第一ニ帰り一時半出テ組合ニヨリ四時帰宅ス。一三年來氣ニナツテ居タ崖
上ノ柁木ヲ切り初メタガ枝ガカラミアッテ骨ガ折レタ。シマイニハ力ガヌケテシマッタノ
デ仁三郎ニ助サセ六時半頃終ル エミ子ハ青島ノ娘ト明治神宮ニ行ク 八時頃帰宅ス

◆◆62ページ◆◆ 昭和18(1943)年2月27日(土)

天気晴

六時四十分起床 八時半出 船橋ニヨリ松戸ノ中央機関士第二回生ノ卒業式ニ参列
ス 田母神氏ニ會ヒ今年度炭團ヲ頼ム 夏ノ中ニ買ツタ方ガヨイトノコトデアッタ

式後長田、富岡、福井、等ト労務者住宅敷地ヲ見ニ行ク 位置トシテハ上等デアッタ
帰京 第一ニヨリスグ三緑亭ニ最近ドイツカラ帰ツタ陸軍大佐飯島正義氏ノ最近ノド
イツ航空界事情ヲ聞キニ行ク 七時過ギ帰宅 エミ子マダ帰ラズ 不都合ダ

ツル姉昨日富浦ニ行ク 和子又熱デ休ンデ居タガ大変太ツテ居タトノコトデアッタ

◆◆63ページ◆◆ 昭和18(1943)年2月28日(日)

天気晴

七時起床 十時頃迄工場行き 村山ノ工賃支拂ヒヲナス
帰宅後小鳥小屋ヲ初メル 晝食後角來テ手傳ツテ呉レル 大ニハカドル アトハ金網ヲ
張ルダケニナツタ

ツカレタノト明日仁三郎ノ試験デ早く起キルコトニシテ早寝ス

◆◆64ページ◆◆ 三月

四月入所並ニ事ム所移轉ニ関シ準備ヲ完クスルコト

◆▼65ページ▲◆▼ 昭和18(1943)年3月1日(月)

天気 曇リ

家内ハ四時起床 仁三郎五時 自分ハ六時起床

九時十五分第二着 正午迄執務ス

工程調査ノ件板垣君ニ話ス 自身ヤルコトニス

一時半第一ヨリ観音様ニ参詣 仁三郎ノ試験ノ模様ヲ知りタク講話ヲ聞カズ帰宅

四時三十五分

◆▼66ページ▲◆▼ 昭和18(1943)年3月2日(火)

天気 晴曇

七時起床 仁三郎今日ハ又昨日ヨリ成績不良ナリトノコト

午前中工場出社 職員一名モ來ラズ 十一時半ヨリ上京 第一二三時迄居リ後チ第

二ニ行キ五時出テ六時半帰宅ス

今日ハ平凡デアッタ

◆▼67ページ▲◆▼ 昭和18(1943)年3月3日(水)

天気 晴

七時四十分起床 九時廿分第二着 十時半第一着

正午晝食後協会調査部ニヨル 軍神加藤少将ノ畫像ノコト聞ク 間モナク同畫家來

三百円ニテ譲受ケ話マトマル。一時半第一ニ帰ル 板垣君今日慎ト會見 帰ッテ來夕處

デアッタ 畫像ノ話シヲナシ会社トシテ買入レルコトニ決定

三時ヨリ協会ニヨリ局ニ水道ト松戸拡張ノ件ニツキ聞合セヲナス 五時半帰宅ス

◆▼68ページ▲◆▼ 昭和18(1943)年3月4日(木)

天気 晴

松戸行キ 大日本航空婦人会ヨリ中央養成所ノ慰問会ガアルノデ家内ト鈴木ノ家内
行クノデ朝同道ス

午前中工場ニ居リ石川ニ久シ振りデ會フ 高木村市ニ編入ノ件祝詞ヲ述べ勞務者住宅

土地問題ニツキ意見ヲ聞ク 買フヨリ借リル方ガ有利ラシイ 午後養成ノ慰安会ニ出

席 三時終ル 五時半帰宅ス
仁三郎徳治ノアパートハ肉ノ配給ガアツタカラ來イトノコト手紙ガ來タトテ行ツテ今夜
ハ帰ラズ

◆▼70ページ◆▼ 昭和18(1943)年3月5日(金)

天気 晴

朝工場出 十一時第一着 板垣君津田沼へ行ツタ由 第二三行キ一時半ヨリ小野部太
郎氏ノ葬儀ニ参詣 帰りハ東日ノ郡君ト自動車ニ同乗シ車中鷺見君ノ話シアリ 社ノ
方ハ其マ、関係スル様ニト郡君ナドハ進メテ居ルトノコトデアツタ
ツヒデニ航空時代ニ寄ル 渡辺君夫妻會フ 一時間近ク渡辺君ノ悲奮(ママ)ヲ聞ク
第一ニテ重山君原愛次郎氏ニ照(ママ)介シテホシイトノコトニ大坂へ速達ニテ会見日ヲ
聞合セノ手紙出ス 数日年(ママ)讀ミツゞケタ職工養成ノ常識ハ晝ニ 夜住宅讀本讀了
ス

◆▼70ページ◆▼ 昭和18(1943)年3月6日(土)

天気 雪後晴

朝チラ、雪ガ降ツタ ツモル程デナカツタ
終日工場 八木下ニ工程調査ヲ命ズ。ドウモピントコナイラシイ 今日ノ結果ハ不満足
デアツタ

午後奈良原先生ヲ久シ振りデ見舞フ 大分元氣デアツタガ歩行スルトイキキレガスル
トノコトデアツタ

今月カラ七日ノ日ガ休日ニナツタトノコトデ今夜帰ルカト待ツタガ帰ラナカツタ

昨日兄ト話シ合ツタ徳治ノ嫁取りノ問題ニカラミ船橋ノ青木写真館デ最(ママ)非徳治
ニ來テ貰ヒタイ希望ガアツタトノコトデアツタ

◆▼71ページ◆▼ 昭和18(1943)年3月7日(日)

天気 晴

朝一時間程工場 帰ツテ小鳥小屋ニ終了(ママ)カ、ル
仕事師表ノ土堤ヲ少シ道路へ出タ様ナノデ調べタ結果僅カ四五寸出テ居タノデ直サ
セル

夕方徳次帰宅ス 青島ノ娘嫁ニト青木写真館來テ呉レトノコトノ話シ大体マトマル 青
木ノ方尚給料出セルカ、病氣ノ程度等ヲ聞イテ貰フコトトス

▲▼72ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月8日(月)

天気 晴

六時四十分起床 工場、第二、第一、浅草寺。本日講話ナク三時終り五時前帰宅
小鳥小屋ノ留木ヲサガシ、モトメ小屋内ニ取付ケル。ヨク出来タ

夜青仙來 小供ガ生レンウダトノコトニ家内付ケテヤル

第一ニテ利根川先生ニ會フ

第一ヨリ第二ニ行ク 途中岡田勇氏ニ會フ 久シ振りデアッタ。商賣ガ出来ナクテ閉口
スルトノコトデアッタ

▲▼73ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月9日(火)

天気 雪雨晴

終日工場ニテ文部省型工程調査ヲナス。八木下急(ママ)ガシクテ出来ソウニモナイ

検査ノモノニモ金具ノ検査ヲ命ズ

武力屋ヨリ煙突來ル。土ノカマドモ來

青仙午後二時女ノ子生レル

夜金太郎來

家内和子面會ニ行ク お別レ服昨日エミ子ガ縫ッタノヲ持参シタガ太ッタノデスカート
ガ三寸モ身巾ガ足りナクナッタトテ持ッテ帰ッテ來タ。和子イヤガッテ居タノニ引ツバ
キ行クコトニシタトノコト

▲▼74ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月10日(水)

天気 晴

今日ハ上天気デアッタガ間モナク風強クナル 谷津海岸ニ火災アッタトノコト

九時二十分第一着 第二ニ行キ更ニ第一ニ帰ル 原氏ヨリノ電報今朝郵便受ケカラ發
見 昨夜々中ニ配達シタモノラシイ。今日午後國際本社デ待ツトノコトデアッタガ間ニ
合ワナイノデ重山氏ト打合セ明朝行ク旨原氏ニ打電ス 四時帰宅 仕度シテ、五時半
出 六時ノ佐渡屋ノ津田沼工場課長以上ノ会ニ出席 七時出 九時十分満員ニテ同
四十分ニ乗ル 之レ又満員デ重山氏寢台ヲ交渉シタガマトマラズ 自分ハ漸ク腰ヲ降セ
タガ重山氏ハツヒニ米原迄カケラレナカッタ由

▲▼75ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月11日(木)

天気 晴

麗はしき朝 予定通り九時五分着 新大坂ホテルニ行く 室なし 紙屋連の行き付けなりと安土町のオマエ旅館ニ入る。すぐ國際航空ニ電話す 原氏一週間程病氣休養中との事 今日ハ会議あり 多分見ゆる筈なりと自宅を聞き電話する。すでニ出社せりとの事 再び会社ニ聞合す 会議四時か五時頃終ツタとの事ニ朝晝兼ねての食事を十一時過ぎ終りて自分は姉ノ宅ニ行く 四時帰り四時半原氏より電話ありすぐ行く 三十分程話す。係りの者を呼び明日重山氏を京都ニ同道 よく話しを聞く。木材確保すべしとの事 之れでやっと自分の役目がはたし得て安心。夕食は森吉にて 原氏來られないので二人ですます 帰宿 床ニ入る

▲▼76ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月12日(金)

天気 晴

五時四十分起床 六時五十分発富士ニ 今日ハ重山君ガ一等ヲ買ツテアッタノデ初メテ一等車ニオサマル。少シソグワナイ氣持チデアッタ 茶室ト茶庭ヲ讀ミ終ル 時々展望室ニ出ル 五時無事帰宅 早イノデ皆驚イテ居タ 重山君ハ國際ノ京都工場ニ行く

▲▼77ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月13日(土)

天気 晴

工場、第二、第一、組合、本社、丸ノ内会館

ボーリングニ一台高價デアッタガ購入

松戸町長代理ト同指導所長招待 丸ノ内会館ニテ當方各課長、東君、矢野、今里出席 九時帰宅

兄來テ居タ 十時過ぎ迄話シテ帰ル 君子今日ハ朝カラ腹痛デ寢テ居タ由 今夜アタリ出産スルカモ知レヌ由

▲▼78ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月14日(日)

天気 晴

朝一時間程工場出

終日小鳥小屋ニカナル 終ニ完成ス 金網ノ不足ヲ苦心シテ色々工夫ヲコラシ満足ニ出來タ

清平ヲ呼ブ 今朝野口氏來 川井氏ノ方ハカバクナイノデ他ニヤラセヨウカトノ話シニソレナラ会社デ直營シテモヨイカラ一度会ツテ貰ヒタイ 旅費ハ出スカラト云ツテ居イタノデ其件ニツキ清平ニ話シ旅費二百円明日受取ルコトヲ申渡ス。参吉明日復習ノ

爲メ帰宅ス 君子今日明ガ出産シソウダトノコトニ夜ツル姉來津ス

▲▼79ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月15日(月)

天気晴

六時四十分起床 九時四十分第二着 正午第一二行キ一時飛行協会へ軍神ノ額受取
リニ越智君同道ス 二百円萩原ニ預ケテ受取ツテ帰ル

一時半ヨリ傳洙防院へ御参リ 今日ハ五觀ノ説教アリ ヨク分ル 佛教ノ心髓ガワカッ
タ様ナ氣ガシタ

一寝入リシタ十一時半頃何ニカ表ニ起シテ居ル氣配ガシタノデ君子ノ出産カト思ツタ
ラ鈴木ノ小供ガ來テ父ガ今呼吸引取ツタトノコトニ、スグ仕度シテ家内ト共ニ行ク

▲▼80ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月16日(火)

天気晴

二時頃帰ツテ寢タガヨク眠レナカッタ

今日ハ親戚ノ人達ガ來ルノガオソク午後カラ夕方ニナツタノデ準備ガ遅レタ 上岡、青
木、島君等來テ奔走シテ呉レタ。靈柩車ガ間ニ合ワズ火葬場ガキマラナイデ困ル 夜十
時頃迄未決 明朝十時千葉ノヲ待ツヨリ外ナカッタ

今日ハ何回モ鈴木ト工場自宅ヲ往復シタ

▲▼81ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月17日(水)

天気晴

西風強シ

七時二十分起床 青木善五郎氏ニ結婚祝ノ礼状ヲ出ス ドウモ善五郎氏ヲ思ヒ出セ
ナイノデ氣味ガ悪イガ捨テモオカレナイノデ礼状ヲ出ス

鈴木ヲ送ル自動車漸ク工員ノ中ノ三代川ガ運轉出來ルト云フノデ大和田ノ靈柩車ヲ
借りテ夕方四時二十分出棺 五時五分前自分心経ヲ魂ノ前デ上ゲテ居ル時ゴウト
重油バーナーノ音ガシハジメタ 六時二十分骨箱ニ納メテ帰途ニツク

午後二時頃立川ノ山田氏來 七〇%当社ニテ事ワルコト 東亜ニヤラセルコト100%
今日ノ状況ヲ報告シテ三時頃帰ル

今夜帰宅 夕食ニ酒一杯ホシカッタガ皆無デ昔ナツカシクナル

▲▼82ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月18日(木)

天気 晴

五時五十分起床 七時半出 第二九時着 十一時第一二行ク 正午重山、信田君來 共ニ中央亭ニテ晝食 信田君ニ六鹿児島ノ模様中間報告ス 重山ヨリ大坂京都ノ報告 フ聞ク 原氏ニ部下ニ一言ヤラセテ呉レル様助言シテホシイトノコトニ一時国際ニテ原 氏ニ會フ 右依頼尚東京支社ノ係ニ照(ママ)介サレル 原氏明朝帰坂スル由

午後四時頃東亜ニ行ク 八木下、長尾両氏ニ會フ 長尾一寸挨拶シタダケデ多クヲ語 ラズ次室ニ行ク 六時帰宅

夜鈴木家内來 奥山ノ方カラ執達吏ヲヨコシタトノコト 一寸フンガイシタガヨク話シ フ考ヘテ見ルト鈴木ノ方ガ悪イラシイ 困ツタモノダ

▲▼83ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月19日(金)

天気 晴

六時起床 七時半出 昨日ト同シ電車デ上京

第二ニ行キ十一時ヨリ上野ノ国風盆栽展ヲ見ニ行ク 福西君ニ會フ 一時半第二ニ帰 リ資材倉出シニ関スル会議ヲ開キ四時終ル 四時半ヨリ帰途ニツク 太田善蔵ニ船橋ヨリノ車中ニテ會フ

▲▼84ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月20日(土)

天気 雨

終日雨

十時半縣庁ニ行キ厚生省指定工場ノ許可証ヲ受領ス 一時鈴木ニ行ク 寺遅レニ一時 半頃ヨリ讀経 三時半頃終リ四時今一度工場ニ出ル 岩本氏外一名三九ノ検査ニ來 丁度帰ル處デアッタ

スグ帰宅ス 鈴木ハ今日埋葬スルトノコトデアッタ 多分夕方オソクナッタ事デアロウ 和子迎へ家内ハ朝四時起床シテ五時半頃出テ行ツタ タ方千葉道仁三郎行キ五時五 分無事帰ル 食事ノ行儀ガヨクナツテ居タ 少シ太ツタコトモタシカダ 一、八キロ増シ タトノコト 色白クナツテ居タ

▲▼85ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月21日(日)

天気 曇リ

終日曇リ 薄寒シ

昨夜ハ神経痛デ左足外側痛ンデ終夜眠レズ七時起床 上岡來 鈴木ノ土地工場買受 渡シトノコトデアッタ

小鳥ノ手入レ後天窓ト台所ヘ行クロノフスマノ這メ込ミヲナシ丁度三時ニナル
三時上岡氏ノ應召壯行會ニ招カレ行ク 終リニ望ミ一席挨拶ヲナシ鈴木ニヨル 丁度
親戚會議中デ例ノ奥山ノ問題協議中デアッタ 書類等一通リ見ルニ奥山ノ一万円カ
タ代リノ時鉄工所ノ借主ヨリ鈴木ニ其一万円ニ対シテハ一切迷惑ヲカケナイト云フ一
札ガアツタガ、コレガドウモ反ツテ悪イ様ニ思ワレタ ユノ上ハ六千円受取ツタ時ニ、ドン
ナ風ニ領収書ヲ渡シテアルカラ調べルト ソレニヨツテハ辨護士ニ一應相談スル必要アル
コトヲ述ベテ重山君ガ來テ居ルトノ迎ヘガアツタノデ帰宅ス 明日カラ見習ノ三名連レ
テ來テ居タ 七時歸ル

◆▼86ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月22日(月)

天気 曇リ

朝六時起床 小鳥掃除、台所口ノ敷居ニ上板ヲツケル
鈴木妻君ト兄來 奥山ニ會ツテ貫ヒタイトノコトデ引受ケル。萩原ノ工員三名來 八
時工場ヘ連レテ行キ八木下ニ引合セテ上京 板垣今日モマダ熱ガアルトテ休ミ 明日カ
ラ出ラレソウダトノコト

第二ヨリ第一ニ行キ十一時工業クラブニ行ク 正午トノコトデ約一時間待ツ間ニ奥山
ニ電話シタガ旅行中デ今週中ニ六帰ルダロウトノコトデアッタ

二時組合ノ會議ヲ終了 清水、福知、水野、自分、ダケ 本庄氏モ生田モ來ナカッタ。
再ビ第二カヽリ三時過ギヨリ善照寺ヘ彼岸ノお参ニ行ク 新本堂ガ建前ガ終ツテ大分
進行シテ居タ。五時半帰宅

夜鈴木ノ件ニテ渡辺君ニ來テ貰フ 横橋ヘ前カラ交渉シテ居ル人ニ今日早速交渉ヲ開
始シテ貰ツタトノコトデアッタ

◆▼87ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月23日(火)

天気 晴

工場ヨリ第一ヘ電話デ板垣出社ナシトノコトニ上京ス 十時第一着 富岡昨日夕方社
長、今里、氏ヨリ松戸ノ方針ニツキ聞カレタトノコトデアッタ

富岡ト自動車ニテ松戸ニ行ク。四月一日迄ニ宿舎間ニ合ヒソウニモナイ 二時歸社 第
二ニ行キ利根川氏本日ヨリ出社 第一ヘ連レニ行キ机ヲツクル

六時帰宅 夜太田善蔵ヲ呼ビ鹿兒島ノ事情ヲカナリ、クワシク聞クコトヲ得タ

◆▼88ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月24日(水)

天気 雨

五時五十分起床 七時十五分出 九時十五分前第二着 車中富岡ノ松戸製作所意見書ナルモノヲ讀ム 大体ニ於テ正シカッタ 將來ノ問題ニツイテテ少々足りナイ點ガアツタ。今日板垣出社ス 午後明日三時ヨリ足立ニテ松戸製作所ノ方針ニツキ會議ヲ開クカラ最(ママ)非出席サレタシトノコトデ明日ノ古河養成所行キヲ代理ヲ出スコトトシ自分ノ意見ヲアラマシ板垣ニ話シテ居ク
正午協會ニ行ク 利根川、清水、齋藤、ト久シ振りリデ會食シ仁三郎ノコトヲ頼ミ尚セコソダリノ方針ニツキ聞イテ居ク
第二三五時迄居リ六時半帰宅ス
今朝野口君來 次ギニ奥山君來 鈴木君ノ件ニツキ眞意ヲツタエテ與レテ異心ナキコトヲ話シテ帰ッタソウダガ、ソレヲ鈴木ノ家内ニ話シタ處、鈴木ノ遺言状ガ出タ處奥山ニダマサレタトノコトガ書イテアリ絶対ニ奥山トハ敵ノ様ニ云ツテ居タトノコト
井上武三郎氏與野ノ工場ノ件ニテ第二へ來ル

◆▼60ページ◆▼ 昭和18(1943)年3月25日(木)

天気晴

注文シタ桜ナド來タノデ庭ニ假植ヲシテカラ上京 九時四十分第二着 正午第一二行ク
川井ヨリ手紙來 清平ニ渡ス

三時ノ定期ニテ足立工場ニ行ク 北千住駅デ板垣ト會ヒ同道ス 今里氏オソク四時半ヨリ社長今里畑、赤坂、清水、板垣自分 社長ヨリ松戸ノ今後仕事ノ方針ニツキ協議シタシトノコト 決(ママ)局自分ヨリ松戸トシテハ海軍ヨリ陸軍ニ縁多キコト 陸軍ノ作業トシテニツノ方法アルコトヲノベ説明ス 畑氏海軍論アリタルト社長今里陸軍論ニテ陸軍ニ決定 第三ノ方法即チ部品ヨリ進ムコト 早急航本ト連絡作業予定ヲ知ラセテホシイトノコトデアッタ 六時終了

◆▼60ページ◆▼ 昭和18(1943)年3月26日(金)

天気晴

春ラシイ上天気トナル 朝少シ霜アリ 朝タヒエル
野口氏來 坂下ノ話、川井ノ工員百名バカリ居ル話シ 縣ノフトンノ件等一時間余リ話ス 工場出 鈴木ニ行キ朝鮮ノ兄ト妻君ヨリ今月デ仕事ヲ打切り解雇シタイコト
仕事ハ大体今日デ終リニナルダロウト考ヘラレルノデ午後俵木君ニ右ノ旨ツタエ工員希望者ハ当社ヘ引取ルコトトス。奥山氏ノ問題鈴木ノ手記ナルモノヲ讀ンダガ之レニヨルト奥山ガ悪イ様ニ感ゼラレルコトバカリデアッタガ鈴木ハ横橋ガ利己主義ノ様ニ書イテ居ルガ自分自身ソウデアアルコトモ明ラカニ示シテ居タ

正午松戸工員ニ指定工場問題ヲ傳達シ上京 二時半第一二行キ青木ガ來テ居タノデ
富岡氏ニモフトンノ件木材ノ件工員ノ件等話ス
小工員接収ノ準備ツヒニ間ニ合ワヌコトニ決定
今夜ヨリ就寝前家内中デ観音経ヲ上ゲルコトトス

▲▼91ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月27日(土)

天気 晴

八時四十分第二出 十時半第一二行ク 自動車故障ノ爲メ十一時半本社二行キ畑氏
風引ノ爲メ今里氏同道ス 松戸町長ニ祝辞ヲノベニヨリ工場二行キ晝食後松田沼二行
ク 五時帰宅ス 富岡三川井ニ工員百名位バカリアル事話シテ居ク
豊ノ金百円足立君ニ預ケル 豊津田沼ニ來テ居ルトノコトニ届ケル様村山ニ話シテ居ク

▲▼92ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月28日(日)

天気 雨

徳治今朝帰宅ス 大体船橋へ移轉勤務スルコトニ本人モ其氣ニナル
午前小鳥ノ手入レヲナシ植木ニカゝルベク仕度スル處へ奥山氏來 渡辺四郎ガ懇談ニ行
クカラ然ルベクオンビンニ話シテマトメラタイ旨希望ス 尚ポンプノ件依頼ス
晝食後仁三郎ニ手傳セ盆栽植替ニ着手 六時過ぎ十三鉢ヲ植替ル 尚沢山ノコツタガ
中止ス 雨ノ爲メ困難ス
カスミニ徵用ノ福田來 青木ノ處へ昨夜泊ツタ由 徵用改(ママ)除ヲタノミニ來タノデア
ツタ 考慮ヲ約ス
家内三十九度発熱 アスピリンニテ七度五分迄下ル
仁三郎方針父ニ一任スルコトナル 自分ノナシ得ナカッタコトヲツガセル方針

▲▼93ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月29日(月)

天気 晴

五時四十分起床 七時十分出 九時第二着 正午第一二行キ石倉ヨリ陸軍航空工廠
ト交渉ノ模様ヲ聴ク
浅草ニ参詣 今日ハ鹽入師ノ講話ガナイトノコトニスオケ経ダケデスグ出吾妻町二丁目
迄徒歩デ行キ久シ振りデ弘中君ニ會フ 海軍ノ移動格納庫ヲ作ツテ居ルトノコトデア
ツタ 帰リニ船橋ニヨリ十五円渡ス 先月三十五円余分ニ渡シテアツタ爲メ
七時頃上岡ノ兄來 鈴木ノ工場ノ件聞キニ來タノデアツタ
夜左官屋ヲ呼ビ仕事ヲ急ガセル

▲▼94ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月30日(火)

天気 晴曇

今日八津田沼ニテ工程調査ノ予定ナリシモ工場ニ行キ中止シテ上京 組合ニヨリ足立三行キ社長ニ立川航空工廠ノ件話シツヒデニ奈良原氏欠勤ノコトヲ謝シ諒解ヲ得 東亜軽飛行機ノ経過ヲ話シ、早稲田大學へ卒業式ニ行クトノコトニ同乗シテ北千住デ分レ松戸ニ行キ根戸屋ニ今日着イタ福島縣ノ国民技卒業生ニ會ヒ挨拶シテ工場ニ行ク 足立君ヨリ色々不平ヲ聞ク 一人ヤキモキシテ居ルラシイ 福井ニ急ガセ四時十五分ノバスニテ帰途ニツク

夜金太郎ヲ招待シテ夕食ヲ共ニシ一両日中ニ長野へ家族ヲ連レテ行クノニ送別宴トス

▲▼95ページ▲▼ 昭和18(1943)年3月31日(水)

天気 曇少雨

今日ハ寒イ日デアッタ

朝工場ニ行キ自動車ニテ停留所迄行ク 九時四十分第二着 正午第一ニ行ク 板垣、富岡津田沼ヨリ松戸ニ行キ四時頃帰ル由 尚話シアルカラ待タレタシトノコトニ協会ト局ニ行キ時間ガアッタノデニ越ニ寄り三時半帰所 四時十分前板垣帰ル 富岡ヨリ三九ノ脚取付方トバラスト置場ニツキ弱點ヲ述ベテ居タ 自分モ多少其感ナイデモナイガベニヤ板張りハ割合ニ丈夫ナコトハ金属機バカリヤッタモノニハ分ラナイカモシレナイ 兎ニ角設計者ニ聞イテ見ルコトトス

中岡重次郎へ請求書提出スルコト アトノ分一銭ト二銭ナラ買手アル旨知ラセ

▲▼97ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月1日(木)

天気 曇後晴

今日モマダ寒カッタ 十時頃迄宅ニテ今日ノ客ノ茶菓子ニカキ餅ヲ油揚ゲニシタリシテ後チ松戸ニ行キ根戸屋旅館ニ小供ヲ見ニヨル 今朝五名ツイタ由 アトカラ來ルトノコトデアッタノデ工場ニ行ク 足立君ヨリ状況ヲ聞キ晝食後養成所ニ行キ新監事山本大佐ニ挨拶ヲナシ甲斐氏ト一時間半バカリ話シ工場カラ呼びニ來タノデ帰ル 丁度二部長補給課長、森川市川両航空官來 工場ノ説明ヲナシ現状ヲ案内シテ三時半帰ル 夕方ミドリデ食事ヲスルコトニナツテ居ル由甲斐氏ヨリ聞ク 同店へ支拂ヲ会社デスルコトニ話シサセル

利根川教務課長ト共ニ帰ル 六時帰宅

夜大坂ノ小學校ノ後輩トス云(ママ)ノガ就職ト轉業ノ想(ママ)談ニ來ル

▲▼98ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月2日(金)

天気 晴

薄霜アリ寒シ

八時半第二着 十時半第一二行ク 正午ヨリ航本ニ渡辺君ヲ訪問 工廠ト航本ノ機
構人物ヲ聞キ航研ニ行ク 丁度三時ニナル 小林君出カケルノヲ待ツテ居テ呉レタ 仁
三郎ノ件ニツキ相談 丁度埼玉高工ノ講師ヲシテ居ル森田氏ヲ紹介シテ呉レタ 高工
ハ入學照(ママ)介ヲ依頼ス 第二ニ帰ル 島田君來テ居タ 五時迄話シテ帰ル
九時觀音経ヲ上ゲテ床ニ入ル
仁三郎友人二人藤武早川ト埼玉高工受験スルコトニシタトノコト

▲▼99ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月3日(土)

天気 晴

今朝ハ初メテ経本ヲ見ナイデ觀音経全巻ヲ上ゲタ

今日ハ大工、井戸屋、左官屋、畳屋ガ一度ニ來テ朝ノ一時ハ、ズイ分ゴタ、シタ 午前
中ニ皆終リ左官屋ダケ残ル

小鳥ヲ手入レ後台所ノ天窓取付ケヲナス 三時過ギ終ル 兄ト清平來 清平、参吉等
ト八時過ギ迄話シ合フ

一時頃青木仙ノ助小供ヲ連レテ初メテ來タ 初着代トシテ二十円包ンデ親ニ渡ス

▲▼100ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月4日(日)

天気 雨

終日雨 小止ミアリ

予定ノ仕事出來ズ 書畫ノ整理ヲ午前ナシ午後散髪後四郎平カラ來タ荷物ヲ解キ調
ベル 石ガ五六個 夏蜜柑、其他二函 ダルマト運動台自然木等出ル 夕方兄來 一時
間程話シテ帰ル

今日カラ台所デ釜ガ這入ツタノデ食事ヲナス 和子明日ヨリ今一度海浜學校へ行クノ
デ荷物ヲ出ス

松戸ノ宿ニ居ル小供達氣ニナツテ見ニ行キタカッタガ風雨ノ爲メ中止ス

▲▼101ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月5日(月)

天気 曇リ

六時起床 七時家内和子ガ海浜學校へ行くト一所ニ停留所迄同行ス 第一ヨリ第二ニ行く 來客小栗君 静岡木型工業組合ノ人ヲ照(ママ)介シテ來タ 河合サンへ照(ママ)介ス

重山夕方來 アトヨリ大坂へ來ルトノコトデアッタ

正午清平長尾來 第一ニテ会食 役員ノ顔振(ママ)レニツキ意見ノ交換ヲナス

岐阜ノ川井氏來(息) 清平ト同行サセル

昨日大坂ノ姉脳溢血ニテオレタトノコト 今日一時半デ兄出發ス 八時ニテ自分トツル姉同行ス

五時ヨリ川畑氏齋藤中将ト会食(今朝)ス 田平ト手ヲ切ルコトニシタル由 新出資者ノ件ニテ齋藤中将ニ相談ニ來タラシイ 決定シタラ教ヘテ呉レル様話シテ居ク 人ヲ世話スル上ニ責任上困ル旨云ツテ居ク

◆▼102ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月6日(火)

天気 晴

七時過ギ大坂着 氣ノ毒ニ沢山席ノナイ人ガアッタ 警戒警報中トテ車中クラシ 惠美須町ニヨリ、船橋ヨリ持參ノ辨當ヲ食ヒスグ王子町ニ行く 顔ヲ見テスグ涙ヲポロ、コボシテ居タ 嬉シイノカ悲シイノカ分ラナイガ多分両方ダロウ 言葉モヤ、分ル様ニナツタ

晝宮尾醫師來 ヨク見テ話シテ呉レタノデ安心出來タ 足ノ血行ヲヨクスル爲メカラシノ湿布スルコト、血ヲ取ル爲メヒルニ吸ワセルコト、大便ヲ排拙(ママ)スルコトトアッタガイチジク浣腸ヲシタガ出ナカッタ。山田氏ハ無理ニ出サナイ方ガヨイトノコトデアッタ。午後三時頃ヨリカラシトヒルヲ買ヒニサガシナガラ道頓堀迄行ツタ

◆▼103ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月7日(水)

天気 雨

今日ハ昨ヨリ稍ヤハツキリシテ來タ。モウ安心ト思ワレルノデ明日帰京スルコトトシ九時頃ヨリ切符ヲ買ヒニ出カケル。惠美須町ニヨリ梅田ニ行キ九時十分發大坂仕立ノ列車ニ乗ル予定ニテ、東京、津田沼へ打電シテ居ク 其前ノ七時五十二分ニ乗レタラ乗ルツモリ

正午帰宅ス 千代子小供ヲダイテ來テ居タ 久シ振りニ會フ 午後坂南松竹館デビルマ作戦航空部隊ノ活劇ヲ見ル。重山君來坂ノ報アリ 夕方電話デ話シス 兒玉課長ニ電話シテ明日重山氏訪問ノコトヲツタエ依頼ス。夜重山君來 一時間程話シシテ帰ル 四良平氏津田沼ヨリ見舞ノ電報來ル ヤハリ行ツタノデアッタ

◆▼104ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月8日(木)

六時十五分前起床 七時五十三分二間二合フベク七時十五分梅田着セシモ同車ハ一時
間延着セル爲メ九時十分大坂発ニ乗ル 樂二掛ケラレタガ京都以後ノ人達ハホトンド立
ツテ居タ 氣ノ毒デアッタ

車中俳句二首ヲ讀ミガダルカナル戦記ヲ讀ム 七時五分東京着 船橋ニヨリ九時前帰
宅

終日雨デアッタ 四良平夫妻來テ居タ 十一時半迄話シ込ム 眠クナツテ床ニ入ル
エミ子ガ折角前道ノ珍石ヲ二ツニ割ツテシマッタトノコト 氣ノ毒デアッタ

◆▼105ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月9日(金)

天気晴

朝四良平氏ト会話 八時半頃工場出 船橋迄自動車デア出ル 第一二行ク 板垣氏ヨ
リ留都(ママ)中ノコト聞ク 八日重役会ハ休会 持廻リニシタトノコトデアッタ コレヨリ
先キ本社ニヨル 今里、畑氏ニ會フ 畑氏マダヨクナイトノコトデアッタ 八日ノ会議ハ千
五十万円増資ノ件デアッタ 決議録ニ記名ス 印調(ママ)ハ判ヲ持ツテ來ナイノデ明日
ニス 正午信田君來 川畑ノ経過ヲ話シ第一へ食事ニ行ク 都築氏ニ會フ 帰ツテ板垣ヨ
リ大日航仕事ナイトノコトニ総裁ニ電話シテ会见ヲ申込ム お待チスルトノコトニ挨拶ニ
行ク 通り一辺ノ挨拶ダケデ若干仕事ノ事現在ノ現状ヲ話シテ居ク

東日ニヨル 鷺見氏居リホテルニ行キ長尾ト三人デ会见 一三会社ノ方針ニツキ話シア
リ 最後ニ清平ノ置(ママ)位ニツキ相談アリ 企画又ハ工務課長トノコトニ今更課長デ
モナイダロウト軽く話シテ居ク
清平ニ対スルタイ度ハヨクナカッタ

◆▼106ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月10日(土)

天気晴

八時出 第二ヨリ第一ニ行ク 正午四良平夫妻來 日比谷ノ桜盆栽展ヲ見本社ニ増
資決議録ニ判ヲ押シニヨリ増上寺、泉岳寺ヲ見セ今朝デ夕食後銀坐ヲ散歩シテ九時
半帰宅 ヤ、クタブレタ 十一時床ニツク

◆▼107ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月11日(日)

天気 曇薄晴

山縣記念碑ニ桜七本青桐三本椎檜八本ヲ植樹シ航空神社へ桜二本ヲ植へ長屋ノ青桐

ヲ取ツタアトへ桜二本ヲ植エル 航空神社ノ桜桃今年八花ガ一ツモツカズ宅へ持ち帰り
三ツニ株分ケシテ切りツメ盆栽仕立テト四良平氏今日八庭木ノ手入レヲシテ呉レテヨ
クナツタ

午前五時君子女子ヲ生ム

正午白戸へ電話スル 中等技術机百個 千葉高注文分ガ十五日ニ出來ルカラ廻シテモ
ヨイトノコト 十九円五十錢ハ安イト思ツタノデ、スグ第一電話シタガ誰レモ居ラズ

▲▼108ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月12日(月)

天気 晴

四良平夫妻東京デパート廻リニ行ク

津田沼工場ニ行キ小型ニテ松戸ニ行ク 工場及営團予定地ヲ視察シ晝食後養成所ニ
行キ山田監事ニ會ヒ後チ甲斐氏ト三時過ギ迄話シ帰所。八柱ニ今年初メテお参リヲ
ナシ根戸屋ニ行ク 利根川、藤井両氏ニ會ヒ學校日誌ヲ見ル 學生ニパン二個ヅ、ヲ配
給シテヤル 六時帰宅 川井父來テ居タ 明日組合へ行ク様教エル

▲▼109ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月13日(火)

天気 晴

工場ノ自動車ニテ松戸行キ 四時過ギ迄居リ帰途本年初ノ墓参ヲナス 心経一卷ヲ
上ゲテ根戸屋ニ小供達ヲ見ル アンパンニツヅ、土産ニ配分ス 利根川、藤井両氏居ル
廿日入校式ノ予定トノコト 式辞ヲ依頼ス

▲▼110ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月14日(水)

天気 晴

少シ風アレドモ天気晴朗 四良平夫妻ヲ香取鹿島ニ案内ス

八時半出香取ニ晝食 例大祭トテ賑ヤカデアッタ 森山ノ茶店ノダンゴガ、ウマクニ
三軒ニヨツテ土産用ニ買アサリヲナス

鹿島八丁度五時 佐原ニテ一時半間(ママ)待ツ間ニ夕食ヲ取ル 酒販賣セズ淋シカッタ
十時帰宅ス

今日建具屋三疊ノ書院障子出來テ來テ見チガエル程立派ニナツタ

▲▼111ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月15日(木)

天気 曇リ

中々寒イ日デアッタ

八時四十分第一着 十一時ヨリ新事ム所大手町ニ行ク。ヨク局へ行ク道ノ幽霊屋敷カト思ツタ家デアッタ。局ニ一寸行キ一時半出テ交詢社ニ行ク 田村駒次郎氏泰三郎氏ニ會フ 泰三郎氏ハヤセ形ノ男デアッタガ駒二郎氏ハ兄トモ思エナイ程太ツタ人デイツモイビキヲカイト居ル様ナ音ヲ出シテ居タ 四王天、柳下両將軍來 創立總會ヲ終ル 四時一足先キニ帰ル 帰りギワニゾミ創立費ニツキ長尾氏立替金ニツキ一言言及シテ帰ル 六時帰宅

▲▼112ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月16日(金)

天気 晴

御客ハ今日ハ明治神宮ヨリ江ノ島泊リトナルノデ道順ヲ書イテヤル

九時過ギ大手町着 午前建設課長ニ面会 道路及土地問題会談。帰ツテ利根川氏ト会见 二十日入所式ニツキ打合せ 午後第一ニ行キ一時半ヨリ航本ニ内田中佐ト会见 本社松戸工場ノ経過ト方針ヲ話シテ居ク。複坐機ノ話シアリ 東亜輕飛行機デヤラセルコトヲ話ス

奈良原氏宅ニヨル 大キナ方ハ全部完全ニ生レタガチャボハ一ツモカエラナカッタ 明後日貰ヒニ行クコトトス

▲▼113ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月17日(土)

天気 雨後晴

六時起床 仁三郎ハ五時半出テ行ツタ

工場ニ行キ船橋ヨリ乗車 大手町ニ行キ十一時頃ヨリ組合ニ行キ福知氏ニ銀婚録(本日斯ク名ツケルコトトスニ俳句ヲ書イテ貰フ 共ニ晝食ヲナシ昨日日内田中佐ニ會ツタ話シヲシテ日本橋ノ事ム所ニヨル タレモ居ラズ第二ニ行ク 三時半頃川井氏ノ令息來 四時富岡、松戸ヨリ帰ル。自動車ノ話シヲシテ大手町ニ行キ板垣今朝航空工廠へ行ツテ來タ話シ聞ク 単ニヨロシク頼ンデ來タダケトノコトデアッタ 二十日社長ニ訓話シテ貰フコト 明日足立へ自分で行クコトトス。今日兄トツル姉大坂ヨリ帰ツタ由

▲▼114ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月18日(日)

天気 晴

寒イ朝デアッタ 霜モ降ツテ居タ

八時出テ足立ニ行ク 社長來ラズ 矢野氏ニ來意ヲ事ツケル 十二時ノ定期ニテ帰ル 二時前帰ル

庭ニコスモスト葉鶏頭ナドマク

四良平君ヨリ古谷石ノ仕上ゲヲオソワリ少シヤル

夜牛肉ガ手ニ入ッタノトカツオノ刺身ガアッタノデ兄夫妻ヲ呼ビ会食ス 兄酒五合持
参ス

◆▼115ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月19日(月)

五時半起床 仁三郎學校 家内ハ四良平夫妻トツル姉ト房州巡リニ六時出發ス 天候
面白カラズ八時頃ヨリツヒニ雨トナリ午後益々シゲクナル

朝散髪シテ十時大手町ニ出十一時半板垣來 共ニ本社ニ行キ社長ト會フ 明日ノコト
出席ト訓示ヲ依頼ス

第二ニ行キ式時再ビ大手町ニ帰り青木ト同道松戸ニ行ク 自動車ナク根戸屋ニ行ク
小供達帰ツテ居タ 今日カラ寄宿ニ入レル筈ノ處變ダト思ツタラマダ畳ガ這入ラナイ
ノト炊事設備ガ出來テ居ナイトノコトデアッタ

今夜ハ根戸屋ニ泊ルコトス 提婆経ヲ讀ム五時半起床 七時出 八時半大手町着
全員ヲ集メ事ム上ノ注意 移轉後ノ學生ニ対スル心カマエ等ニツキ話シヲナシ辞令ヲ渡
ス 第一ニ行ク 長田氏ヨリ土地問題ヲ聞ク

十一時半局ニ行キ長田、駒林両氏ト会見 上岡ノ件話シ再考ヲ希望ス。目下調査中ニ
ツキ考慮ヲ約サレル。夜上岡ヲ呼ビ以上報告シ尚方針ニツキ注意ヲ與ヘル
左官屋ニ金支拂フ

午後観音様へ参拜。今日ハ防空ニ関スル講演ナノデ聞カズニ桂チヤボヲ求メ帰ル

◆▼116ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月20日(火)

天気 晴

昨日ニ變ル上天気デアッタ 七時二十分ノバスニテ工場ニ行ク 丁度四十分カゝル。諸
準備ト、ノヒ社長、指導所長來場 十時半頃ヨリ式ヲ初メ自分ノ挨拶後社長ノ話シア
リ 中々ウマイモノダ 終ツテ記念撮影ヲナシ食事シテ解散 社長、板垣津田沼ニ行ク
アト課長會議ヲ開キ事ム所移轉ヲ廿六日ト決定ス

學生ハ寄宿舎ノ警察ノ許可又ハ諒解有ル迄待ツコトトス 其他二三打合セテ三時終リ
第二ニ引上ゲル 重山來ルトノコトデアッタガ、ツヒニ來ラズ 板垣津田沼ヨリ帰ル 六
時事ム所ヲ出銀坐ヲ歩イテ明後日ノ歌舞伎坐ノ切符ヲ求メル

八時半頃帰宅 丁度皆帰ツタ處デ昨日ハ鯛ノ浦ダケシカ見ナカッタガ宿ガトテモヨカッ
タノト今朝ノ日ノ出モヨカッタト大喜ビデアッタ

◆▼117ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月21日(水)

天気 晴

八時半工場出 十時山崎稻林両氏來 二時帰ル 富岡課長同道ス。計測終リ重心位置決定 バランスノ重量等モキメル
オソクナツタノデ上京ヲ中止シ文部省型ノ工数調査ヲ行ヒ四時半帰宅ス
夜上岡ノ兄來 航空局ノ工合悪イノデ困ツテ居ルトノコトデ、明日行ツテ聞イテヤルコトトス

◆▼118ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月22日(木)

天気 晴

晴レタレドモ北風強ク寒カッタ

今日四良平夫妻観劇後船橋で一泊 明朝帰ルトノコトデ今朝御別レヲシテ出ル。清平今帰ツタトノコトデアッタ。九時半大手町着

一時過ギ局ニ行ク 駒林氏ニ面會 上岡ノ方ノ件聞ク 駒林氏素直ニスツカリ局ノ方針ヲ聞カセテ呉レタ

尙時半齋藤閣下ニ電話スル 先方デモ會ヒタイトノコトニ行ク 三時着 金ヲ出ス人二人見付ケテアルガ一人ハエタ。パイノ篠塚氏デアッタ 面白イト思ツタガ川畑氏カラコトワツテ來タトノコトデ齋藤氏モ少々中復ノ様子デアッタ。特ニ倉監ガスデニ相(ママ)想ヲツカシテ居ヤシナイカトノコトデアッタ。万一川畑氏ダメナラコチラデ、ヤロウデハナイカ 考ヘテ居イテ呉レトノコトデアッタ

夜鈴木ノ家内來 奥山ノ問題ハ辨ゴ士ニタノンダ由

上岡兄ヨビニヤル

◆▼119ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月23日(金)

天気 晴

四良平夫妻今朝船橋ヨリ出發ス 兄徳次嫁ノ件ニツキ静岡ノ青島へ行ク
九時前大手町着 十一時半出テ松戸ニ行キ四時六分六實發ニテ五時半帰宅ス
足立金三郎ニ対シ板垣ヨリ注意ヲ與ヘル 中々ウマイモノデアッタ

◆▼120ページ◆▼ 昭和18(1943)年4月24日(土)

天気 晴

八時過ギ第一着 二三分シテ板垣來 長野ノフトン、ウマク解決シタトノコトニ安心ス 土地問題長田氏一人デハドウシテモ急速ニ行カナイノデ、フトンニヨル手腕ヲ認ラレ越智君ニ手傳ワセルコトニ決定ス

大手町ニ行キ午後一時頃ヨリ白木三越ニ行キ學生ノ胸章ヲ買ヒ総務ニ命ズ。尚工場敷地内ニ、ヒマヲ植エルコトニシ総務ニ種ノ入手ヲ命ズ
三時早ク仕舞テモヨイ旨ヲ青木ニ命ジ帰宅ス。船橋ニヨル 広子ノ末子危篤ノ爲メ兄静岡ヨリ大坂へ急行セシ由

▲▼121ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月25日(日)

天気晴

五時半起床 六時ヨリ仁三郎ト成田山へ参拜 九時帰宅後朝顔ノ種ヲ蒔ク。アマリ上天気ナノデ家内ト海へ行ク。マテモ少シ取レタ 久シ振リデアッタノデ面白カッタ 二時帰ツテ晝食中藤井ノ令息來 六時頃帰ル 清平來 一時間程藤井ノ合(ママ)手シテ貰フ。自分ハ鉢植 紅蓮ヲ植エ柿小梅栗苗ノ移植ヲナス
夕食中上岡ノ兄來 一時間程話シテ帰ル 会社許可ニナラナイト大分困ルラシイ

▲▼122ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月26日(月)

天気晴

大手町第一航空局日本橋浅草寺、チャボヲ求メ帰宅
局上岡ノ件長田氏

四月十九日ノ處ニ本日ノ記事アリ

▲▼123ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月27日(火)

天気晴

出社前盆栽ノ置場所変更ス チャボ昨日ノ分仲悪シ様ダ
八時過ギ工場出 米其他ノ受給機構ヲ調べル 大体納得出來タノデ係リノモノヲ調査ニコスコトニス

鈴木ニヨル 妻君ニ會ツテ昨日ノ道具ノコト 工場ノコト話ス 然ルニ妻君ノ言葉余リニ自己本意デシカモ自分ニ親類ヲ持タナイ様ナロブリナノデ今後一切世話シナイコトニ心ニキメル

松戸ニ行キ根戸屋ニテ児供達ヲ見工場ニ行ク 途中川崎氏ニ會フ 試飛行ノ件其他打合

四時発ニテ船橋經由帰ル 徳治來ラズ

▲▼124ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月28日(水)

天気 晴

今日カラ徳治自宅ヨリ大森へ通勤スルコトニナリ七時同道シテ出ル 清平ニヨリ、クラシ
プノ立替金ノ領収書ヲ渡ス 大手町ニ行キ正午過ぎ迄居ル 板垣ニ作業会議ヲ行フコ
ト 其他数ケニツキ語ル 板垣ヨリ津田沼工場ノ今後ノ方針ニツキ考へテ居イテ呉レト
ノコトデアッタ

午後第一ニ行キ四時迄居ル 其間回教協会ニ四王天閣下ヲ訪問 一時間余リ語り例
ノ畫帖ニ一筆即時書イテ貰フ

▲▼125ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月29日(木)

天気 曇少雨

家内八角ノ母ヲ連レテ成田山参拜 恵美子學校仁三郎梅田ト千葉ニ行ク 徳治勤務
午後ハ一人デアッタガ朝カラ庭木ヲ植替エチヤボノ小屋ヲ作ル 左官屋ガ手傳ツテ呉レ
タノデ夕方九部通り出來上ル

重ニヨリ手紙來 姉ガヤ、ヨクナリツ、アルガ神経痛デナヤムノデ困ルトノコト 女中ガ
ホシイ由

川畑氏ヨリ三十日着予定ノハガキ來ル

木暮君内地へ帰還 宇都ノ宮ニ居ルト通知來

▲▼126ページ▲▼ 昭和18(1943)年4月30日(金)

天気 晴

五時四十分起床 七時半出 船橋ニヨリ九時十分船橋発ニテ松戸工場出勤 十時過
ギ着 五時二十分ノバスニテ五時五十分発ニテ七時帰宅ス 定期券ヲ求ム
午後足立君ヨリ全部ニ事務引ツギヲナス
青年校ノ學生本日ヨリ寄宿舎ニ入ル

▲▼128ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月1日(土)

天気 晴

朝徳治ト東京駅迄同行ス

九時前大手町出 板垣ト昨日ノ結果ヤバス代補助ノ件其他ニツキ打合せ
今日ハおニギリヲ持ツテ行ツテ事ム所デ喰フ

東部軍司令部ニ富岡行キ許可証ガオクレルナラバ何ニカソレニカワルベキモノヲ依頼シ月
曜日今一度行クコトニナッタトノコト

土地問題越智君ニ更ニ小野ヲツケテ強引ニ方ツケルコトニシタトノコト ヨロシ

作業会議四日午前十時行フコトニ決定ス

川畑氏向カラモコチラカラモ電話シタガ今日ツヒニ会エズ

なの花や 大師巡りの 鈴の音

◆▼129ページ◆▼ 昭和18(1943)年5月2日(日)

天気晴

六時半起床 朝食前ニ散髪ヲナス

九時頃ヨリ小鳥ノ掃除ヲ終リチヤボノ鳥小屋ヲ初メ夕方、ヒサシノ杉皮葺ダケ残り
完成ス チヤボニ組ニ分ケテ入レル

角母親今日帰国ノ途次群馬へ行ク 角送ツテ行ク 今夜帰ル由 スグ板垣へ移轉準備
ヲナス由。青仙モ一所ニ荷物ヲ発送スルトノコト

井上氏ヨリ竹ノ子到着ス

◆▼130ページ◆▼ 昭和18(1943)年5月3日(月)

天気晴

七時三十分迄ニ松戸工場へ着ク 様船橋六時八分発ニ乗ルベク五時二十五分宅ヲ出タ
ガ列車ナク七時九分トノコトニ清平宅ニヨリ時間待ヲシテ九時二十五分工場着

職員会議ニ大塚氏一人來 ソレデモ打合セヲ終ツテ晝食後十二時三十分ノバスニテ二
時大手町着

立川工廠部品來月カラデモヤツテ呉レトノコトデアッタ由 三時交詢社ニ行キ今上半
期決算報告利益処分ニ関スル役員会 四時半終ル 第一ニヨリ川畑ト打合セ四ノ宮屋
ニテ会见ス

野間家カラ出資スルコトニ話シ中最(ママ)非マトメネバ国へ帰ラヌツモリダガ万一ノ場合
ハ鹿児島ノ銀行デ三十万円ハ出スコトニナツテ居ルカラ、ソレダケデモヤルトノコト 田
平ヤ前田ノ件聞ク 田平ハ余リヨクナイ人物ラシイノデ太田ニ注意シテヤル必要アリ

◆▼131ページ◆▼ 昭和18(1943)年5月4日(火)

天気晴

五時半起床 清平宅ニヨリ上京 大手町ニ八時半ツク 入口デ長田氏ニ會ヒ板垣ト二
人デ土地ノ話シ聞キ営團ノ地所ニツキ明日自人ト小野ト縣庁ノ松井氏訪問スルコトト
ス

十時半ヨリ課長会議 会前ニ昨日社長ノ話シヲ引用シテ訓示ヲナス 正午過ぎ終ル

青木ヨリ京都ノ轉業者ノ話シ聞ク 申込ミ六十三名アリ イヅレモ十数年ノ經驗アル
一カドノ圖案家ニテ中ニ六相當ノ画家モ多数アル様子デアッタ 宜シ 此ノ人々チノコト
ヲ考ヘルト氣ノ毒デアアル

▲▼132ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月5日(水)

天気 晴風強シ

午前二時半小便ニ起キ上ルト鼠ガ一匹坐敷ヲウロ、シテ居タノデ家内ヲ起ス。シバラ
クバタ、シタ末ツヒニ家内ガフトンデ取押ヘタ 其マ、ザルデ、フセテ居イタガ朝見タラ
死ンデ居タ。夜又天床ヲ大キナ音デアバレテ居タ マダ居ルラシイ
八時半縣庁ニ行ク 小野來テ居タ 松井氏ニ会ヒ共ニ農政課ニ行ク 小作官不在 野
村氏ト懇談ス スグ場所ヲ見ニ行クトテ松戸ニ同行 現場ヲ見セ工場二行 板垣富岡
來テ居タ 畑ハナルベク止メテ呉レトノ事デアッタ 分ケテ建テルコトニ方針ヲキメル
夕方五時工場出 七時帰宅 牛肉ガ來タノデビフテキニス ウマカッタ

▲▼133ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月6日(木)

天気 雨後晴

朝雨降り数日來ノ南風モヤミホコリ止メトナル
九時半工場出 青校ノ教授振リヲ見テ居ル處(縣庁勤労課ヨリ午前中ニ出頭セヨトノ
コトデアッタ)ガバス都合悪ク六實十二時二十三分發ニ乗ル 田中同行ス 利根川教育
會館ニ指導員会ニ出席ノ爲メ同行ス

勤務課デハ食堂ノ建築願書ガ出テ居ナイカラ、スグ出スコト 但シ始末書ヲ付ケテ出セ
トノコトデアッタ 調査ノ上明日返事スルコトトシ田中建設課ヘ急行セシム 自分小屋
屋ニヨリ胡錦鳥ノ雌ヲ一羽求メル 十五円デアッタ 帰ツテ津田沼工場ニ行 今日八定
休日デアッタ。板金ノ一部ト佐藤吉ガ居タノデ明日女子部ノモノ見學ノ件ヲ事傳テ
引越シニツイテ意見ヲ聞キ五時帰宅後佛手柑ノ家根ヲ取り鳥小屋ニ杉皮ヲ張り仕上
ゲヲナス

▲▼134ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月7日(金)

天気 晴

五時二十分起床 七時九分船橋發工場出
十時立川ヨリ大木技師外一名少尉ノ人來 自分板垣ヨリ説明 工場ヲ見テ甲斐サン
ニ來テ貰フ 大木氏トハ先輩ラシイ口振りデアッタ 共ニ松戸辻晝食ニ案内ス 石倉、
富岡、鈴木各課長同行 一時終ツテ駅ニ送り甲斐氏ヲ養成所ニ送り工場ニ歸ル

本日青校ニテヒマノ種ヲマク

三時十五分工場出 四時九分ニテ五時過ギ帰宅 松原夫妻ト小供來 夕食中デアツタ 六時頃帰ル

昨夜家内ノロヨリ藤井ヨリ仲娘ノ養子ニ貰ヒニキタラシイ話シヲ聞イタトノコト 初メテ聞イタガ思ヒ當ル。

初恋ノ女 今テモマタ(ママ)ニ夢ニ見ル女 夜眼サメテ一句アリ

帽子取る 額ひの汗に 風涼し

初戀や 四十天引き 夢ノ春

▲▼135ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月8日(土)

天気晴

大詔奉戴ノ爲メ四時半宅ヲ出テ六時半工場着

小供達ノ木劍操作ヲ見ル 七時半學生工員ニ一所ニ集メ奉戴後ヒマト貯蓄ニツイテ話ス

九時半ノバスニテ上京 富岡石倉板垣等ト、ソレ、用件ヲ済マセル

今日ハ大ニ仕事ガ能率ガ上ガッタノデ氣持チヨカッタ

三時出テ上野ニ水石展ヲ見五時半頃帰ル 京成駅ニテ星野氏ニ久シ振リデ會フ

夜稲毛デ少シ貰ツタ酒デツカレヲ安メアンマヲ取り早く床ニ入ル

▲▼136ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月9日(日)

天気晴

五時半起床。小鳥手入レ 庭ノ手入レ 盆栽ノ植替

午後八家内、青仙、林部ト海ニ行ク 四時頃帰リ今日カラノ夏場所放送ヲ聞キ五時ヨリ盆栽ニ水肥ヲ與ヘル

夕食ニ久シ振リニビールヲ一本ノム 家内ト仁三郎ニ一杯ヅ、分ケル 其空ビンデ更ニ一本求メ徳治ニノマセルコトトス

目の醒める 五月の庭ニ ひよ子遊ぶ

親鶏の 背に乗るヒヨ子 五月咲く

▲▼137ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月10日(月)

天気 曇晴雨

五時半起床 八時半大手町着

長田、富岡、小野、板垣ト土地問題ヲ議シ急ガセル 十時工業クラブ行キ第八回株主総会開催 社長ノ経過報告 今里氏ノ決算報告 矢野氏ノ監査報告アリテスラ、約二十分デ終ル 十一時一度事ム所ニ帰ル 福知氏來 共ニ正午再ビ工業クラブニ行ク 東洋ノ中村氏一人デアッタ 生田來 オクレテ清水氏來 晝食 ハルカオクレテ本庄氏來 會議ニ入り値上ゲ問題又々延期 十五日頃迄ニキマルトノコト
新入組合員増加ニヨリ理事増員ノコト 理事二名監事一名トスル 内会員ヨリスル案ト新会員トスルニ案ニヨリアト八局ノ意向ヲ聞イテ、キメルコトトス 場所日時方法ヲ大體トリキメテ三時終ル オカゲデ浅草ニ行ケナクナッタ
四時半川畑ニ会フ。マダキマラヌラシイ。六時帰宅

▲▼1388ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月11日(火)

天気 晴

五時起床 八時十五分松戸工場着 板垣來テ居タ 福島ヲ呼ビ縣庁ノコト井戸ノコト其他聴取。十時ガ遅レ十一時ヨリ建設委員会(ママ)催 二時終了 今日ハ現場事務所ノ件 入開門時間其他ヲ決定ス 引續キ青少年指導委員会ヲ開催 約一時間余ニテ終ル 滝ヶ崎指導所長來場 日曜日外出シタマ、帰ラナイ同所カラ來タ小供二人ニツイテノ件デアッタ 十五日利根川氏出張 父兄ト懇談スルコトトス
五時四十六分ニテ帰宅 顔ヲ洗ツテ居ル處へ上岡兄來 昨日局へ行ツタ處願書ヲ取下ゲテ呉レトノコトデアッタ由 本社ヨリ明日午後二時迄ニ自分ニ局へ來テ呉レトノ電報ガ來テ居タ 多分此ノ事ダロウ

▲▼1399ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月12日(水)

天気 晴

七時九分ニテ松戸工場行キ
十時ヨリ上京 局ニ行ク 駒林氏會ヒタイトノコトデ二時行クコトトス 大手町、第一、本社等ニ行ク 二時丁度駒林ト会見 組合ノコトデアッタ 福知氏ニ止メテ貫ヒタイ希望ヲ話サレタガ最后ニ常任理事二名ノ増員福知氏ノ専務ヲ常務トシテ三人常務デヤオセ仕事ヲ分担シテヤラセタイトノコトデアッタガ福知氏ノ爲メ同氏ヲ専務マ、ニ常務増員ヲ希望シテ居ク 資材配給不良トノコトニ対シテハ、ムシロ局ニ責任アルコトヲ述ベテ居ク。大手町ニヨリ松戸ニ帰ル 七時ニナル 夕食後點呼ヲ見九時半消燈 床ニツクヤ、サイレンアリ 空襲トノコトニ利根川氏全員ヲ起シ部処ニツク 飛行場ニハブン、ハ、發動機ヲ廻シテ待機シテ居タガ、ツヒニ警戒警報ノ間違ヒト分リ寢ニツク

◆▼140ページ◆▼ 昭和18(1943)年5月13日(木)

天気 晴

五時半起床 七時半全員集合 青年産業戦士補導週間ノ初リニ當リ四五十分ニ渡リ小供達ニ訓示ス 終ツテ今日カラ就任シタ榎本中尉ヲ照(ママ)介ス 十時ノバスニテ出発 足立ニ行ク 社長不在 清水氏ニ銃ノコトヲ話ス 最(ママ)非四、五十丁分ケテ呉レトノコトデアッタ 一時半本社ニ行キ角ノ退職手當受取ル 全部デ千二百余円トナル。大手町ニ行キ信田ヲ待チ合セ四時過ギ紀ノ国屋ニ川畑ト會ヒ久シ振リデ太田屋ニ行キ牛肉デ夕食ヲ取り信田ト両方ヲ引合ス

◆▼141ページ◆▼ 昭和18(1943)年5月14日(金)

天気 晴

八時大手町ニ出九時笠原、佐藤ヲ連レテ浦和ニ松本産業ノ工場ヲ見ル 岡部氏一人熱心ダガ工場全体トシテ大シテ熱ヲ見ラレナカッタガ計画ニ入レルコトニス。十八日グライダー生産会議ヲ開クコトス 大手町ニ帰り、長尾君へ届ケル品ヲ忘レタノデ、津田沼迄取りニ帰ル 五時本社ニ行キ清水氏ト同道上野精養軒ニ行ク 大分遅レテ会食後社長ヨリ、足立ノ課長連ニ対シ一致協力今一息完成品ニ努力スル旨、クレ、述ベル 二三課長ノ意見アリ九時近ク終ル赤坂、矢野、両氏海軍ヨリ七時頃帰ル 海軍ノ方諒解成立 スベテ進行シテヨシトノコトノ報告アリ。上野駅ニ行ク 二時間位前カラ列ヲナシテ居ル 十一時五十分ニ乗ル 乗席ハ一人ツ、デ満員ニナツテ居タノデ樂ダト思ツテ居タラ一人自分ノ席出來タ爲メ横ニナレナクナッタ

◆▼142ページ◆▼ 昭和18(1943)年5月15日(土)

天気 晴

トウ、眠レナカッタ 五時洗顔シテ腹ガヘツテ居タノデ昨日ノ海苔卷ヲ喰フ 丁度輕井沢デアッタ 窓外ニ桜ガ盛リアッタノデ 高原に 二度の花見や 汽車ノ旅 平凡ナ一旬 六時半長野着 清平ガ來テ居タ 藤屋ト云フ宿ニ入ル 長尾鷲見食事中デアッタ。自分ハ食事ハ取ラズ善光寺ニ参拝ス 丁度尼宮の本堂讀經中デアッタ。御経ノ済ム迄禮拜後宝物殿ヲ拝観ス。戦死者遺骨ノ奉安所ニ金五円也ヲ寄付ス 帰ツテ清平ト工場ニ行ク 裏庭ニ池泉、水ハナカッタガ有リ手入レスレバ中々上等ダ 工場ノ中モ大変明ルク天井ガナイノデ桁ノヒクイノハ左程苦ニナラナイ。終業ノ時津田

沼カラ來タ人々ニ挨拶ヲシ長尾君ニ協力スル様話シテ居ク。來ル十八日役員会ヲ開ク爲メノ服務規定其他ノ案ニツキ種々意見ヲ聞カレタコトニ對シ体験ヲ語ツテ居ク
夜長尾鷺見、清平布施、角、廻間ト会食 十一時帰宿 寢ニツク
晝間布施ノ家ニモ行ツテ見タ 晝食ノ肉モウマカツタ

▲▼143ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月16日(日)

天気 雨

七時起床 朝食後清平ト町へマホービンヲ求メニ出タガ今日ハ皆お休ミデダメ 散髪ヲシテ十時頃宿ニ歸ルト丁度金太郎ガ來タ處デ自轉車デ四十分カ、ツタトノコト 頼ンダ山芋ガナク、リンゴト夏蜜柑ヲ持ツテ來テ呉レタ

○時十三分ニテ鷺見、清平ト同行歸ル 二等車半分シカナク満員、デツヒニ横川迄立ツ同所デ、増結ノ三等ニ乗り替エ漸ク坐席ニアリツク
八時半帰宅ス 寒イ日デアツタ

▲▼144ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月17日(月)

天気 雨

六時半出 今朝ハサスガニ少シツカレテ居タ

船橋駅デ利根川氏ニ會ヒ今日松戸へ行カレヌコトヲ事傳テ上京 八時過ぎ大手町ニツク 島田君來社 板垣ト話シ中デアツタ。後チ其後ノ報告ヲ聞ク 十時過ぎ井上武三郎氏來 昨夜電報ヲヨコシタノハ同氏デアツタコトガ後デ分ル。色々話ス内、合成樹脂デ紙ノ合板ガ出來ソウデアツタ。其試験ヲ即足製品ノ試験所デヤレルトノコトニ同行シテ同所ニ行ク 期待程ノコトハナカッタガ研究ハヤツテ居タ。浅草ニ二時ツク 丁度初マタ處デアツタ 今日ハ本堂デアツツ島必勝祈願ヲ行フ

夜北京ノ矢野來 南方へ行キタイトノコトデアツタ 成ベク同ジ会社ニ居ルカ、サモナケレバ内地へ歸ルナラ、ドコカエ世話スル旨話ス。明日会社へ來ル様ニ話ス
工場ノ上ノ土地徳治名儀(ママ)ニ登記ス

▲▼145ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月18日(火)

天気 曇リ

五時起床 松戸行き 板垣昨夜泊リ 洗面器ノナイコトヤ何ニカニヤハリ氣ガツイテ早速購入方ヲ手配ス 明日ノ行軍ノ打合せヲナシ養成所へ坐高計ヲ借りニ行ツタガナクテ身長計デ間ニ合セテ居ルトノコトデアツタ。岐阜ノ川井氏來テ居タ 同行シテ東京駅デハカレル 大手町ニ矢野來テ居タ 南方航空ニ井上正鑑君ガ帰ツテ來テ居ルトノコ

ト二同氏二照(ママ)介ヲシテヤル。一時半交詢社二東亜ノ役員会ニ出席ス 田村一族四名ト柳下氏松本辨ゴ士長尾氏デアッタ 田村駒次郎ト長尾氏ト意見合ワズ自分調定(ママ)役ヲツトム

組合明日理事会ニ出テ貫ヒタイトノコトデアッタガ明日ハ行軍ニ行クノデ、コトワル。ドウナルカ出テヤッタ方ガヨイノダカ明後日モアルコトダカラ一度様子ヲ見ルツモリデ明日ハ出席セヌコトトス

▲▼146ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月19日(水)

天気 曇リ

今日モ降リソウデ傘ヲ持ッテ六實迄行ク 四十分待ツ内写真機ヲ据付ケ、學生隊ガ來タ處ヲ第一二一枚取ル 新緑ノ中ヲ手賀沼二十一時半着 辨當ガウマカッタ 二時迄舟遊ビヲサセ帰路ニツク 間道ノミヲ六實ゴルフリンク迄帰ル 其間新緑ノ香ニムセル程デアッタ

五時四十六分三十分程早く六實駅ニツク 解散式ニ利根川氏ニ依頼ス

生徒ノ内傳令ノ復稱(ママ)ヲ全々ヤラナイ者ガアッタ 考慮ヲ要ス

組合理事会明日総会ニ先立ッテ八時半清水組ニテヤリタイトノコト

大藪來 更ニ電報來ル

松林 緑の香ひ さる渡る

野も山も 緑りしたる 香かな

▲▼147ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月20日(木)

天気 雨

八時十五分清水組事務所ニ着ク アトヨリ水野、福知両氏來 本庄氏來ラズ。話マトマフズ送会延期説モ出タガ局ハ今日マトメロトノコトデ十時十五分大東亜会館ニ行ク 清水氏本庄氏駒林氏等新会員ノ代表トシテ伊藤隆吉、有野氏等ト交渉 正午晝食後漸ク会開(ママ)ス。結局局ノ幹旋ニテ新会員中ヨリ理事二名幹事一名ヲ理事長指名ニテ伊藤、有野、第一ト平田ニ決定。其他ノ議案モ中々手間取り三時頃漸ク終リ懇談会ニ入り四時終ル 新理事会ヲ廿四日午前十時ト定ム

スグ福知氏ト大森ノ浜田屋へ玉井君廿七年ノ追想会相羽君主催ニ出席 花ヲ持參ス。珍ラシイ人々ニ会ヒ自己照(ママ)介デ色々ノ話シガ出テ九時五分辞シテ奈良原氏ト共ニ帰ル

十一時過ぎ帰宅 十二時床ニ入ル

◆▼148ページ◆▼ 昭和18(1943)年5月21日(金)

天気 曇り晴

時事 山本五十六聯合艦隊司令長官飛行機上ニテ戦死ノ発表アリ
五時半起床 定刻松戸工場出
寒イ日デアッタ

一時辻工場ニ居リ川畑ニ會フ爲メ上京 バス一台故障ノ爲メ四時半東京神田組合事
ム所着 川畑氏ニ來テ貰フ 大藪二理事会ニ必要ナル今回ノ値上ニ対スル組合員ノ意見
調査ヲ命ズ 五時川畑氏ト本郷デ會食 会社組織ニツイテ意見ヲ述ベ信田ノ給料ニツ
キ三百円ヤツテ貰ヒタイ希望ヲ述ベテ分レル

◆▼149ページ◆▼ 昭和18(1943)年5月22日(土)

天気 晴

定刻松戸工場出 十一時半辻居ル 富岡課長來テ居タガ其他一人モ來ラズ
養成所ニ行ク 岩本氏來テ居タ Y39試飛行ニ関スル件デアッタ 一二打合せシテ甲
斐氏ニ會ヒ発動機出シテ貰フコトヲ依頼シテ十二時二十五分六實發 車中奈良原氏ニ
會ヒ千葉駅ニテ北尾君ト一所ニナリ千葉寺ニ行ク 久シ振リデ有池氏徳永氏安藤正
張氏ニ會フ 戎路ニテ約一時休息後自分ハ藤枝ニヨル 母一人デ表ハカギガカッテ居タ。
小鳥屋ニヨリ五時会場タル並木ニ行ク 奈良原氏帰ッタ 山田春方君來 乗池驗査ノ
爲メ來ラレナイトノコトデアッタ 八時終ル 帰途野口君訪問シテ十一時帰宅

◆▼150ページ◆▼ 昭和18(1943)年5月23日(日)

天気 晴

時事 山本元帥遺骨午後二時四十五分東京駅御帰還

ヨイ天気デアッタ 六時起床

朝食後工場ニ行ク 工場ハ休ミデアッタガ松戸ノモノハ全部出テ居タ 明日試飛行延
期ノ電報ニヨリ白砂ニモ松戸へ連絡ヲ依頼シ立川ト次長へ知ラセル
帰途谷口大兄ニ會フ

帰宅シテ小供ト鳥ヲ見朝顔ヲ植エ替カケタガ十一時半ニナッテモ、コナイノデ家内ガ急
ガセルノデ海ニ行ク 三時過ぎ上ツテ來タラ相羽君ト北尾君ガ來テ居タ シバラクシタ
ラ川畑氏モ來。具料理デビールト白米デ夕食ヲ出シ六時過ぎ帰ル

川畑氏ハ新会社ニ万五千円ノ規(ママ)設会社ヲ十九万八千円ニ増資スルコトニナッタノ
デ話シガ變ツタノデ諒解ヲ求メニ來タトノコトデアッタ 明日信田君ニ會ヒタイトノコト
ニ打電ス

夜アンマヲ取ル

夕方残りノ朝顔ヲ植替エ終ル

▲▼151ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月24日(月)

天気 曇後雨

新組合理事会二十時出席 正午終り会食後散会 局ヨリ課長、関口、係長來 終リニ
價格問題ト常任理事ニ対スル車馬賃問題ヲ投票ス

白戸問題福知氏ニ依頼 浜野ノ兄警視廳ニ居ルノデソレニ頼ンデ様子ヲ調べテ貰フコト
ヲ依頼ス

観音様ニ参詣 後チノ講話デ観音経講議ヲ終了ス アトニ回程全般的ニツイテ話シガ
アリ其後ハ般若心経カ聖徳太子十七憲法ガドラカニ近クキメタイトノコトデアッタ

▲▼152ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月25日(火)

天気 曇リ

定刻松戸出 労務課々長池田十時過ギテ出ル

製造ハ全然來ナイノデスベテガ円滑ヲ欠クノデ廿七日課長係長會議ヲ行フコトトス

三時ヨリ上京 本社大手町ニ行キ月給ト賞與ヲ受取ル 田村町ニ行キ次長ニ會フ 長

田氏ヨリ土地ノ問題聞ク

夕食後債券現金ヲソレ、額ヲ入レル様手配ス

▲▼153ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月26日(水)

天気 晴

七時船橋駅迄土地登記書類ハ工場へ行クモノニ事傳ル爲メ行キツヒデニ船橋ニヨリ兄ニ
五十円ト土地ノ印紙代渡ス 今日ハ相撲ヲ見ニ行クトノコトデアッタ

九時前工場出 自分ノモノ机ノ引出シヲ整理氏(マ)松戸送りノモノ、ソレ、指令シ
十時半帰宅 仕度後〇時過ギ自動車來 印旛養成所ニ行ク 中井所長ニ面會 親シ

味ノアル会见デ場内ヲ田谷氏ノ案内デ見學 機体發動機ハ最(マ)非タノムトノコト

今迄津田沼ハ海軍ノヲヤルテ居ルトノコトデ遠慮シテ居タトノコトデアッタ 三時帰宅

朝顔ノ残り植替盆栽棚ノ整理

▲▼154ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月27日(木)

天気 曇リ

時事 山本元帥死後初ノ海軍記念日

五時起床 八時二十五分工場着 十一時頃板垣來

其前富岡課長ヨリ昨日建設狀況ニツキ板垣ヨリ小言ヲ喰ツタトノコトデ色々辨明シテ居タ

正午福井ヲ述(ママ)ビ今後ノ予定ヲ聞ク

明日課長係長會議ヲ行フコトトス

明後日防護團組織ニ対スル會議ヲ開ク様命ズ

足立金太郎本日出勤ス

板垣ニ機体修理グライダーヲ一棟別ニスルコトヲ相談 実行ニウツスコトトス

夜徳治ニ今後ノ方針ニツキ注意ヲ與フ

▲▼155ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月28日(金)

天気 曇後雨

五時十五分出 工員、バスニテ足立工場へ行ク 朝禮体操ヲ見後チ轉業者ノ指導ヲ見学成(ママ)品ナド見本モ貰ヒ十時半松戸着

正午頃ヨリ各課長ボツ、集合 二時過ぎヨリ會議 杉山囑託醫ノ照(ママ)介ト同氏ヨリ醫療設備ニツキ希望アリ。後チ食事ノ栄養問題ニ及ブ 終ッテ総ムヨリ出勤ニ關スル件、足立君ヨリ作業命令ニ關ル件、工員移轉ト家ノ門(ママ)題等ニテ五時半トナリ松戸廻リニテ帰ル

船橋ニテ清平ニ會フ Y39試飛行ト内田中佐訪問ノ件驚見氏カラ様子ヲ聞キタイトノコトデ内田氏旅行中Y39無期延期分ノ次第知ラセルコトトス

▲▼156ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月29日(土)

天気 曇雨

時事 アツツ島守備隊全員玉砕ス

本格ノ梅雨ダ

定刻工場出 今日ハ建設課長一人 アトハ誰レモ來ナイ 足立ガ午後一寸顔ヲ出シタダケデアル

川名ニ轉業者募集方針ヲ命ジ産報ノ組織ニツキ前田ニ命ズ 其他雑用多シ

今日初メテ電話開通ス 本社ノ板垣ト話ス 明日社長ト津田沼ニ行キ午後松戸へ廻ル由

夕方重山ヨリ電話アリ 八日仕事初メテ來テホシイトノコトデアッタガ余リ熱心ニ希望シテ居ナイ様ニ思ワレタ

昨夜大藪ヨビニヤッタノニ今朝モツヒニ來ラズ

▲▼157ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月30日(日)

天気 曇り

定刻工場出 課長会議 課長一人モ來ラズ 止ムナク課長級ヲ代理トシテ集メ會議ヲ開キ正午前終了ス
午後三時頃板垣來 東京ノ工場賣物ノ件話ス
福井組來 資材入手ニツキ会社側ニ協力ヲ希望シ來ル
三時半出 四時三分ニテ歸ル
船橋ニヨリ清平ト會ヒ帰宅。參吉明日荷物發送 明後日早朝出發トノコトニ今夜送別會ヲ開クベク案内サセタ處上京中ニテ九時頃歸ルトノコトニ兄ダケ夕食ヲ共ニス

▲▼158ページ▲▼ 昭和18(1943)年5月31日(月)

天気 曇り

定刻工場ニ出 労務、學校ソレ、命令シテ九時半ノバスデ上京 十一時大手町着 板垣ト會ヒ石倉ニモ松戸へ出ル様云フ
矢野氏ノ友人ト云フノガ會見ニ來 九州デ局ノ修理ヲヤル様ニナルカモ知レヌノデソレニツイテノ智識ヲ得タイトノコトデアッタ 一通り話シ津田沼ヲ見学スル様進メル
組合ニヨリ觀音様ニ行ク 飛行機觀音号ノ寄附五円ヲナス
帰途船橋ニヨル 三吉ノ荷物青木ノ連絡悪イ爲メ積込ミ明日ニナリ出發又一日遅レルトノコト

▲▼160ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月1日(火)

天気 晴

雲アレドモ晴レル 三時家内ヲ起シ三時半起床 四時半眞赤ナ太陽ノ丁度森ノノ上ニ顔ヲ出シタノヲ見ナガラ停留所ニ行ク
七時半安全月間ノ式ヲ行フ アツツ島將士ト鳥井元忠ノ話ヲナシ之レニ答フル爲メ全力ヲ擧ゲテ生産ニ従事スベキコトヲ述ベル 板垣モ參加
夕方五時浦川課長ニ縣木社ノ連中同乗ヲタノミ承認ヲ得
今日ハホントウニ、クタブレタ 汽車四十分モ遅レタノデ八時近ク帰宅 鈴木伊四郎ガ三盆ヲ借りニ來テ居タノデ九時頃夕食 スグ床ニ入ル

▲▼161ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月2日(水)

天気 晴

Y39 試飛行ノ爲メ津田沼工場ニ七時半出 丁度朝礼ノ時間デ訓示ヲト云フノデ昨日ト同様修理ニ全力ヲ揚ゲルベキコトヲ強調ス。試験場ヨリ川崎以下四名、養成所ヨリ山本大佐以下多数 本社ヨリ社長外二名ト海軍計理官五名來 賑ヤカデアッタ。正午前滑走ノミデ終了 リリーズヲ非常ニキニシテ結局作リカエルコトニ決定 今日ノ試験ヲ終リ滑空機ハ試験場ヘ引渡シテ終了ス 若干ノ手直シアリ

三時半全部帰ル 散髪ヲシ四時過ギ帰宅ス 小鳥ノ箱ヲ掃除シ一寸植木ノ手入レヲナス

鷺見、清平參吉來

▲▼162ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月3日(木)

天気 曇雨

五時起床 観音経 食事 六時二十五分出 七時九分船橋発 今日八裏道ヲ通ツテ八時二十分工場着 以上ガ毎日ノ日課

津田沼轉勤ノ工員今日ハ殆ンド一所ニ來ル 勤務振り不良

産報隊ト防護團編制ニ頭ヲシボル

午後養成所ヘリリーズノ件ニテ行ク

今日ハ早ク帰ル予定ナリシモ仕事多ク五時四十六分ニテ帰ル 雨シト、降ル

誕生日デ一家揃ツテ祝膳ニツキ徳治ト酒二本ヲ空ケル ツカレト酒デスグ眠クナル

徳治微熱アリ休ム

▲▼163ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月4日(金)

天気 曇少晴

南風強ク朝熱カデアッタ

定刻出社 産報隊組織ノ準備終ル

津田沼ヨリ移轉ノ工員働カズ

午後三時ニテ杉山囑託醫ノ衛生講話アリ 終ツテ五時利根川氏ト一所ニ帰ル

仁三郎ノ靴依頼ス

▲▼164ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月5日(土)

天気 曇後晴

定刻出ル前野口君ノ宅ニ立寄り菅田飛行場ヘ行ク途案内ヲ聞キ清平宅ニヨリ七日菅

田飛行場開キニ内田中佐出席スルカラ鷺見君來ルナラ同行スル旨事傳ル

工場ニ板垣君來テ居タ 俵木出社遅ク八木下欠勤 工場作業振ワズ
十時ヨリ産報結成会議ヲ行フ 正午過ぎ終ル 製造課出席者ナシ 板垣君ニ石倉課長
工場ニ出ル様事傳ル
七時帰宅 アンマヲ取ル 二週間續ケルト相當ツカレタ

▲▼165ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月6日(日)

天気 曇リ

七時近ク迄皆床ニ居ル 朝ノ経ヲ終ル頃重山君來 九十日ノ教育召集ガ來タトノコト
デ国際、日本小型、當社ノ証明ヲホシイトノコトニ会社ノハ八日午後上京ノ時持参スル
コトヲ約シ国際ニ原氏ト兒玉氏ニ手紙書イテヤル
朝顔ト菊ノ植替ヲ終ル 午後米ツキヲヤル 約一斗五升ツク 糠ガ三升程取レタ 夜
少シ煮タラバカニ白カッタ
夕方川井ノ息子來 別ニ之レト云フ用件モナカッタ様ダ 松戸ヘ木工二三名ト木挽二
名連レテ來タトノコトデアッタ

▲▼166ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月7日(月)

天気 晴

朝。ハラツイタガ九時頃ヨリヨクナル
家内ト徳治兄ノ墓参ヲシテお寺へ御詣リニ行ク 午後ノ浅草ノ観音様へ行ク
自分ハ野口君ニヨリ同道シテ菅田陸軍演習場起工式ニ参列ス 佐藤閣下以下協会ノ
人達ヤ内田中佐來場 夜宴会モアッタガ川畑氏トノ約束アリ上京 五時十分紀ノ国
屋ニ行ク 部品製作モ機械部品ヲヤルノダトノコト 之レ又ドンナ機械部品ヲヤルノカ
分ラナイガ、太刀洗製作所下受ケヲヤルノデ一度同所迄同行シテ貫ヒタイトノコト
之レハ倉監デソウシロトノコトデアッタ由 夕食ヲ共ニシテ歸ル
内田中佐ヨリ約一ヶ月前電話ヲシタガ連絡ガ取レナカッタトノコトデ要ハ自分ガ御願
ヒシタ希望通り航本ノ工場トシテ利用スルコトニ決定シタトノコトデアッタ 厚ク謝ス

▲▼167ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月8日(火)

天気 晴

四時半起床 観音経 四時半出 花輪ニテ停電約五分 総武線間ニ合ワズ金町ヨリ
松戸廻リ一番バスニテ七時十分工場着 バスハ殆ンド工員デアッタ
門市長、職業指導所長、縣ヨリ神作氏 警ヨリ三名來 十一時頃ヨリ労務調整令第
二條ノ傳達式及産報改組式ヲ行フ 指導所長、神作氏 門市長ノ話ヲ聞キスシデ会

食 十一時 一時半頃散会ス
三時ヨリ上京 四時十分大手町着 信田君ト会見 五時過ぎ分レル 重山氏へ証明書
取りニヨコサシテ渡ス

▲▼168ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月9日(水)

天気 曇り晴

朝夕降リソウデ晝間晴レル
定刻出社 富岡ヲ述(ママ)ビ九五ノ作業ニ対スル資材ノ件ニツキ施(ママ)配 俵木ヲ後
チ呼ンデ協議サセル
建築及機械ノ入手状況ニツイテ聞ク
縣ヨリ不足物資ニ関シテ調査ニ來ル
女子教員來 初メテ會フ

▲▼169ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月10日(木)

天気 晴

久シ振リデ快晴 八時宅ヲ出航空局ニ行ク 工務課村上氏、補給課松尾課長、英氏
会見 二村部長東京監督班長ニ榮轉ニツキ挨拶ニ行ク 不在 名刺ヲ預ケテ帰ル 本
社ニテ板垣ニ會ヒ十一時頃出テニ越ヲ見物 正午前工業クラブニ組合役員会ニ出席
福知君電報デ欠席 清水氏一寸挨拶ヲシテスグ帰ル アト皆出席 五時十分前漸ク
終了散会。本社ニヨリ紀ノ国屋ニ行キ川畑ヲ待チ會フ 講談社出スカ出サナイガ明日
返事ヲ聞ク予定トノコト 明日午後又上京ヲ予約ス 八時半帰宅

▲▼170ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月11日(金)

天気 晴

松戸行キ 夕方五時上野ニ出川畑ニ電話スル 不在 スグ上野ヨリ帰宅ス
今日ハ相當イソガシカッタ
技術ノ長谷川モ実験ニトボシイノデ急場ノ物ノ役ニハ立タナイ

▲▼171ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月12日(土)

天気 曇晴

朝七時二十分津田沼工場出 今日カラコチラへ來ル工員ノ食事ノ事ナドタノミ帰宅後
チャボヲ入レカエタリ卵ヲユデテヤル 四羽昨日カエタガタ方迄ニ五羽ニナッタ アトハカ

エルカギモンデアッタ

正午前本社二行ク 長田氏ヨリ住宅営團軍ノ要求デ一切解消ニナッタトノコトニ聞ク
局二行キ長田氏ト同氏主務局二行ク アトノ人畠山氏ト一人ニ住宅営團ノ件アトノ建
造ガ厚生省デハ分ツテ居ルトノコトニ同省デ調べテ貰フコトヲ依頼ス
軍人会館ヘ十二時半行ク 大東亜觀音讚迎会ニ出席 東亜三十三ヶ所設置運動ノ讚
成大会デアッタ

四時本社二行キ重役会ニ列ス 前橋ニ工場進出スルカ否カノ門(ママ)題デアッタガ社長
専務二人共控ヘ気味デ赤坂一人進ンデ居タガ結局時機ヲ見ルコトトシテ一時延期ニ
決定
ガダルカナルノ話ヲ聞イテ米英必殺ノ念ニ燃ユ

▲▼172ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月13日(日)

天気 晴

夏ラシイ天気ニナル

六時起床 朝食後散髪ヲシ午前中四良平外七通手紙ヲ書ク 晝食後庭ヘ田甫(ママ)ヲ
作ルベク水ヲ引ク設備ヲナス 間モナク出來タガ中々水ヲ張ル迄ニイタラナイ
午後清平夫妻兒共ヲ連レテ來 夕食ヲ共ニシテ帰ル 今日ハ何ニモナク床屋ノ親父ガ
取ツテ來タエビヲ百疋分ケテ貰フ
夜稲毛ノ君ト定ガ來タ 徳治ガオバーサンノ引延バシタ写真ヲ額縁ニ入レテ持タセテヤ
ル

▲▼173ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月14日(月)

天気 曇リ

五時起床 田甫(ママ)ニ水ヲ入レテ上京 駅デ野口君ニ會ヒ上京 組合ニヨリ日本橋事
ム所ニ行キ九時半ヨリ鷺見君ト航本ニ行ク 内田中佐ト会见 東亜ノ件ヲ依頼説明ス
内田氏ヨリ日航機ニ対スル東條中佐ノ不讚成ナリシ事情ヲ聞キ後チ東條中佐ニ會フ
ハタシテ余リ好意アル態度デナカッタガ今日ハ挨拶ニトドメ尚立川ヘ行ツテヨイカト念ヲ
押ス ソレハ行ツテ差支ナイトノコトデアッタ 尚一度内田中佐ニ會ヒ支廠デナク工廠ヘ
行ツテモヨイカヲ聞ク。ヨイトノコトデアッタ 本社ニヨリ、後チ浅草ニ参拜 六時帰宅ス

▲▼174ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月15日(火)

天気 雨

風雨ハゲシクビシヨヌレニナル

定時工場出 社長來ルトノコトデアッタガ中止トナル
夕方五時半上野精養軒ニ係長以上参集 食後社長ヨリ心持チヤラ希望ヤラ話シアリ
八時過ぎ散会

▲▼175ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月16日(水)

天気 曇後晴

縣庁ノ営團ヨリ來テ呉レトノコトニ八時半行ク 住宅解消ノ件デアッタガ尚多少運動
ノ余地アリトノコトニスグ航空局ニ行キ村上氏ヲ同道 厚生省住宅課ニ早川技師ヲ訪
門(ママ) 実状ヲ話シ諒解ヲ求メル スデニ決定済ダガ多少ノ余裕ハ取ツテアルカラ何
トカ考慮シヨウトノコトデアッタノデヤ、愁眉ヲ開キ尚一度県庁ニ歸リ松井氏ニ會ヒ以
上ヲ報告シ明日同氏ト再度営團ノ方ヘ陳情ノコトヲ懇請ス 明日館山ヘ行ク予定ナリ
トノコトヲ中止シテ貫ヒ上京シテ貫フコトニ決定 五時半歸ル クタブレタ

▲▼176ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月17日(木)

天気 晴

定刻松戸出 課長一人モ居ラズ利根川一人ナリ 滑空機ダケ少シ仕事初マル
十時五十分ニ乗リソコネ十二時三十分五香発 一時半本社着 松井氏マダ來テ居ナ
カッタ 長田氏ニ會フ 秋沢契約書ノ件聞合セ東氏ニタイプニ打直スコトトス 内容タ
方矢野氏ニモ見テ貫ヒ若干訂正ス

二時前松井氏來 今厚生省ヘ行ツテ來タトノコト 共ニ住宅営團総務部長同課長ニ會
見シタガハカバカシカラズ 局ニ行キ局ヨリ依頼状ヲ公文書ニテ出シテ貫フコトヲタノム
松井氏共ニ千葉ニ行ク予定ノ處汽車ノ時間アリトテ先キニ歸ル 板垣トニ三打合せ賞
与ノ表板垣ニ下調査ヲ依頼

五時半出 五時五十分お茶ノ水発 野口君ニタノシデ居イタノデ千葉ニ行ク 皆休業
デアッタノデ安心 帰途野口君ニヨリ今朝タノマレタ百円ヲ貸ス

帰宅 宮崎英昌ガ兵隊カラ帰ツテ來テ居タ。今日ハ鳥飼氏ノ御三回忌ニナルノデ皆デ
お経ヲ上ゲル

▲▼177ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月18日(金)

天気 雨

夜中カラ降り出シタ雨ハ夜明ケヨリゴウ雨トナル

七時半工場ニ行キ出張シテ來テ居ル俵木以下ニ今日ノ処置ヲ命ジ松戸ヘ金町廻リニ
行ク 十時半頃着 県カラ必要物資ノ調査ニ來テ居タ。午後更ニ自動車バス設計ノ件

ノ調査三二人來タ。

午後富岡ノ発案ニテ福井組ト当社トデ建設ニ関スル打合審議會ヲ開催 三時終了
三時半ヨリ雨上リノ尚時々小雨降ル中ヲ六實ヨリ帰宅ス。島田君ト途中デ會ヒ宅ニ
同道シ觀ノ金立替ヲ呉レタトノコトニ二十円渡ス 市田商店ニ出資セシムル由 佐々木
氏ノ身分調査ニ行クトノコトニ朝日(照(ママ)介)状ヲ書イテ呉レトノコトニ渡ス

▲▼178ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月19日(土)

天気 雨後曇リ

五時半起床 七時半工場行ク 雨シト、降ル 八時松戸へ全員返ス 自分上京 本社
ニテ長田氏ニ會フ 板垣トモ會ヒ賞与ノ分目ヲ通ス 今日午後二時ヨリ工員引上げニ
関スル會議ヲヤルトノコト。タノンデ松戸ニ行ク 誰レモ居ラズ 五時迄ガソール。試飛行
明後日行フコトニ決定ス

▲▼179ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月20日(日)

天気 曇小晴

和子ヲ迎ヘニ家内ハ三時半ニ起キテ仕度ニカ、ル 自分モ四時半起床 食前ニ小鳥トニワ
トリ全部ヲエサヲヤリ後チ田甫(ママ)ニ水ヲ送ル装置ヲ台所ニ水ノコボレナイ様改造シ
午後ハ小鳥小屋ヲ仕切ツテウコウケイトチヤホノ雄、トヒヨ各一羽ツ、ノヲ縁ノ下カ
ラ現ス 朝顔一本アトカラ出タノヲ植替ル

午前九時半ヨリ十一時迄船橋ヘイキキミ子ノ無盡ヲ引受ケ金ヲ渡ス 應法□ノ金、供
出清板ノ金等兄ニ渡ス
夜早ク床ニ入ル

▲▼180ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月21日(月)

天気 曇小晴

今日ハダルク、節々ガイタミ、ネムク七時起床ス

八時半頃工場ニ行ク 十二時過ぎ試験場ヨリ來

一時半頃リリースノ離脱試験六回 七百米滑空一回 滑空機約一米位上ル。

結果曳航機ノリリースノ引ツナ機能ヲ正確ニスルコト タブノハンドル確實ニスルコト

此ノ爲メ次回ノ試験ハ七月三日ト決定ス

四時過ぎ皆帰ル 立川ヨリ山田氏望月氏來ル

午前留都(ママ)中奈良原サン來 午後奥サン長野カラ來タト云フ長芋ヲワザ、届ケニ
來テ呉レタ

朝上岡ノ兄來 北海道ウマクナク止メルトノコトデアッタ

▲▼181ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月22日(火)

天気 曇小晴

五時起床 昨夜アンマヲ取ッタノデ大変気分ハヨクナッタ 足腰モシヤントシタ
定刻工場出 十時ヨリ自轉車ニテ八柱ニ行ク 鈴木菊雄ノ百ヶ日 十一時半頃皆來
十二時讀経 墓前祭ヲ終リ玉川ニテ晝食 すしヲ馳走ニナリスグ工場ニ歸ル 自轉車
ガヨカッタノト道ガヨイノデ氣持チヨカッタ 五時迄工場ニ居ル 午前八柱へ行ク前關
係者ヲ集メ昨日ノ試験飛行ノ結果ニツキ注意ヲ與ヘル
七時帰宅

▲▼182ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月23日(水)

天気 晴

五時起床 八時三十分工場着
來客松戸市議平野氏。正午株主数名工場見学 板垣津田沼迄同行ス
養成所へ千鳥トグライダー試飛行ノ件依頼ニ行ク 浦川氏ノ諒解ヲ得 所長ニ會ヒ小
平ノ轉業者養成所副長福島少将ニ照(ママ)介状ヲ貰フ
朝出勤途上工場横ノ畑道デ稲ノ苗ヲ拾ッタノデ夕方帰宅後庭ニ作ッタ一坪程ノ田ニ
植付ケヲナス

家内中 珍らしそうに 田植かな

▲▼183ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月24日(木)

天気 晴

五時起床 例刻出社
滑空機製作状況ヲ八木下ヨリ聞き、富岡ト相談 長谷川ニ治具設計ヲ命ズ
正午村ノ善光寺住職來 会社ノ肥料問題デアッタ。村人ハ何ニカト云フト寺へ相談ヤ
頼ミニ行クラシイ
午後京都カラ來タ者ニ會フ 二人シカ居ナカッタ 一人ハ妻子ヲ連レニ行き他ノ二人ハモ
ウ來ナイダロウトノコトデアッタ
藤原保明、高見氏、姉、へ発信

梅雨晴や 紫雲たなびく 入日かな

▲▼184ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月25日(金)

天気 晴

六時二十五分出 八時十分本社着 富岡先着 鈴木後着。石倉中津行キノ爲メ参加
出来ズ三人ニテ先ヅ空廠ニ行ク 大木技師出張不在 代リノ中尉ニ會ヒ且ツ廠長長谷
川大佐ニ挨拶シテ大木氏來月十五日ヨリ出ルトノコトニ其上ニテ來ルコトトス 中尉ノ
話シデハ廠長、大木氏ノ二人ダケガ御存ジノ様ダカラ追ツテ會ツタ上ニシテ呉レトノコ
トデアツタ。工廠ニ行ク 波多江氏病氣入院中トノコトニテ引返シ小平ノ国民訓練所ニ
福島少将ヲ訪問ス 所内ヲ見学シ晝食ノ馳走ニナル 所長ニモ會フ 話シヲ聞クト実ニ
感ズベキコトノミデアツタ 社員モ一ツ御願ヒスルコトトス 富岡鈴木モ馬鹿ニ乗氣ニナツ
テ居タ 東京飛行機ハ近ヨレス帰ル
三時大手町 帰宅
今日ノ武蔵野ノドライブハ新緑デヨカッタ 新橋迄夏帽子ヲ買ヒニ行キ浅草橋ヨリ乗
車 船橋デ兄ト一時間程話シテ六時半帰宅

▲▼185ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月26日(土)

天気 晴

終日工場

午後航空局工政課長以下並ニ物資係長以下九名來場 二時ヨリ四時迄視察帰ル
板垣五時頃電話カケ來タ
鈴木ニ今日埴氏ニモ話シテ居イタガ部品利用ノ爲メ機体ヲ十数機タエズ廻シテ居イテ
貰フコトニツキ努力スルコトヲ命ズ
青島へ督促ノ手紙原稿ヲカイテ兄ニ渡シテ帰ル
夜食後寄席中継ヲ聞キナガラ眠ル
昨日金太郎ヨリミカン箱一杯桜桃ヲ送ツテ來タ 半分左官屋ヘヤツテ呉レトノコトニ分
ル

▲▼186ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月27日(日)

天気 晴曇雨

七時起床 小鳥ノ掃除 田甫(ママ)ノ手入レ 水入レ終了
正午兄、清ヲ連レテ四時頃迄居ル
午後アンマヲ取ル

エミ子東邦ヲ見ニ上京 徳治ト一所ニ行クトノコトデアッタガ八時頃徳治一人ニ帰宅
籠屋ガ同行シタ爲メ行ケナクナッタトノコトデアッタ

エミ子昨夜二時迄カ、ツテ今日持参ノ洋服ヲ作ツテ居タ 東宝ニ出テ居ル女ニタノマレ
タモノダソウダ 家内ハエミ子ガ内ノコトヲ少シモ、カヘリミズ人ノコトニ無(ママ)中ニナル
ノヲ、カコツテ居タ 成程ヨクナイ事ダ

▲▼187ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月28日(月)

天気 曇雨

五時起床 七時出 本社着 板垣、星野、矢野、石倉会见 六月分受取ル 十一時ヨ
リ航本ニ行ク 今日ハ東條中佐へ先キニ行ク 今日ハ稍ヤ氣持チヨク會ツタ 内田氏來客
アリ俵少佐ニ會見シテ組合ニ行ク 福知氏ト食事ヲ共ニシ海軍へ出スト云フ組合経歴
書ニツキ初ノ方ヲ考ヘテヤル 奈良原氏來 共ニ松戸ニ行ク。職員全部ニ賞与へ渡ス 後
チ奈良原氏ニ工場ヲ案内シテ五時共ニ帰ル 松戸迄タクシー 松戸ヨリバスニテ大神宮
道ヨリ迄帰ル

▲▼188ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月29日(火)

天気 晴

六時五十分出 新宿八時二十分 九時半厚木着 十時四十分迄駅前デ牛乳ヲノン
デ待ツ 鈴木課長來タガ自動車ナク馬車ヲヤトツテ行ク 正午中津着 スグ一万料亭
ニ行ク 丁度生方氏小林氏井上氏外操縦士三名來テ居タ 挨拶後晝食ヲ共ニス 井
上氏トハ久シ振リデアッタ 食後飛行場ニ行クコトヲヤメスグ皆ノ自動車ニ同乗シテ厚
木ニ帰り小田急ニテ五時十分船橋着 兄ニ會ヒ五十円今月分渡ス
帰宅 稲毛ノ定子明日休ミトテ來テ居タ

▲▼189ページ▲▼ 昭和18(1943)年6月30日(水)

天気 曇晴

今朝ハ眠クテ五時五十分起床 御経上ゲル時間ナク食事シテスグ出カケル
船橋カラ買物部隊デ席ガナイ程デアッタ 自分ヨリアトノ人ハ皆立ツテ居タ 馬込沢
デ空ニナル 帰りハ今日ハヤハリ買物部隊デ六實デ一杯ニナリ客車ヲ一ツ増結シタガ馬
込沢デハ乗レナイ人ガアッタ。之レ等ノ人ニハ、シヤクニサワルガ又氣ノ毒ニモ思フ
一日お母サンデ松戸ノ婦人会カラ二十五名來 市役所カラ一名ツイテ來テ菓子ガ皆
ニ渡リ午後二時ヨリ懇談会ニ入り自分ヨリお禮ヲ申上ゲル 板垣來場

◆▼191ページ◆▼ 昭和18(1943)年7月1日(木)

天気 曇小雨

五時五分起床 今日カラ工場ヲ八時初メ五時半終業トス
バスニテ丁度朝礼ニ間ニ合フ

午後一時ヨリ富岡、青木、利根川、足立下速成工ノ養成ニツキ協議 其他ニモ及ブ
三時終了 三時十五分出 船橋ニ一寸ヨル 徳治來テ居タノデ一所ニ帰ル 仁三郎三
十八度近ク熱アリ顔モ大分ハレテ居タノデ醫者ニ電話ヲサセタガ不在ノ爲メ夕食後家
内千葉迄行ク 醫者不在 十時半帰ル 考ヘルト今夜一晚ノ爲メ手後レシテハ大変ト又
布施サンヘ電車ガナイノデ左官屋ノ自轉車デ行ツテ貰フ 一時頃帰ツテ來タガ醫者來
ラズ。外科ヲタノシデ呉レトノコトニ明朝船橋病院ヘ入レルコトニ取キメニ時床ニツク
稲毛ノナホビール二本持ツテ來テ呉レタノデ昨日ベタトリデー一本ヲ徳治ト二人デノム
夕方六時散髪ヲナス ヤット氣持チヨクナル

◆▼192ページ◆▼ 昭和18(1943)年7月2日(金)

天気 曇晴小雨

六時起床 仁三郎入院ノ打合セラナシ七時半出カケ學校ノ處迄行ツテ実印忘レタコト
ニ氣付キ帰り八時再出發 船橋ニヨリエミ子明日大坂行キノ切符買ツテアッタノデ兄ニ
譲ル 十時本社着 板垣居リ昨日ノ中津ノ試飛行無事ニ台共終了ヲ聞キコチラカラ
昨日午後ノ會議ニツイテ話ス

午後波多江氏訪問ヲ約シテ十一時航空局ニ行ク 各課ヲ一通リ廻ル 伊藤君ヨリ八
月一日ヨリ整備士ト云フノガ居ラナイト修理工業ガ出來ナイトノコトデ内容ヲ聞イ
テ帰ル 小川町カラ須田町ニ出食事シテ組合ニ一寸ヨリ本社ニ帰ル 途中買ツタ成層
圈飛行ノパンフレットヲ讀ミ終ツタガ自動車帰ラズニ三日後ヲ約シテ仁三郎モ氣ニナル
ノデ三時ニテ帰ル 四時船橋着 一服シテ船橋病院ニ行キ六時帰宅

左官屋、ナホ昨晚カラ大分骨折ツテ呉レタ 左官ニ青島カラ來タタイヤ一本チユー
ブ二本贈ル

◆▼193ページ◆▼ 昭和18(1943)年7月3日(土)

天気 雨

今朝エミ子ヲ五時ヲ間違エテ四時ニ起シタ 五時半起床 雨ハダン、強クナル 七時半
工場ニ行キ本社ヘ電話シテ試験場ヘ連絡サセル 九時頃返事アリ 明日ハ天気ニナツテモ
ヤラナイトノコトデアッタ 工員三名來テ居タノデ機体ノ手入レヲ命ジ終リ次第帰ッ
テヨイコトトス

帰宅後終日在宅 日本語ノ歴史ヲ讀ンダリ、鳥ノ掃除ヤエヲヤリ、魚ノ料理ナドヲナス
エミニ船橋へ必要品持参。経過良好ノ由
兄今夜大坂へ行クノニ、敷布二枚、十句観音經 桑ノ湯ノミヲコトツケル 外ニ昨日見舞トシテ金百円也

▲▼194ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月4日(日)

天気 雨

今日モ終日ヌカノ様ナ小雨 マダ梅雨が取レナイ
五時前起床 田ニ水ヲ入レ小鳥トニワトリニエヲヤリ小鳥ノ箱ヲ掃除シ八時和子ト成田山ニ参拝ニ行ク
十一時船橋ニヨリ船橋病院ニ行ク。仁三郎大變ヨクナリ、モウ本ヲ讀ムコトモユルサレタトノコトデアッタ
二時帰宅後新聞、本ナドヨミ三時半ヨリ、ニワトリニエヲヤル仕度ヲナス
六時夕食ヲ終ル

▲▼195ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月5日(月)

天気 晴

上天気 今日ハ試飛行出來ルト嬉(ママ)ンダガ十時頃曳航機ノ操縦士ガ出張シテ居ラナイノデ明日ニ延期スルトノ電話アリ 一旦出シタ機体ヲ写真ダケ取ツテ方付サセ宅デ晝食後十二時九分船橋発ニテ工場ニ出、長田氏ヨリ土地ノ状況ヲ聞キ勞務課長ト明日ノ産報懇談会ノ件 工員賞与ノ件打合セ富岡課長ト購入並ニ水道工事ニ関スル意見交換ヲナシ稟議書ニ押印ス 三時半ヨリ青校ノ職員会ヲ開キ七月中ノ行事其他ヲ打合セ五時終了 スグ帰ル
七時半帰宅 今日ハ買物部隊デ往復共車内ハ立錐ノ余地ナシ

▲▼196ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月6日(火)

天気 曇リ後晴

五時起床 小鳥ニワトリヲ手入レ朝食。昨夜青仙宮崎、徳治ノ許ニ泊ル 今朝食事ヲ共ニス 千葉縣庁ニ行ク途中松井氏ニ會フ 丁度ヨカッタ 営團ノ方ノ件依頼 小鳥屋ニ寄りエヲニ升求メ帰宅後十時工場ニ出ル 十一時半試験場ヨリ岩本氏來 一時飛行機來 其前所長閣下ト浦川氏來場 一回直線飛行ヲナス 高度ニ米位迄上ル 二時半終リ、本社ヨリ廻シタ自動車ニテ三時十分前出テ三時三十五分松戸着 一二三書

ヲ見報告ヲ聞キ四時ヨリ産報懇談會第一回ヲ開キ今月ノ目標トシテ貯蓄、生産増強、規律ニツイテ約二十分話シ五時出社 帰途ニツク 買物部隊デ超満員デアッタ

◆▼197ページ◆▲ 昭和18(1943)年7月7日(水)

天気 晴

定刻出タ 今日モ買物部隊デナヤマサレル 行キニツヒニ馬込沢迄立ツ 午後六四時ノ汽車ニテ帰ル

仁三郎退院ス 和子発熱 最高三十八度八分 學校ヲ休マセル

工場ニテ上棟式舉行 晝食ニ赤飯ヲ出ス

根岸君久シ振リニ來場 預リ中ノ四機整備續行サレタシトノコトデアッタ

夕食ハ皆シナデ楽シクスマス

買物部隊ノ事ヲ考ヘルト幸福ナ日常デアル

◆▼198ページ◆▲ 昭和18(1943)年7月8日(木)

天気 晴

三時半エミ子起シ四時起床 徳治ト共ニ松戸ヘ七時五分前着 七時三十分ノバス十五分遅レル 工員ノミデ超満員 ツヒニ朝礼ニ間ニ合ワズ 早クカラ起キテ來テ何ンニモナラナカッタ

午後養成所ヘリリリースノ位置ヲキメルコト 飛行機運搬路ノ件ニテ浦川氏ニ會フ

松戸署ノ特高部長來 晝食後帰ル

徳治ニ青校ノ写真取ラセル

夕方工員ノ賞与決定 明日渡スコトニナル

板垣三時頃ヨリ津田沼ヘ行ク

◆▼199ページ◆▲ 昭和18(1943)年7月9日(金)

天気 晴

五時起床 徳治ヲ連レ松戸行キ 六實ヨリ自轉車ニテ丁度八時着 朝礼後本日工員ニ賞與ヲ與ル旨話ス。處ガ青木オクレテ來 今日間ニ合ワナイトノコト 馬鹿ナ話シ明日ニ延期ノコトヲ通ジサセル 川畑ヨリ講談社ノ方破談ニナツタトノコト 信田一時コトワツテ貰ヒタイトノコトデアッタ。今日信田ガ松戸ヘ來ルトノコトデ丁度間ニ合ツタト思ツタガ信田ヨリ速達デ今日延期スルトノコトデアッタ

午後文部省型ノ組立ヲヤラセ飛行場ヘ運バセテ青年學校ノ生徒ニ訓練方々写真ヲ撮ル

五時終了 事ム所へ來タガ五時十五分自轉車ナク仁三郎徳治ト裏道ノ最短巨(ママ) 離ヲカケ足デ行ク 二十三分デカケツケユックリ汽車ニ間ニ合フ 今日モ買物部隊デ満員

▲▼200ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月10日(土)

天気 晴

今日ハホントウノ夏ノ天気トナリ暑サモ本格トナル

八時半工場着 課長ハ富岡一人 石倉本日モ來ラズ 先ヅ課長級ノ意志素(ママ)通ヲ最勝経トス

正午ヨリ田中同道郵便局ト警察ニ行ク 署長ニ會ヒバス乗入レノ件黙認ノ諒解ヲ得 奈良原氏訪問ス 一時間余津田沼工場ト星野ノ件聞イタリ話シタリス 昨日社長ト板垣ニ會ツタ由

七時半帰宅 盆栽ヲ觀手入レ水カケ

行水ヲ取ル 和子誕生日 オサシミアリ

和子今日モ七度以上ニ昇ツタ由 明日ハ一度醫者ニ見セルコト

徳治長野へ行ク

▲▼201ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月11日(日)

天気 曇リ

六時半起床 水タンクノ台ヲ作ル 晝迄カヽル

十時頃野口君來 正午帰ル

午後菊ノ植替エ アンマ。

十姉妹、セキセイノ小供ガ飛ベナイノニ出テ來テ数度巢へ返シテヤツタガヤハリ出テ來テセキセイハツヒニ下デニ匹共寝ルラシイ

夕食ハ豚デ徳治長野へ昨日出テ居ラナイノデ好ク一家タノシク共ニス 家内稲毛デビールヲ一本持ツテ帰ル。久シ振りニキヤベツ巻キ ウマカッタ 戦時下中々有難イコトダ 食後防空坐談会ヲ開キ用具ノ調査ヲナス

わが庵は 若葉を通して、海光る

▲▼202ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月12日(月)

天気 晴

九時半本社着 丁度津田沼へ出カケル板垣星野ニ會フ 奈良原氏會見ノコト 其他ニ

三打合ス

石倉氏其他多数居ル 石倉氏ト話シ明日ヨリ工場へ出ル由ヲ聞ク
十時工業クラブへ組合ノ会議ニ出ル 中村氏一人時間不励行デコマル 清水氏八午後ト
思ヒ違ヒシテ居タトテ十一時半頃漸ク來 今日ハ駒林、関口、北浦三氏來テ居タ 食
後初マリニ常務ノ報告ヲ聞イタダケデ一時半ニナル 浅草へ最(ママ)非御参リヲシナイ
ト三回モ行ケナカッタノデコトワツテ出カケルガ益ノ法要アリ 後チ前大正大學々長ノ
講演アリ 來テヨカッタト思フ 六時過ぎ帰宅

▲▼203ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月13日(火)

天気晴

四時半起床 小鳥ヲ見後チ洗顔 御経ヲ上ゲル
仁三郎今日カラ羽田へ行ク 學聯ノ整備ノ由 今日九五、一五〇馬力ノ分解ガアツタ
トテ大変嬉(ママ)ンデ居タ。帰ッタラ友人ノ小田垣ガ死ンデ葬式ガアツタトノコトデス
グ行ツタ由

午後八柱へ自轉車デ御参リニ行ク 丁度家内ト會フ 四時過ぎ帰社 五時利根川氏
ト同道シテ帰ル

船橋ノ宅ニヨリ清平ニ會フ。八時夕食

▲▼204ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月14日(水)

天気晴

五時起床 食後小鳥 サンパツヲシテカラ上京 本社ニ行キ板垣ト航本ニ行ク 東條内
田両氏トモ不在 波多江氏訪問 同氏ハ一昨日カラ又悪クナツタトノコトデ面會セズ
見舞ヲノベテ帰途航本ニ渡辺君ニ會ヒ十七日夕方方木村氏等ト会食ニ來ル様ス、メル 最
(ママ)非行キタイトノコトニ本社へ待合スコトニシテソレヨリ松戸ニ行ク 二時発バスニカ
ロウジテ乗ル 防空打合せ会丁度終ツタ處デアツタ 五時四十六分ニテ帰ル 京成デ廻
間ニ會フ 夜九時頃徳治長野ヨリ帰ル 清平、廻間ノ評判面白カラズ 一度行ツテヤル
必要アリ

▲▼205ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月15日(木)

天気晴

五時前起床 仁三郎終日元氣ガナカッタ 友人小田垣ノ死ノ爲メラシイ
朝夕二回海岸ヨリ砂ヲ運ビ鳥小屋へ入レアトハ防空用トス 午後清平小泉君ヲ連レテ
來ル 夕食後小泉帰ル 清平更二十時迄居テ帰ル 小泉君ニ板垣ノ材料ノ件名古屋

デ入手出來ルモノヲタノム

清平ヨリ長野ノ情況ヲ聞ク 今月中ニ一度行ツテヤル必要ヲ感ズ

▲▼206ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月16日(金)

天気 晴

五時半起床 Y39試飛行ノ爲メ津田沼ニ居ル

十時半ヨリ初メ正午迄二回直線滑走 約一米上昇 次回廿日ト決定ス 早クスマセヌト困ルガ今日ハ川崎氏大分氣ノ毒カツテ居タ

清水六ノ助、長谷川明治來 清水君協会ヲヤメタ理由ヲ聞ク 現在兄ノ手傳ヒヲシテ居ル由 長谷川ハ四年振りデ津田沼へ來タトノコト 一人ト徳治ト夕食ヲ共ニス

▲▼207ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月17日(土)

天気 晴

五時起床 七時出 本社ニ行ク 木村氏照(ママ)待ノ件 席ハ都合ヨク取ツテアッタガ本人下痢ヲシテ居ルトノコトデ月曜日ニ延期ス 渡辺君ニ電話シタガ來客中ニ付交換手ヲ頼ンデ居ク

久シ振リニ社長ニ會フ シバラク話シス

航空局建設課長ニ會ヒ引込道路ノ件想(ママ)談 変更シテ呉レルコトナル 村上氏ニモ挨拶シテ居ク

塙氏カラ倉庫借リタイトノ申込ミアリタリ

組合ニヨリ酒井ヨリ過日ノ役員会ノ決(ママ)果ヲ聞キ松戸工場ニ行ク 板垣朝カラ居タラシイ 五時ニテ帰宅 二三日前カラ小供皆一所ニ御経ヲ上ゲル

▲▼208ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月18日(日)

天気 晴

五時起 八時二十五分工場着 終日板垣居ル 工員ヨリ職員へ進級者三名、伍長制度ノ希望ニ対シ班長補ヲ置クコト等二三決定ス 夕方ヨリ課長会食ヲ松戸松栄館ニテ行フ スコブル有効デアッタ

足立今日津田沼へ古イ発動機取りニ行ク 其時津田沼ノ職員ニ、ナグラレタトノコトデアッタ 利(ママ)由ハ足立ノ話シデハ大變向フガ悪イ様デアッタ

▲▼209ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月19日(月)

天気 晴

出ガケニワカ雨ニワラレル 午後晴レル
青年學校ヲ本部トシテ 防空演習ヲ行フ
三時ヨリ富岡課長同道ス 石倉君松戸同行 鈴木課長ノ父今朝死シダトノコトニ悔ミ
ニヨル

四時半本社着 板垣ヨリ今日星野ト本社ニテ会見シタル昨日ノ様子ヲ聞ク。イヅレト
モマダ決シカネテ居ルトノコトニ明日津田沼デ事情調査スルコトトス
六時六分小林、木村君來 築地ノ宝屋ニ行ク 八時半渡辺君來 九時半終ル 久シ振
リデ話題ハ多ク成層圏飛行デアッタ 十一時帰宅ス

▲▼210ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月20日(火)

天気 雨

五時起床 朝カラ降ッテ居タガ此頃ノ例トシテ午後晴レルノデ八時工場出 飯塚來
晝迄待期(ママ)スル様命ジ自分ハ縣庁ニ行ク 古川氏ニ會ヒ藤井ノ事話ス スグ申込
ン
デ呉レトノコト 一日カラ初マル由 口頭ノ申込ミダケデヨイ由

松井氏ニ會フ 丁度昨日営團カラ手紙ガ來タトノコトデ資材ガナイカラ会社デ資材ヲ
出スナラトノコトデアッタノデ資材ハ航空局デ貰フカラト話シ其旨回答シテ貰フト同時
ニコチラカラモ行クコトトス。帰宅晝食後工場ニ行ク 局ヨリ中止ノ報アリタル由 明日
ハ試験場デハ決行スルト云ヒ松戸デハ出來ヌトノコトデ一定セズ トニ角松戸へ朝一度出
ルコトトス

星野氏ヨリ此度ノ件ニツキ、シカリ置ク程度デ不問ニ附シタイトノコト希望アリタリ。
然ルベクト答ヘル 但シ昨日モ板垣ニモ話シタガ一應星野又ハ木村ガ足立ノ自宅へ挨拶ニ
行クベキデアアルコトヲ話ス

▲▼211ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月21日(水)

天気 晴

暑い日デアッタ

五時起床 今日カラ皆五時ニ起キルコトニス 五時半揃ッテ朝食
八時半工場着。班長、班長補ニ訓示ヲナス 正午應召者ノ壮行會ニ訓示ヲ行フ
午後二時半松戸駅長死亡 本日一時ヨリ二時迄告別式ノ通知アリ スグ五十分ノバ
スニテ悔ミニ行ク 其マ、帰宅ス。松戸ニテ小栗君ニ會フ 利根川氏ヨリ頼ンデ居イタ仁
三郎ノ靴受取ル 十八円四十六銭支拂フ 安イ丈夫ナヨイ、クツデアッタ 學校ハ配給
ニナッタ巻ゲートル一足受取ル

▲▼212ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月22日(木)

天気 晴

今日モ暑カッタ 朝出ガケニ清平ニヨリ明日日本橋ノ事務所ヘ行ク約束ヲナス
今日ハ青木課長午前中居タノミ 利根川ノ外一人モ課長居ラズ、終日在所ス

▲▼213ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月23日(金)

天気 晴暑

防空演習デア家内ヲ四時前起ス 自分モ四時半起床ス
二時頃カラ蚊ニ喰ワレタノガ、カユクテ眠レナカッタ

八時半工場 富岡ニ農地変更申請ヲ急グトフ命ズ 板金工ガ二年ノ青年工ニ、ナグ
ラレタトテ第三製造課ノ工員全体ガイキマイテ事ム所ニ來テ、サワガシカッタ 解決方
ヲ富岡君ニ依頼ス 青木モ石倉モ居ラズ利根川モ居ラズ 自分東亜輕飛行機ノ約束ア
リ十時二十分前出カケル 途中養成所ノ空車ガ乗セテ呉レタ 二円札ヲス。東亜三行
キ本社ニ電話シタガ板垣モ石倉モ來ナイトノコト。鷺見、清平ト晝食後長尾ニ會ヒ共ニ
航本ニ行ク 総務部長、内田中佐、布袋中佐皆不在。渡辺君ニアツテ帰ル 局ニヨル
工員住宅ノ資材件ニテ前川氏村上氏ニ會ヒ連絡ノ件ニテ岩田技師ニ會フ
五時過ギ帰宅

キビの葉の上を 扇行くなり 西日さす

▲▼214ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月24日(土)

天気 晴

今日ハ都合ヨクバスデ出社シタ。ソレデモ丁度朝礼ノ終ッタ處デアッタ
昨日工員ノケンカハ、加害者ノ謝罪デケリガツイタ由

板垣病ヒ 連休

青木夕方出社 労務一人モ居ラズ又工賃計算デモメル 池田ノ無責任ハヨクナイ
十時半ヨリ養成所ノ卒業式ニ参列 帰ッテ明日カラ譽田ノ飛行場整備ニ勤務奉仕スル
青年學校全体ニ訓示ヲナス
五時前夕立アリ

夜九時頃青木來 会社カラ奈良原氏ニ來テ呉レトノ電報ガアッタ由 ソレナイトウシシ
ユヤスオイデコウトアリ 意味不明

▲▼215ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月25日(日)

天気 晴

暑イ日デアツタガ終日宅デア楽デアッタ 一二回ニワカ雨アリ

五時起床 午前中道具箱ヲ作り整理ス 晝食後入浴 アンマヲ取り三時過ぎ迄晝寝ス
青木仙昨夜泊ル 朝会社ニ対シ不満ノ傾向アリトノコトニ三毒ヨリ佛教ノ話シヲ約一
時間徳次ト二人ニ聞カセル

昨日ジヤガイモノ餅ヲ作ツテ呉レタノガ大変ウマカッタ 今日ハ晝ハジヤガイモノ餅ノゾウ
煮デ代用食トス。三時頃名倉來 長野ヨリ來 静岡へ點呼ニ帰ル途中

▲▼216ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月26日(月)

天気 晴

五時起床 野口君へ今年生レタ十姉妹四匹ノ内二匹ヲ籠ニ取り分ケ仁三郎ニ持タセテ
ヤル

定刻出社 一時五十分ニテ富岡ヲ連レ本社ニ行ク 三時十分頃着イタガ会議ハ明後日
ニ延期ニナッタトノコト 野田君ニ福井へヤル十万円ノコト話シ後チ今里氏ニ電話デ話シ
明日正午過ぎ會フ約束ス 清平來ルトノコトニ待ツタガ來ラズ 帰リニ船橋ニヨル 兄ガ
大坂カラ帰ツテ居タ 久次郎ト広島デアツタガ別ニ病氣デモ何ンデモナク除隊ニナツタ
トノコト 一度台湾迄行キ初メテ解除ニナル由デアツタ 清平ニ會フ 清平ニ対シ長尾
ノ態度ガドウモ面白クナイ様デアル 給與ト云ヒ仕事ト云ヒケシカラン處ガアル様ダ
一應話ス必要アル
名倉君八時半頃静岡へ帰ル

▲▼217ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月27日(火)

天気 晴

四時四十分起床 七時出 野口君ニヨリ昨日届イタ十姉妹ヲ見テ千葉ニ出カケル 松
井氏ニ會ヒ營團へ行クコトヲ諒解ヲ得保安課ニヨリ課長、浜野両氏ニ會ヒ熾シオバスノ
件礼ヲノベテ上京 營團ノ総務部長ニ會見 課長モ呼ビヨセ木材トセメンダケ出シテ貰
へ建テル 尚瓦モ出來レバ手配シテ貰ヒタイトノコトデアツタ 協会ニヨリ北尾氏ニ久シ
振リデ會ヒ本社ニ行ク 一時半頃ヨリ今里、板垣 富岡、福井ト會談 福井へ十万円
内金渡スコト 營團ハ營團ノ返事ニヨツテ本社デ建ルカ否カラ決定スルコトトス。重山宅
ニ行キ同氏及同氏兄島田ト四人デ支那料理ニ行キ會食ス 重山三年應召トノコト
八時半帰宅ス

▲▼218ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月28日(水)

天気 晴雨

第八十七部隊ニテ齋藤少佐ニ面会 工場内鉄道線路取ハツシサレタノデ使用方ヲ相談ス 部隊長ニモ照(ママ)介サレ差支ナシトノコトニ副官ニモ門前デアッタノデ右報告シテ工場ニ出ル 途中汽車故障ノ爲約一時間オクレル 板垣、富岡ニ右話シ防諜講演ニ來場ノ警察官五名晝食後講演ヲ聞キ紙芝居アリ 信田君來 鹿兒島不調 當社へ入社希望アレバ足立君迄相談スル様話シテ上京 上野デ分レル 三時半ヨリ本社ニテ役員会ヲ開ク 足立管理工場ニナツタコト 増資建築ニツキ海軍ヨリ本年度千八百石ヨリ木材ノ割當ナク差支アルニヨリ松戸ノ八千石ノ内融通方申出アリ諒承ス 後チ社長ノ希望デ外注課ヲ居キ矢野氏課長トシテ、アタルコト 本社ノ營業ヲ廢シ資材部ヲ置キ今里専務之レニ當ルコトトナル

利根川松戸ニ來 報告ヲ聞ク 大變好評ノ由。

▲▼219ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月29日(木)

天気 晴レタリ降タリ

今日ハ夜中カラ大雨ガ降ツタリヤンダリ

朝食後散髪ヲナシ上京 営團ニ総務課長ト会見 木材セメント瓦ヲ提供スルカラ建テテ呉レトノ書類ヲ出シテ呉レトテ原稿ヲクレタ 本社ニ帰ル 丁度板垣居タノデ、タチニキメ、印字サセテ今日中ニ提出サセルコトトス 明日並ニ月曜日ノコトヲ板垣ニ依頼ス 即チ月曜日勞務課會議ニテ青壮年募集方針ヲキメルコト 例ニヨツテ家ノ問題ガ出タラ検見川ニ收容通勤サセルコトトス

局ニ行キ前川氏、村上氏、市川氏、塙氏、北浦氏、石島氏、建設課長ニ会見ス

組合ニヨリ辨當ヲ喰ヒ美津野へ電話ニテ禪ノ件依頼シテタ刻返事アル筈 帰宅後品拂低(ママ)ノ返事アリダメ

久シ振リニ三越ニヨリ安岡兄弟ニ万年筆ヲ求ム

▲▼220ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月30日(金)

天気 晴

昨夜ヨリ今朝ニカケ相當ニ降ツタノデ氣ツカワレタガ七時半徳治同道縣庁ニヨリ松井氏ニ営團ノ結果ヲ報告 ツヒデニ保安課ニヨリ総武線六時八分増發ノ件ヲ事情ヲ述ベ依頼ス 心ヨリ引受ケテ呉レタ 十時本千葉發ニ野口君ト會ヒ同行ス 十一時半頃着丁度食事ヲ共ニシ高橋氏へ挨拶ニ行ク 野口君先キニ行キ酒ガ出テ居タ 出席十名バカリデ宴会デアッタ 高橋八時局柄晝間カラ酒ヲソンド居ルコトニツキ今日年一回ノ村古文書ノ虫干日ノタメトシキリニ辨明サレテ居タ ススメラレルマ、ニ数杯ヲ馳走ニナリ作業場ニ行ク 一時五十分デアッタ 五分間程共ニ作業ヲナシ休息後訓示シテ二時十分

出テ三時ノ汽車ニ行ク 三十五分デ駅ニツイタ 丁度六實工場間位デア
帰途日立青年學校ニ新校長高崎親輝少将ヲ訪問 数年振りデ會ヒ安岡家内ニモ會ヒ
登卜稔ニ万年筆ヲ事傳テテ帰ル

▲▼221ページ▲▼ 昭和18(1943)年7月31日(土)

天気 晴

今日青校生津田沼到着ノ件ヲ手紙デ工場へ依頼シ定刻出社 バスデ丁度朝礼後青木
課長ヨリ賄委員ニツイテ一同ニ訓示中ノ處へ行ク。午前中資材会議 午後賄委員会議
アリ

晝前養成所へ所長、田茂氏、山下氏ニ面會ス 正午今里、野田、林、本社ヨリ來ル
旭東島田君來 材料一部渡ス
夕方自轉車ニテ帰ル

今夜ハ代用食 ウドン製ノパン、ツクダニ、トマト、カボチャ。コレデ今日ノ辨當米一升一
合ガ大分残り残飯ハニギリメシニシテ烧イテ居ク

▲▼223ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月1日(日)

天気 晴

夏ラシイ夏トナル

五時起床

小鳥ノ箱入レ替エ掃除 菊ノ支柱、アンマ、茶室建築ヲ讀ム。

工場ト宿舍ニ行キ小供達ヲ見ル。西瓜十個畑デ漸ク買エタ。トマト十貫目モ手ニ入ル
利根川氏へ報告 西瓜ダケ今日取りニ來タ

▲▼224ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月2日(月)

天気 晴

四時ヨリ家内起ス 四時半皆起キル エミ子ト自分ダケ残りアト皆畑ニ行ク

自轉車ニテ出社 丁度朝礼ニ間ニ合フ 後チスグ勤労課會議ヲ開ク 青壯年募集ノ件
収容ハ自分ノ案デ検見川ヲ使用シ旅費ヲ出シテヤルコトトス 足立金次郎今日初メテ
出テ來タ 十時半出テ工藤ニ行ク 徳治ノ件ニツキ相談ニ行ツタガ不在ニツキ明後日朝
行クコトニ約束ス。江東館ニテ久シ振リニ映画ヲ見テ五時半帰宅 工場ニ行ク 丁度食
事中デアッタ 青木利根川ニ會ヒ七時帰ル 夜三代川ヲ呼ビ昨夜上岡カラ、ガソリンノ
件デ來タノデタシカメル 昨年佐藤ガ借りタトノコトデアッタ

◆▼225ページ◆▼ 昭和18(1943)年8月3日(火)

天気 晴

五時半起床 七時出 立川ニ直行 石倉、足立ト徒歩空廠ニ行ク 大木其他二人共出張不在 名刺ヲコトツケル。アイスクリームデ休ケイ中石倉足立ヨリ工賃其他ノ問題ニツキ意見ヲ聞ク 帰りハ四ツ谷ニテ分レ千葉住宅営團ニ行キ総務課長、部長ニ會フ 本部へ提出シテアルカラ許可アリ次第着手スルトノコトデアッタ
組合ニヨル カグラ坂ノ上看町へ卅一日ニ移轉シタトノコトデアッタ。帰りニ船橋ニヨリ 一時間程話シテ帰ル 夕方利根川君來 ウイスキーヲ馳走ス

行水や はだにひいやり 海風の風

◆▼226ページ◆▼ 昭和18(1943)年8月4日(水)

天気 晴雨

五時十分前起床 八時前両国ノ工藤着 徳治ノコトニツキ色々聞ク 結局営業ガ一番ヨイトノコトデアッタ ソレニハ丁度四ツ街道デ工藤ノ知人デ写真屋ヲ止メルノガアルカラ一應話シテ見ルトノコトデアッタ 今夜青森へ行クトノコトニ帰ツテカラ話シテ貰フコトトス

工場出 課長級一人モ居ラズ 板垣モ出ズ 田中下痢スルトテ間モナク帰ル 午後青木出社 少時デ熱ガアルトテ帰ル 石倉來 明日立川大木氏午前中会見ノコト 飯塚、八木下ヲ呼び仕事ト工員ノコトヲ話ス。神崎木内君來 當分翼ト後部胴体小翼十台ヲ以テヤル様話ス ソレデヨイトノコトデアッタ
養成所監事ニ會ヒ道路ノ件ヨク想(ママ)談ス 浦川氏北京へ轉任ノ由

◆▼227ページ◆▼ 昭和18(1943)年8月5日(木)

天気 晴

立川行キ 足立、石倉同道 午前九時四十五分着 一時十五分迄待ツ ヤット会見 大木氏相當好意アル報告ヲシテ呉レタノデソレヲ讀ンデ聞カセテ呉レタ 同氏ハ根本的ニ作業ヲ決定シタイ 出來レバ生産課へ入レテヤリタイ考ヘヲ持ツテ居ラレタノハ幸甚デアッタ。ツイテハ設備状況ヲ、クワシク知リタイトノコトニ來週中ニ届ケルベク一度引下ル 御茶ノ水デ一度外へ出タガスデニ四時ニナン、トシテ居タノデズット帰宅ス
家内下痢ニテ一日休養

◆▼228ページ◆▼ 昭和18(1943)年8月6日(金)

天気 晴

朝松戸ニ出明日航本内田中佐ニ面會スベク東京本社ヨリ連絡取ラセル。明日八居ルトノコトデアッタ

晝食後二時二十分六實發ニテ津田沼ニ帰ル 四時過ぎ工場着 小供達ノ礼ヲノベタ方根本大塚両君ヲ自宅ニ呼ビ勞ヲネグライ一杯ノマセテ八時點呼ニ帰ル

▲▼229ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月7日(土)

天気 晴

出ガケニ船橋ニヨリ大坂聯隊区司令部カラ來タハガキヲ渡ス 清平今大坂へ行ツテ居ルトノコト

上京 航本ニ直行 内田中佐ニ面會申込ム 待ツテ呉レトノコトデニ時間程待ツタガ手ガ明カナインノデ伴中佐ニ會ツテ呉レトノコトニ伴氏ニ會ヒ一昨日大木氏トノ会见事情ヲハナシ大木氏ノ報告ニ対シ文書ノ回答ヲ出シテ貰フコトヲ依頼ス Y39ノ写真数枚参考ニ渡シテ居ク。本社ニヨル 板垣石倉ニ會フ 晝過ぎ東亜ニ行ク 本庄鷺見君等ニ會フ。船橋ニヨリ鋸ニ丁受取り大神宮下ノ鋸屋ニ目立ニ持参 三時半帰宅 腹ガヘツタノト熱イノデ足ガ重カッタガ家ノ涼シイハ極楽ニ來タ心地

▲▼230ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月8日(日)

天気 晴

四時四十分起床 定刻工場出 大詔ヲ奉讀後戰鬥ノ様相ヨリ説キ現在工場ノ方針ヨリ工職員ノ心構ヘニツキ訓示ス 即チ過日來工員勤勉ノ様子ガアルトノコトニ前途ニ明サヲ持タセル爲メニ特ニ話ス

寺ヲ建タ人住宅ヲ建テテ呉レトノコトニ協議ノ爲メ來ル 板垣大乘氣ナリ 二時二十分ニテ帰ル 買物部隊多シ

清平ノ件大坂聯隊区司令部へ前工場トシテ返書出シテ居ク

▲▼231ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月9日(月)

天気 晴

定刻出社 朝礼 大木技師出張 十二日会见ノコト 九時半ヨリ検査課常会平穩ノ中ニ一時間余リテ終ル 勤勞課ヨリ出ル筈ノ處池田、佐々木ノ外出社ナシ

松戸ノ大垣氏來 旅館ノ賣物ノ件

流山東福寺ノ金子氏來 少シ話シテ帰ル 養成所へ來タトノコト

十二時二十分ニテ出カケル 自動車三十分以上遅レル 二時過ぎ観音様着 スデニ初

マッテ居タ 終テ大日本佛教会ノ興亜局長中村氏ノ泰国ヨリ帰リテノ話シ 五時十分
前終ル 帰宅ス
叢会ヨリ盆栽大觀天地二冊來テ居タ

▲▼232ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月10日(火)

天気 晴

五時起床 定刻出 今日ハ自轉車ナクバスヲ待ッテ行ク
昨日モ今日モ足立ツヒニ來ラズ 大見、谷口、石倉、小野、白砂、福島、福田、等ソ
レ、用件ヲ命ジ聞キ或ハ不良ヲタシナメル等相當ノモノデアッタ
一時頃根岸君來 石倉ヲ呼び作業上ノ打合セラサセル
五時工場出 途中松原ヲ見テ七時帰宅ス
今夜ハ食事ガウマカッタ

▲▼233ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月11日(水)

天気 晴

定刻出社 今日ヨリ帰郷スル生徒ニ訓示ヲナス
板垣出ル 徳島ノ賣物旅館相談 見ニ行クコトトス 昨日渡辺一英君カラ組合ノ廣告
料ニ関シ訴訟スルトカ長イタ々手紙ヲヨシタノデ午後行ッテ見ル 有野オソク四時頃
会见 聞イテ見ル。僕ニ聞イテ支拂フト云ッタノニ聞カナカッタトノコトニ兎ニ角理事會
デ決議シタコトヲ保証シ明日午後三時支拂フトニキメ時代社へ電話シテシラセル 社
員ト云フノガ一人居タ

▲▼234ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月12日(木)

天気 晴

七時出 立川行き 石倉、足立、小野、駅ニテ待ツ 空廠へ行ク途中大木自動車ニテイ
ヅレカ行クノニ會フ 言葉ヲカケルイトマナク空廠ニ行キ聞キ合ス 一時頃帰ルトノコト
デアツタガ検査本橋氏石倉ノ知人ニ會フ 仕事ヲ依頼シテ帰途駅前ニテ食事ヲナシ本
社ニ引上ゲル 電話ニテ聞合ス 大木氏土曜日迄出張 月曜日ハ會議ノ爲メ航本ニ行ク
由 月曜日航本へ自分行ッテ見ルコトニシテ、四時帰宅。両国ノ工藤ニヨル 十四日朝
帰ル由

参吉今夜モ泊ル

▲▼235ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月13日(金)

天気 晴

工場行き 終日。七時過ぎ帰宅ス
毛利君應召壮行会ヲ行フ
午後養成所ニテ臨時ニ會フ 引込路ノ件 変更シテ圖面ヲ書キ直シテ居ルトノコトデア
ツタ

迎へ火や 今日賑やかな 夜道かな

▲▼236ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月14日(土)

天気 晴

定刻出社 富岡課長マダ帰ラズ 石倉お盆デ休 経理正山もお盆デ休
勤務課小林ニ青木ヨリ事務引継ギ 勤務課會議ヲヤツテ居タ 青木ヨリ退所ノ挨拶ヲ
受ク

昨日六實駅内ノ土堤ニ忘レタ帽子今朝駅ニアツタノデ大ニ助カッタ
今日八四時ニテ帰宅ス
夕方大藪ニタノンダ釘一ペ目届ケテ呉レタ

▲▼237ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月15日(日)

天気 晴夕雷雨

六時起床 朝食中太田善蔵來 昨夜ツイタトノコト 晝食前迄居ル。安岡登來 晝食
後帰ル 徳治ニ釘船橋へ持タセテヤル
家内稲毛へ墓参ニ行ク 金太郎今朝稲毛へ行ツタ由 今日ハ夕方來ルツモリデ食事ノ仕
度シテ待ツタガツヒニ來ナカッタ

六時半夕食頃ヨリ大雷雨トナリ早クカヤヲツツテ中ニ入ル
風呂ヲ炊ク。朝白ノ十姉妹逃ゲラレル。イツモスグ帰ツテ來ルノニ今日ハツヒニ帰ラナカ
ツタ

▲▼238ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月16日(月)

天気 晴雨

定刻出社 出勤者少ナシ 勤労課特ニ甚ダシ 小林君氣ヲモム 外小野君來テ居タ
小林君ノ知ル受(ママ)負者ニテ百戸位スグ建テテ呉レルトノコトデアツタノデ話シ進メ
サセル。今日試飛行アルトノコトニ九時十六分ニテスグ津田沼ニ帰ル 十時半帰宅 十

一時工場二行ク頃ヨリ雨降り出シツヒニ大雨トナル。養成所所長、監事來場シタガ中止ス。一時過ギ帰宅

リリーズ曳航索取替エタ處カンノ大キサガ丁度ヨク機能ヨクナル 安心ス

◆▼239ページ◆▼ 昭和18(1943)年8月17日(火)

天気 晴

上天気 朝ハ涼シカッタ 終日南西ノ風六七米アリ

一時頃ヨリ初メル 第一回直線、第二回ニテイヨ、高度ヲ取ルコトトナル 三百五十米ニテ離脱 横風ニテ幕張ニ向ツテ着陸 コレで一安心シタガ操縦者ハ滑空、滑走共ニ延ビルノデ制動操(ママ)置ヲホシイトノコトデアッタ 川崎氏研究ノ上キメルトテ今日ハ終ル 操縦者ハ今日ハ余リニ、ツッコミスギテ居タト思フ 其爲メ一曾延ビタラシイ 四時半帰ル

◆▼240ページ◆▼ 昭和18(1943)年8月18日(水)

天気 晴

定刻出社 板垣來テ居タ 課長級ハ富岡一人 大坂ノ報告ヲ聞ク。ドウモ勢ガナカッタ

十一時漸ク書類ガ出來タノデ迎ニ來ル 社ノ自動車デ板垣、小野、前田同車 本社ニ行キ小野ヲ連レテお茶ノ水ヨリ乗車 立川ニ行ク 二時半立川着 先着ノ足立、石倉ト會ヒ少憩シテ書類ニツイテ打合セヲナシ空廠ニ行ク 大木氏ト會見 書類ヲ提出シテ三説明ヲ加ヘル イツモナガラ愉快ナ人ダ 過日本部デ本所ノコトデ會議ノ席ニ話シテ呉レタトノコトデアッタ。出來レバ生産課ノ仕事ヲヤレトノコトデアッタ 六時帰宅ス

◆▼241ページ◆▼ 昭和18(1943)年8月19日(木)

天気 晴

五時起床 神佛礼拜 小鳥 朝食 六時二十五分出

今日ハ午後ニナツテメヅラシク各課長全部揃フ 各課長ノ机ヲ自分等ノ前ニ集メル。機械購入ノ爲メ石倉照(ママ)介ノ名古屋ハ板垣以下数名出張スルコトヲ取キメル 夕方四時四十六分ノ列車三十分遅延 暗クナツテ帰ル コホロギガ泣イテ居タノニ氣付ク 一句アリ

帰ツタラ家内ハ徳治和子ト千葉ヘサーカスヲ見ニ行ツタ由

八時頃仁三郎ノ友ニ三人來ル

たそがれて 重い足許 虫の声

▲▼242ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月20日(金)

天気 晴

七時徳治同道上京 工藤ニ行ク 四ツ街道手紙ヲ出シテ呉レタガ尚會フトノコトデアッタ

蓄電池屋ニ行キ補充用ノ硫酸、御燈明用立電燈、手提、兼用電燈等購入ス

スグ分レテ航研ニ行ク 木村、小林、田中皆不在 寺田君ニ會ヒ礼ヲ述ベ二三十分話シテ出ル

浜谷ニテ晝食 メシニカボチヤガ這入ツテ居タ 協会ニテ約一時間遊ブ 北尾君ヨリ航空年鑑一冊貰フ。本社ニヨル 板垣工場ヨリ午後帰ツテ來タトノコトデアッタ。名古屋行 小野、石倉外一名今夜行ク由。局建設課ニヨル 皆出張 スグ帰宅ス 四時過ぎ宅ニツク

▲▼243ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月21日(土)

天気 晴

時事 神宮競技水上ヨリ初マル

定刻出社 今日ハ板垣來ラズ 富岡東京へ機械督促、石倉小野名古屋へ機械購入ノ爲メ出張 鈴木尚病欠ノタメ足立二人ダケ出社 足立大分油ガノツテ來タラシイ 小林ヲ呼び新規採用ニツキ意見ヲ聞ク 飯塚ヨリ石倉課長カラ差別待遇サレルカヲトノ申出アリ 尚本人ノ心構ヘニツキ注意ス 大見、大藪等モ呼び激励ス。舍宅居住人ヨリ家賃半額引下ノ件稍アリ 今月カヲト云フ訳ニ行カナイ 研究ノ上デト云フコトニシ厚生係リニ調査ヲ命ズ。利根川氏ニヨリ學生バスノ件又申出アリ 先キニ一度決定セルコトニツキ一蹴ス 但シ日ガ短カクナツタラ考慮スルコトトス
以上今日ハ小サイ問題ガ多カッタ。土地ノ作地ヲ調査ス
五時ニテ帰ル 途中雨アリ船橋デ傘ヲ借リテ帰ル

▲▼244ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月22日(日)

天気 雨晴

時事 キスカ島徹(ママ)収ノ発表アリ 七月中ニ引上グル由

六時起床 散髪後朝食

午前中小鳥小屋ニ餌ノ差入口ニケヲ付ケル

午後蓄電池ヲ以テ佛様ノソーロク(ママ)ニ電燈ヲ設備ス

四時頃清平青木來 夕食後七時過ぎ帰ル

▲▼245ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月23日(月)

天気 晴

時事 アツツ島ノ英靈ガキス島退収部隊ヲ保護シ米軍ヲナヤマシタ旨谷萩陸軍少将ヨリ発表アリ

南風ヤ、強ク涼シ

七時出 航空局ニ直行 岩田技師ニ會フ 山本大佐カラ聞イタコトト大分違ツテ道路問題弘中大佐ノ反対デ解決シテ居ナイトノコトデアッタ 村上氏ニ相談ノ上松尾課長ニ話ス スグ行ツテ呉レタガ今日明日出張不在ノ由

本社ニヨル 石倉ヨリ今朝電話アリターレット六台アル由

十時半丸ノ内会館ノ組合總會ニ出席 午前理事会 晝食後總會ニ入り四時半終了帰宅

▲▼246ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月24日(火)

天気 晴小曇

定刻出 午後局補給所ノ建設状況ヲ見ニ行ク 中沢技手ガヨク案内シテ呉レタ 三時頃更ニ甲斐氏ト会見後帰社 板垣其間ニ帰京ス 浦川少佐本日出発ノ爲メ挨拶ニ來ラレル

夕方船橋ニヨル 家内ガ丁度來テ居タ 福西へ電話ヲカケニ來タトノコトデアッタ 萱ノ主人ガ來テ縁談ニツキ話シガアルカラ東京迄明日來テ呉レトノコトノ由 スグ稲毛迄家内ハ相談ニ行ク

▲▼247ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月25日(水)

天気 晴

定刻出タガ汽車オクレ朝礼ニ間ニ合ワズ

石倉、小野、大坂ヨリ帰社 機械購入状況ニツキ報告ヲ聞ク

今日ハ富岡ガ上京シタ外永ク病氣中ノ鈴木モ出社シタノデ夕方四時ノ汽車デ帰ルコトトス 六實駅ニツクト大雨ニナツタガ馬込沢迄來ルト道モカワイテ居タ

帰りニ船橋ニヨルト四時二男ノ子ガ生レタトノコト 兄ガ電報ヲ打ツニ行クノデ留都(マ)マ番ヲタノマレ六時帰宅ス

夕立や 日サンとと 銀糸かな(銀の雨)

午後四時六實駅ニテ

▲▼248ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月26日(木)

天気 晴雨

定刻出社 丁度朝礼ニ間ニ合フ 全員ニデマ取締リニツキ訓示ス
加給金問題ニツキアス支拂ヒヲ前ニシテ第一第三ガ加給多スギ第二トノバランストレヌ
ト門(ママ)題ニナル。ヨク調べルト第一第三ハ特ニ多過ギル様デアッタ 早急ニ加給金問
題研究改善スルコトトシテ一先ツ今回ハ之レデ通スコトトス
一時頃小栗君來 富岡ト約束シテ來タトノコトデアッタ
七時帰宅 佐藤ト天笠來ル

▲▼249ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月27日(金)

天気 晴小雨

五時起床 六時半出 野ロニヨリ青校勤勞奉仕ノ金百三十九円六十六錢受領 航本
ニ直行 内田中佐ニ會フ 修理ヨリモ局デ使フ練習機ノ新造ヲヤツタ方ガヨイカラ生産
課(照(ママ)介スルトノコト)後ニ伴少佐ニ會ツテ呉レトノコト)一度本社行ク 板垣丁
度居リ今朝八時大日航ノ小池氏ノ照(ママ)介デ今里ト二人デ波多江サンヲ航本ニ尋
ネ會見 練習機製作ノ件話シアリ 來年度ニ百機発注スルトノコトヲ聞ク 小池氏ノ
運動方依頼シタルモノト考ヘラレルガニ百機発注ノ件ハ少シ早スギルト思フ 尚今明日
中ニ松戸ヲ見ニ行クトノコトデアッタガ午後ツヒニ來ラズ 自分再ビ伴少佐ニ行ク 内田
少佐ノ意見ヨリ伴氏ニ通テ居ラズ伴氏ハ東條中佐ノ處ヘ自分ト連レテ行ツタガ東條氏
例ニヨリ局ノ仕事ニ返(ママ)対意見ヲ述ベタラシク伴氏ソレニ、ヤ、供(ママ)鳴ノ形ナリ、
波多江氏布袋氏五人共不在 歸社ス
航本ノ帰り局ニヨリ第二第一兩部長ニ航本ノ話シヨクシテ諒解ヲ得 松尾氏ニモ同様
尚道路ノ件今朝話シテ呉レタガダメダトノコト
内田氏ト二部長ニ六東亞ノ話シモクワシクシ内田氏ヨリ軍デハ取上ゲナイ方針トノコト
ヲ聞ク

▲▼250ページ▲▼ 昭和18(1943)年8月28日(土)

天気 晴

五時起床

八時半航本整備部波多江技師訪問 自分ノ考ヘテ居タ人ト異タ病後ラシクナイヨク
太ツタ人デアッタ 工場計画書ヲ出シ來場ノコトヲ聞ク 立川ノ工廠ト連絡ノ上行ク

日時ヲ本社へ知ラセルトノコトデアッタ

会见ヲ待ツ間ニ東洋ノ飯国、福田、生田氏ニ會フ 布袋中佐ニ會ヒニ來タノダツタガ会議中デアッル 帰りガケニ日本小型ノ本庄氏ニ會フ 今日ハ滑空機日ダ

内田氏不在 會ワズ局ニ行ク 松尾氏駒林氏丁度工場ノコトデアッタノデソレニ参加ス 駒林氏ハ陸軍ノ新造機ヲヤル上ハ事業法ノ許可モ必要デアルシ陸軍カラ何等ノ話シモナイトノコトニ内田氏ト局ノ連絡ヲ取ルコトヲ打合セ村上氏ニモ尚ヨク話シテ居ク 要ハ局トシテハ東京飛行機其他ノ様ニ陸軍へ工場ヲ取ラレルコトヲ心配シテ居ルノデアッタ

本社ニテ晝食後今里ニ經過ヲ報告シ自動車デア小野同道工場ニ行キ板垣ニ會ヒ話シテ板垣本社へ小野ト返シ自分定刻迄居ル

木下氏ヨリ舟崎氏ニ自分工場ノコトデア相談ニ來テ居ルコトヲ聞ク

◆▼251ページ◆▼ 昭和18(1943)年8月29日(日)

天気 晴

五時半起床

十時半ヨリエミ子一人船橋へ手傳ニ行ツタノデアト全家族ヲ連れ宅ハ喜坊ニ留都(ママ)ヲタノミ山縣記念碑前ニ行キ生花ヲ立テ皆デア観音経ヲ上ゲル 後チ樹木ノ枯枝ヲ整枝シ正午帰ル

今日ハ朝カラ風呂ヲ立テ呉レタノデア朝ト晝タ三回入浴ス

一時アンマ來テ呉レタ 後チ二時過ギ晝寢

丸岡某來 何ノ様モナカッタガ古クカラ飛行界ニ尽力シタ自分ニ敬意ヲ表スル爲メトノコトデアッタ 年六十余人 廻間ト二三回會ツタコトアル由

◆▼252ページ◆▼ 昭和18(1943)年8月30日(月)

天気 晴

五時起床

八時航本着 約一時間待ツ 内田氏出張 三日迄トノコトニ引上ゲ局ニ行キ総務課長乗員課長ニ今回ノ經過ヲ話ス 工務課長ハ名刺ニ内田氏出張ノコトヲ書イテ給仕ニ預ケル。建設岩田氏ト会见 土地買収状況ヲ聞ク 例ノ悪賢ノモノツヒニ代地ヲ出スコトニ決定セル由。圖面ニヨリ予定道路ヲ運搬路ニ使用方岩田氏へ計画方ヲ依頼ス コレハ可能性ガアリソウデアッタ

本社ニ行ク 足立來テ待ツテ居タ 十一時桜井氏來 入社方懇請ス。ヤ、可能性アリ

吉富氏來 四枚持ツテ來タ 富士ガ一番無難ナノデ富士ヲ求メル 弐百円支拂フ 大

藏省カラ來テ居テ今里専務ニ木下氏ノ話シヲ聞キタカッタガ出來ナカッタ 桜井氏ト

晝食後浅草ニ参詣。十七憲法ノ講議(ママ)ヲ聞ク

◆▼253ページ◆▼ 昭和18(1943)年8月31日(火)

天気 晴

五時起床 今日ハ買出部隊往復共多ク立往生ス 明日カラ二貫目以上持テナイノデ
特ニ今日ハ多イラシイ

午後大蔵省ヨリ増資ニヨル建設状況ヲ見ニ來タ 四時頃帰ル

露の香や 虫の音しげく なりませり

◆▼254ページ◆▼ 九月

新聞報導(ママ)ニヨルト最近ノ南太平洋ソロモン方面ノ制空制海権ハ全ク米ニ帰シタラ
シク又飛行機ガナクナッタノガ來襲機ニ対シテハ地上砲火ノミニヨツテ僅カニ撃墜シテ居
ルノニ心細クナツテ來タ。工場モ一日モ早ク御役ニ立タセネバナライ ソレガ第一デア
ル

◆▼255ページ◆▼ 昭和18(1943)年9月1日(水)

天気 晴

時事 今早朝南鳥島ニ敵機百六十機襲來 艦砲射撃ヲ受ク

五時起床 野口君處ニヨル 昨日約束ノ郡司君來ナカッタノハ明日ニ延期ニナッタ爲ト
ノコト

八時十分松戸駅着 次ギノ電車デ小林來 少シ早カッタガ警察ニ行ク 他ニ日立母
我孫子ト柏カラ來ルダケトノコト 其間ニ指導所へ挨拶ニ行キ九時過ぎ帰テ來タガ結
局皆來タノハ十時半過ぎタ 欠勤者ヲ警察ノ名デヨビ出シテ事情ヲ聞キ、出ナイモノハ
微用スルトノコトデ其打合セデアッタ 十一時半終ル 工場出ヲ止メ千葉ノ教育会館
ノ大日本航空婦人会主催ノ愛機南へ飛ブノ試写ヲ見ル 筋ハヨカッタガ光ガ足りナイ
ノカ暗クテ写真ガサツパリ分ラナカッタ 四時終ル 縣庁ノ住宅課へ行ツタガ居ラズ小
鳥屋ニヨル 昨日仁三郎ニ親チャボ四羽ト、ケタノデ、烏骨鶏ノ雄ヲタノム

◆▼256ページ◆▼ 昭和18(1943)年9月2日(木)

天気 晴

定刻出社。村岡受請師來テ居タ

長田氏久シ振リデ會フ 土地上モノ千六百余円買入レルコトニ決定ス

晝食後工賃改正會議ヲ開ク 數時間モンダ後チ板垣ノ發議ニテ日給月給制トナスコト
(之レハ過日話シ合ツタ案デアツタ)ニ決定 制定委員ニヨリ準備ヲ進メルコトス

野口氏紹會(ママ)ノ郡司氏來 抜根ヨリ進ンデ建築ノ相談ニ入り今夜松戸デ泊ツテ見
積リヲスルコトトナル 富岡交渉ス

會議後局ノ仕事全力ヲ揚ゲルコトヲ申渡ス

▲▼257ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月3日(金)

天気 晴雨

時事 一時警戒警報解除トナル

毎日降タリ晴レタリ 又ドコカ荒レテ居ルノデナイカシラ

八時四十五分航本着 内田氏マダ出ズ 一時間程シテ見行ツタニ來テ居ルラシカッタ
ガ、其後三十分程シテ取次ギガ會議中ダカラ待ツテ呉レトノコト 其間ニ波多江閣下
ヲ訪問ス コレカラ宮様ヘ一寸行カネバナラナイノデ君ノ方ノコトハ自分ガ案ヲ作ツテ居
ルカラ一兩日待ツテ呉レトノコトデアッタ。社長ニ營利本位ノ男デナイカナド聞カレル。

正午内田中佐ト會フ 航空局ノ意向ト駒林氏會見ノコトヲ話シ明日ト月曜日居ル

其後ハ土曜日ニナル由 波多江氏トハ連絡ナイトノコトデアッタ。連絡シテ貰ワナイト

仕事ガ喰違ヒガ出來ソウニ思ワル

本社ニ出松戸ヘ連絡ヲタノミ局ニ行ク 駒林氏不在 村上氏ニ内田氏在部ノ日取リヲ、

告ゲ帰宅 途中永田重治君ニお茶ノ水駅デ會フ 船橋ニヨリ富田ノ夫人ニ挨拶シテ歸

ル 三時半ツク

▲▼258ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月4日(土)

天気 晴

終日工場 各課長多ク出張 鈴木石倉在

明後日ヨリ津田沼ノ機体運搬ヲナス由

午後二時過ギ本社野口氏付添ヒ安田銀行貸付係十二名來場 五時十分歸ル 今日ハ

松戸松栄館ニテ牛肉ノ會食ヲスル爲メニ來タツヒデニ工場ヲ見ニ來タトノコトデアッタ

梨ノ配給アリ銀行ノ人達ニモ持タセテ歸ス

今日カラ又買出シ部隊ガ多クナッタ 少量ニ制限サレタノデ小供連レガ多クナッタ 困

ツタモノダ

昨夜家内ガハゼニ印取ツテ來タノデ今夜行ク

いなづまや 雲ニ花咲く 夕まぐれ

◆▼259ページ◆ 昭和18(1943)年9月5日(日)

天気 晴雨

十一時起キテ家内徳治仁三郎ト四人デ夜トボシニ行ク 徳治ガ昨日一日デ片手デ上手ニ舟ヲ作ツタノデ引イテ行ク 三時帰宅 六時迄寢ル

式ノ三百斤程取レタノデ昨日板垣ト約束シタノデ今里氏ト板垣氏へ恵美子ニ約五百円ツゝ持タセテヤル

十一時頃ヨリ和子ヲ連テ成田山ニ参拜 二時帰ル 大分人出ガ多カッタ。和子ハ手風琴ヲ今日買ツテ貰エルツモリノ處エミ子ガ金ヲドコヘシマッタカ分ラズ延期サセタノデグズゝスネテ困ツタ

三時頃晝食後アンマヲ取ル 幕張ノ島田君挨拶ニ來

夕やみや 雲に花咲く 稲光

◆▼260ページ◆ 昭和18(1943)年9月6日(月)

天気 晴

九時航本着 十一時迄待ツテ内田中佐ニ會エズ先ヅ波多江技師ニ會フ 今日午後生産課長ト相談ノ上係員ヲ派遣スル。時日ハ電話デ知ラセルトノ事デアッタ ドウモ波多江氏ハヨタヲ云フ人ラシイ 内田氏ツヒニ會エズ 全日属ニ會ツテ一時出住宅営團ニ行ク

丁度長田氏來テ居タ 総務課長工務課長等ト會見 覚書下書ヲ貰フ 尚提出資材料ヲ受取ル

二時半浅草着 講演ヲ聞イテ帰ル

◆▼261ページ◆ 昭和18(1943)年9月7日(火)

天気 晴

清平宅へハゼ百五十斤届ケル 今朝家内ト徳治デーノ五百斤取ツテ來タ

定刻出社 農作物ノ被害ニツキ注意ヲ與ヘ今日ノ防空実習ニモ一言注意ス。午前九時ノ予定ホシ町ノポンプノ故障ノ爲メ十一時過ギテ初メル 正午終リ晝食後市長署長等帰ル

午後富岡ヨリ住宅見舞ノ結果ヲ聞キ長田氏等モ加ヘ相談ノ上結局営團ヲ本位トシ他ハ資材ノ供出関係ヲ調査ノ上決定スルコトトス

五時過ぎ出 又買物部隊ガ多クナッタ

◆▼262ページ◆▼ 昭和18(1943)年9月8日(水)

天気晴

今日ノ奉戴日ニ和ノ話シヲナシ佛法僧ニツイテ説明ス

午後養成所ヘ行ツタガ所長不在 帰ツテ福井ヲ呼ビ住宅資材ニツキ聞ク 大体ノ見込

ミ立ツ 郡司氏ヨリ電話アリ 縣木ヨリ木材貰ヘルトノコトデアッタ

午後板垣上京 今里専務ニ會フ由 住宅予算ノ件交渉ヲ依頼

夕方汽車三十分程遅レル 帰途新ラシイ住宅敷地用杉林ヲ見ル ヨイ地想(ママ)デア
ツタ

◆▼263ページ◆▼ 昭和18(1943)年9月9日(木)

天気晴

時事 伊太利無條件降伏ス(昨八日)

出社前清平宅ニヨリ清平ト二十分程話シ聞ク 今日板垣出社ナク正午青年學校生徒
ノ割當ニツキ課長會議ヲナス 足立課長茲數日又休ム 職員ノ係長課長級ニ仕事ガウ
マク行カナイノデ、イヤ氣ヲ差シテ居ルモノガアルラシイ 資材課特ニ然リ

住宅問題ニツキ福井富岡等ト協議 他課長等ノ意見等モ聞ク

今日菓子ノ配給ヲ受ク 一カン貰フ 買物部隊並ノ荷物ニナル 今日モ混ンダガ幸ヒ荷
物ハ網棚ニ乗り腰モカケラレタ

久次郎今朝兄ト大坂ヨリ船橋ヘ帰ル 帰途ヨツテ會フ

菓子ヲ六實ノ駄ヘ百五十円程居イテ來タ 帽子ヲ拾ツテ呉レタ御礼ニ

◆▼264ページ◆▼ 昭和18(1943)年9月10日(金)

天気晴

朝野口君ニヨリ昨日郡司氏ヘコトワツタ事ヲ報告シテ居ク 十一時頃野口、郡司二人
デ來 富岡ヨリ、大体タノムトノ話シガアッタノデ準備ヲ初メタトノコト 出資材ハ証明
サエアレバ全部手配スルトノコトデアッタノデ富岡君宛テ手紙ヲ書イテ今夜富岡ニ届ケ
ル様田中君ニ依頼ス 長田氏來 芋ノ代金支拂方決定ス 新規ノ杉林借用方交渉依
頼ス。農地變更書類月曜日完成持參ノコト 赤井、善光寺ニ行ク由

四時ノ汽車ニテ帰宅 久次郎來テ居タ 兄ヲ連テ歸リ一羽犠牲ニシタ鳥デ丁度酒ガ

三合配給アリニ二日前ナホノ持テ來タビール二本 豆腐モ買エタノデ中々近來ニナイ
御馳走ガ出來タ

久次郎ヨリ戦地ノ話シヲ聞ク。今夜泊ル

◆265ページ◆昭和18(1943)年9月11日(土)

天気晴

時事 獨軍ローマ占領ス

清平ト東京 自分九時航空局着 岩田技師ト道路問題局原案ニ従フコトヲ打合セ村上氏補給課長ニモ話ス 村上氏ニ六住宅門(ママ)題ニツキ話ス。建設課長ト土地買収門(ママ)題ニツキ意見シタリ今囑託ガ主任デ今日ハ航本へ行ツタトノコト 例ノ下川ハ局案ニ屈服シソウダトノコトデアッタ。新局長小松氏不在 名刺ダケ預ケテ居ク

本社ニヨル 小林來テ居タ 今警察ノ会談アルノニト思テ聞イテ見ルト高須君デ間ニ合フトノコトデアッタガドウダカ 小野君モ來テ居タノデ村上氏トノ木材門(ママ)題事ム所門(ママ)題話シテ居ク。協会ニ行キ東、佐藤両少将ト会談ス

航本ニ電話シタラ十七日迫波多江氏出張ノ由

午後江東館デ獨逸映画世界ニ告グヲ見ル

◆266ページ◆昭和18(1943)年9月12日(日)

天気晴

四三時ヨリ初マルト云フノデ目ヲ醒シテ居タガ漸ク四時十五分パン、初マル 家内スグ飛出シテ行ツタ

終日在宅 朝上岡兄來 一時間余リ話シテ帰ル

昨日三越デ買ツタ錦糸南天ヲ植替ル

藤繩英一氏ノ兄ヨリ同君ノ出身国民學校デ展覽会ヲヤルカラ参考品ヲ出シテ呉レトノコトニタツタ一枚写真ガアッタノデ引延シテ送ルコトヲ申送ル 夜徳治引延シヲナス

◆267ページ◆昭和18(1943)年9月13日(月)

天気晴

定時出社 板垣來 昨日四五十名公休出勤ヲナシタル由 今日見レバ板金ヤハリ何モシナイデ居タ 石倉ニ作業促進会議ヲヤル予定ノ處十時頃社長來 晝食後一時ニ訓示アリ 老時頃板垣ト津田沼へ行ク。自分養成所々長ヲ訪問 道路ノ件御予定通りニ願フ旨話シテ居ク 他二三話シテ帰り富岡ト郡司ニ會フ 福井居ラズ 長田氏來ラズ 予定杉林ヲ見ニ行キ一先ヅ引上テ貰フ

五時帰途長田氏ニ會フ 明日杉林交渉ノ上來テ貰フコトヲタノム 小林小野出社セズ

◆268ページ◆昭和18(1943)年9月14日(火)

天気 曇小雨

五時起床 定刻出ル 今日ハ汽車ガ早クツイタノデユックリ間ニ合フ。小林昨日今日休ム 小野君ヨリ進退考慮中ノ由聞ク イツレニシテモ課長ノ定刻出社ヲ促スベク明後日少々ノ病氣デモ押シテ出社スル様通牒ヲ出ス
住宅門(ママ)題福井ト想(ママ)談。長田氏來

名月や ジヤングルの勇士 照すやも

虫の音や おしや名月 雨模様

▲▼269ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月15日(水)

天気 晴

今日ハ熱イ日デアッタ

朝今日ノ航本行ヲ祈願ス

九時半着 内田中佐昨日カラ休ミトノコトニ予定通り生産課ニ行キ渡辺ニ會ヒ布袋少佐ニ會フ 無遠慮ニ過己ノコトヲ聞カレタノデ氣持チ悪カッタ 考ヘテ居クナドノ余リヨイ返事デナカッタ。更ニ生産課長ニ挨拶ノ爲メ面会ス 之レハ又頗ル感ジノヨイ人デ内田氏カラ話ヲ聞イテ居ル全面的ニヤツテ貰フツモリダ今週中ニ來年度ノ計画ヲ立テルカラ知ラセルトノコトデ大ニ氣ヲヨクス。奈良原氏ニヨリ野口君ニヨリ六時帰宅ス
奈良原氏ヨリ広島ノ船会社ヲグライダー工場ニスル話シヲ聞ク 氏社長ニナルトノコト

▲▼270ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月16日(木)

天気 晴曇雨

朝ヨカッタガ後曇リタ方タ立アリ

定刻出社

九時ヨリ食堂ニテ会議 課長ヲ集メル 足立小林出社セズ 課長全部ガ朝禮ニ必ズ参加スル様要請ス。之レニツキ派生的ナ問題ニニアリタリ
晝食後懇談モ行フ

板垣昨日指導所ニ行キ二十日迄ニ全手續キヲナスベキ筈ニナッタノデ今日ハ自カラ事務ヲヤツテ居タ 青木出社 佐々木ト共ニヤル 小林出社セザル門(ママ)題ニツキ小野君会见スル由

▲▼271ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月17日(金)

天気 晴

五時起床 六時二十分出 京成來ナイノデ津田沼迄行き省線ニテ丁度間ニ合フ 九時十五分予定通り大原着 同行ラシイモノニ三五五行クノデソレニツイテ行ク 旧旅館ヲ道場トシテ改造シタモノデ星野君昨夜來タトテスデニ先着シテ居タ 心配シタ食事モ割ニヨク居眠リモ出ズ、ムシロ緊張シタ爲メガ話シニ身ガ入ッタ 夜坐談会ト夜ノ行事デ九時半終了 スグ床ニツク

▲▼272ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月18日(土)

天気 晴

四時起床 便所ニ回洗面 四時半起床ノ太鼓ナル 直チニ下帯一ツニ鉢巻スガタデーニ三班隊ヲ組ンデスグ前ノ海岸ニ出ミソギノ行事ヲナス 波ヲ心配シタガ一度タオレタダケデ無事終了 反(ママ)ツテ元氣ニナレタ 午前ノパイロット専務ノ講話ニ兼ネ工員月給制ノ模範工場ト聞イテ居タノデ話シヲヨク聞ク 午後一ツ次ギノ栗原海軍大佐ノ話モ実ガアッタ。午後坐談会デ二時半終了 最後ノ閉会式ニ縣官房長ノ挨拶モ又ヨカッタ。ワレ等ヲコブスルモノデアリ丁度三時終リ三時廿八分發ニテ帰ル 六時半帰宅 行ツテヨカッタト云感ハタレニモアッタラシイ

▲▼273ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月19日(日)

天気 晴

六時起床 昨日ミソギ後又痛クナツタムネノ爲メ稲毛ノ布施サンへ見テ貰ヒニ行ク 内 部ハナントモナイカラエキホスデモヤツテ居イタラヨイトノコトデアッタノデー安心 ツヒデニ血脈検査ヲ依頼シ血液形モ見テ貰フ Bデアッタ 帰ツテ晝食後散髪ニ行キ帰ツテカラ講演ノ整理ヲナス 夜八時半迄カッテ十七日ノ分夜ノ懇談会迄全部筆記ス 朝島田君來 小坂カラ千石拂下ガアッタノデ会社デ發注シテ貰ヒタイト萩原工場ノコトツケデアッタ。ソレカラCニ、引取りニ関スル件、釘三百キ(ママ)注文 外二百キロ位出來ルトノコトデアッタ 長野ニモ買ワセルコトトス。後布施サン迄來 昨日池松ガ鈴木ト板垣カラ旭東デCニガヤレナイ様タカラ下請ヲヤメサセルトノ話シガアッタトノコトニツキヨロシクタノムトノコトデアッタ

▲▼274ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月20日(月)

天気 晴曇

時事 四国ニ風水害アリ

家族五時起床 七時徳治ト出カケル 徳治久次郎ヲ連レテ行ク爲メ船橋ニヨル 本社ニヨル 富岡、足立ニ會フ 九時半慰靈祭々場ニツク

十一時過ぎ終了 晝食ノ辨当ヲ馳走ニナリ午後ノ余興ハ徳治ト久次郎残シ浅草ニ行ク
讀誦会十六周年記念ノ爲メ終リニ写真撮影ヲナス 今日ノ講師ハ柑尾先生デア皇室ノ
御恩志ト題シヨイ教ヘデアッタ

▲▼275ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月21日(火)

天気 曇雨

定刻出社シタガ自轉車ナク時間ニ合ワナカッタ 勤勞課佐々木係長又昨日ヨリ出
社セズ 今日縣庁へ出ス書類出セズ困ル
板垣足立ヨリ工場へ來
午後ハズット十八日ノ講演ヲ筆記ス
午後七度四分バカ熱ガ出タ
帰途野口君ニヨリ郡司君ノ方コトワルニ止ムヲ得ザルヲ告ゲ自分ガ郡司君へ挨拶ニ行ク
カラ諒解サレタシト云ツタカ例ノ口約デ建設課長ト福井ニ談判スルト云ツテ居タ
眞黒ナ細道ヲ帰ル 皆待ツテ居タ 夕食ヲ共ニス

▲▼276ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月22日(水)

天気 晴

定刻出社 朝礼後時局ト航空日、和ニツイテ話シヲナス。午前中一時間青年校一年
生ニ初ノ航空歴史ノ講演ヲナス
午後一時間半程八柱へ御参リニ行ク
板垣ニ富岡ノ件昨夜カラ考ヘタコトヲ話ス 大洋商会ヨリ三百円取ツタコトカラ一般カ
ラ常ニ疑ワクノ目デ見ラレテ居ルノハ本人ノ爲ニモヨクナイノデ第三製造課長トシテ機
械設備ニ専念サセルコト 板垣モ賛成デアッタ
正午萩原工場ノ黒田君來 一時半帰ル
明日三里塚ニ行クコトトシテ帰宅ス 山口清君來タトノコト 明日松戸へ行ク由 コチラ
へ連レテ來サセネバナラナイ

汽車ポツホ 萩や尾花を なでた風

▲▼277ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月23日(木)

天気 晴

久シ振リデ津田沼工場ニ行ク 計器類ハ何一ツナカッタ 航空神社が大変キレニナツテ
居タ 航空日ニお掃除ヲシタトノコトデアッタ 礼ヲ云ツテ居ク

九時ヨリ三里塚ニ行ク 成田ヨリタクシーニ乗ル 郡司君丁度居タノデ自分ノ不徳カ
ラ迷惑カケタコトヲ謝ス 同氏モ最后ニ行ツタ時カラアキラメテ居タトノコトデアッタ
金一封出シタガドウシテモ取ラナカッタ 三時帰宅

▲▼278ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月24日(金)

天気 晴

家内ト和子お寺詣リ 一所ニ京成迄行キ千葉ノ田母神氏ヘタドンノ事ヲ頼ミニ行ク
棒炭ナラ何ントカナルトノコトニ頼ンデ帰ル 小鳥屋ニヨル 主人ハ徴用ニ行ツタトノコト
デアッタ
帰ツタラ山口君ガ來テ居タ 晝食ヲ共ニシタ食ヲ進メタガ五時帰ツタ 其間色々支那
南方ノ話シヲ聞ク。航空神社ニ参拝ス
星野氏ニ會フ

▲▼279ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月25日(土)

天気 晴

出社 朝礼ニ間ニ合ワズ正門ヨリ這入ル
今日ハ午後ハ眠クテ困ツタ
富岡、石岡、足立各課長皆出テ居タ
次長防空演習デ明日モ來ラレナイトノコトデアッタ
家内夜トボシニ行ク 十一時頃帰ル

▲▼280ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月26日(日)

天気 曇リ

五時二十分起床 今日モ朝食ヌキニシテ出ル
工員中畑ドロボーガ絶エナイノデ、禁止スルダケデハダメト思ツタノデ毎週一回以上野
菜ノ配給ヲスルコトトシ其代リ買出シヲ絶対禁止スルコトヲ発表ス
今日カラ午後二時ニ一回タクシーガ出ルコトニナツタノデ試乗ノ爲メ早く帰ル 帰途植
木屋ニヨリ盆栽ヲ見ケト土ヲ求メテ帰ル

▲▼281ページ▲▼ 昭和18(1943)年9月27日(月)

天気 雨

五時起床 徳治右手直ルカモ知レヌト鈴木君ニ紹介状ヲ貰ツタノデ今日蒲田迄ヤルノ
デ一所ニ出カケル 船橋ニヨリ昨夜家内ノ取ツテ來タハゼヲ少シ贈ル 洋傘ガ無クナツタ
ノデ徳治ニ借リテ行ク 航本ニ直行 渡辺技師會エズ 布袋、篠尾課長不在 波多江
技師ニ會フ 昨日迄旅行シテ居タトノコト 過日生産課長ト布袋中佐ニ會ツタコトヲ話
シ結果ヲ三十日聞キ來ルコトヲ約シテ本社ニ行ク 社長丁度居タ ハゼヲ贈ル 航本ノ
報告ヲナシ給料ヲ受取り浅草ニ行ク 六時帰宅

◆▼282ページ◆▼ 昭和18(1943)年9月28日(火)

天気 晴

身ニシミル秋冷 晴レタ日ザシ清々シ

午前中青校実習ノ打合せ会 午後課長係長懇談会 五時迄カゝル 相當ノ成果ヲ上
ゲ得 次長モ出席ス

浅井氏昨日本社ニテ今里、畑両専務ト会見 入社決定ス。信田君阿部氏ト相談ニ行
ツタ由

◆▼283ページ◆▼ 昭和18(1943)年9月29日(水)

天気 雨曇

七時宅ヲ出船橋ニヨリ兄ニ五十円毎月ノモノ渡ス 清平ニ釘取りニ寄越ス様話ス

八時三十七分発ニ乗ル 乗客ガ実ニ多ク柏迄ソヒニ立通ス 九時五十一分柏発ニ間ニ
合ワズ十一時 予定ヨリ一時間遅レテ会場ニツク スデニ中ハ進ンデ居タ 正午過ぎ式
ト懇談会ヲ終リ晝食ノ馳走(ウナギメシ)ニナリ帰ル

柏デ一時間待ツ 四時帰宅 今日ハ入隊者ノ面会日トテ乗客ガメチャ、ニ多カッタ
タ方家内徳治仁二郎揃ツテ御経ヲ上ゲル

◆▼284ページ◆▼ 昭和18(1943)年9月30日(木)

天気 曇リ

九時本社出 板垣同道航本ニ行ク 丁度波多江氏今出懸ケタ處トノコトニ生産課長ニ
面会ヲ申込ム 課長会議中デ代ツテ大尉デ発動機関係ノ人ニ會フ 布袋少佐不在デ
アツタ。初メテノ人デ何ニモ事情ヲ知ラズコチラノ情況ヲ話シタダケデ一度引上ゲル
丁度今里氏居リ昨日波多江氏ト電話ノ結果式二日中ニ向フカラ返事シテ呉レルトノ
コトデアツタ由 午後行クコトヲ中止シテ航空局長官松戸へ行ツタトノコトニ急行ス 一
時半來場 駒林氏同道ス

▲▼2886ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月1日(金)

天気 曇小雨

船橋ニヨリ清平ト長野行ノ打合せシテ共ニ上京 自分ニ局ニ直行 駒林氏ニ會ヒ昨日ノ禮ヲ述べ軍需省ニツキ聞ク。マダ分ラヌ由。補給課長不在 英氏ニ會ヒ機体多ク入レルコトヲ頼ム 九時四十分本社 十時ヨリ重役會 八塚氏岡山氏其他來 畑氏ノ平取締トナルコト 赤坂氏ヲ本社詰トナリ矢野氏足立所長トスル件社長ヨリ話シアリ 一同異議ナク諒解

自分晝食後高島屋白木屋ノ洋服部へ行ツタガ国民服ナク松戸ニ行ク 二時着 自動車ヲ呼ンダガオソク三時過ギ工場着 本日ヨリ五時十分六實発トナル 急イデ帰ル

▲▼2887ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月2日(土)

天気 曇雨

今日ハ雨ニモカ、ワラズ買物部隊特ニ帰りナドハ小供ガ多カッタ

大格納庫内デ初ノ朝礼ヲ行フ 板垣モ來テ居タ 昨日ノ重役人事移動ヲ話シ次ギニ和ト畑泥棒ニツキ訓示ス。午後二時頃今里、外二名來場 富岡足立、鈴木午後來社ス 石倉横浜行

板垣所内ノ組織改正ニカ、ル 一二助言ス 別ニ浅井君ニ参考的ニヤラセル様命ズ 五時十分ニ帰ル 手提電燈登山カラ帰ル

今日ハ例ノ代用食皆ガスキニナツテヨカッタ 今度ノ配給ハ小麦粉ガ七升以上アリ米ガ半減サレトノコトデアッタ イヨ、吾ヶ家ノ代用食時代來ル

▲▼2888ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月3日(日)

天気 風雨

暴風警報出ル 夕方松戸富岡ヨリ來 工場破損ノ入電アリ 明朝早ク行クコトトス 朝散髪ニ行ク 武坊六日入宮トノコト 之レガ最後ノ散髪ニナルカモシレナイ 帰ツテ菊ヲ軒下ニ取入レル

夕方迄回々教大觀ヲ讀ム

明日ノ準備ヲナス 家内同道スルコトトス 船橋へ荷物出セナイノデ明日ハマダ行ケヌ由

▲▼2889ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月4日(月)

天気 晴

四時起床 朝禮拝ヲ終リ四時四十五分宅ヲ出ル 少シ明ルクナツテ來タ 五時二十五

分船橋発ニテ六時十五分工場着 木工場ニ行ツテ見ル 別ニ大シタ風ニ見エナカッタガ
ヨク見ルトスレートガ一枚通り張替テアリ柱ガ曲ツテ居タ 天窓ノ桁ガ落下シタトノコ
トデアッタ 工場全体ヲ見ル 戸締リ不良 氣付イタ點ヲ書面ニ書キ残シ富岡君宛ニス
一番ニ番ノバスデ浅井氏富岡石倉來 浅井氏ト帰社後ユツクリ話シ合フコトトシテ十
分程話シ最后ノバスデ出発ス 十時十分上野發長野廻リ高岡行キニ乗ルコトトス 家
内ハ清平仁二郎ニ送ラレテ九時半頃來タ
五時十分長野着 五時半發七時十分頃湯田中着 加命廼湯ニ入ル 御湯ガ丁度ヨイ
湯デアッタ 酒モ一本ツク由 アンマヲタノム

六實行車中ニテ

風去つて 朝(アシタ)かゞやく 林かな

長野行車中ニテ 田中駅ニテ

雲光る 空にポプラの 葉そよぐ

田中駅ニテ

◆▼2900ページ◆▼ 昭和18(1943)年10月5日(火)

天気 晴

快晴 風静カニサワヤカナ秋日和

五時半起床 入湯 朝食後仕度シテ七時半ヨリ觀世音参拝ニ行ク 高サ三十三米
立派ナモノデアッタ コンクリートカト思ツタガヨク見ルト青銅板ヲ繼合セテ作ツタモノ
デアッタ。最近ノ建立デマダ四五年ニシカナルマイガコノ上ニミロクノ石佛ガ八百年前カ
ラル由 拝メナカッタ 帰途道場ノ小川カラ石付盆栽ニナリソウナ石一ツヒロウ。少
シ重カッタ。宿ニアツケ九時十分ニテ須坂ニ行ク 家内ヲ立町迄送り三吉ノ家ガ先キニ
見ツカッタノデ居イテ工場ニ行ク 本庄氏昨夜帰ツタ由 長尾鷲氏居ル 晝食ハ例ノ牛
肉屋 ウマカッタ。三時迄イロ、長尾ト話シタリ工場ヲ見テ三吉、布施ノ宅ニ行キ公
園ニ散歩シ五時半帰ツタガマダ二人共帰宅セズ 六時半昨日ノ電車デ宿ニ帰ル

◆▼2911ページ◆▼ 昭和18(1943)年10月6日(水)

天気 曇後晴

六時起床 地獄谷見物ニ行ク バス三十分オクレ八時半發 上林ホテル前下車 徒歩
約四十分カ、奥ノ細道ヲ分登ル 登山者中々多シ。マダ見エザルニ噴泉ノ香ス 一句
アリ

十一時三十分ノ電車ニテ須坂行 家内立町ニ直行 自分工場へ山デ買ツタ柿ヲ持參ス

廻間ヨリ労務関係ヲ聞キ且ツ注意ヲ與ヘ工場内昨日見ナイ部分ヲ尚ヨク見テ三時辞
シ金太郎ト三吉宅ニ行ク 六時二人帰宅 二人ヲ連レテ 亀楽ヘ夕食ヲ喰ヒニ行ク ウ
ナギガアツタガ腹ハフクレナカッタ
八時四十八分須坂発 荷物ハトランク二個ニシテ須坂ニテ預ケル 楽ニナッタ 長尾氏
同車 九時半藤谷入り

湯の香り 月と逢からじ 地獄谷
初柿や 山の香りや 湯の香り

◆▼292ページ◆▼ 昭和18(1943)年10月7日(木)

天気 晴

五時半起床 六時宿ノ案内ニテ一行十人バカリ大本願ニ行キ尼宮様ノ御出懸ケヲ拝
シ丁度一番最初ノ席ニ居タノデお数子(ママ)ヲ頂クコトガ出来タ 色々ノ手数ガアリ
本堂ノ階段巡リヲナシ一度宿ニ帰り朝食後先祖代々拝経料十円ヲ上ゲタノニ対シ尼
宮手ツカラ六字ノ名號ヲ給ワルトノコトニ再ビ大本願ニ行キ御経ノ終ルノヲ待ツ 十一
時漸ク終リテ後チ拝謁ノ間ト云フガ一人々々ニ下ゲラレタ。コノ爲メ十一時三十分ニ
ノレス幸ニシテ、輕萱堂ニ参拜ニ行ク 途中林檎ノ木ニ美事ニナツテ居ルノヲ見ル 買ヒ
タイ人ノ多イ爲メカ附近ノ家々ニハ、リンゴ有リマセンノ紙ガ張ツテアッタ 一時十三分
出發ニ丁度乗ルコトガ出来タ。腰ハカケラレタガ車内ハ込ミ合ツタ
八時十五分上野着 十時前帰宅ス

◆▼293ページ◆▼ 昭和18(1943)年10月8日(金)

天気 曇雨

七時起床 今日ハ休ム 午前中書類ノ整理 手紙六通書ク 午後庭ノ手入レ 松切込
ミヲナス タ方ヨリ雨トナル
七時頃仁三郎帰宅 藤原カラ送ツテ貰ツタ模型ノ発動機ヲ廻スノニ懸命ニナツテ居タ

◆▼294ページ◆▼ 昭和18(1943)年10月9日(土)

天気 雨

五時起床 定刻出社 自轉車ナク歩イタノニ朝礼ニ間ニ合フ 午前中格納庫借用ノ爲
メ養成所ニ行ク

午後板垣浅井來 朝航本ヘ行ツタガ皆不在。内田中佐ダケ會ツテ來タトノコト

航本ノ手紙ニヨルト初練々習機増産ノ件ニツキ十二日午前八時生産課長室ニ集マル様

トノコトデアッタ。之レニ対シ工場ノ態度ニツキ協議ス
後チ自分不在中ニ設置ヲ見タ生産委員会ノ第一回会合ヲ開ク。計画課ヲ置ク置カナイノ問題ニツキ議論ツキズ四時半明日續行ノコトトシテ自分汽車ニ間ニ合フベク帰ル。
自轉車デ大降ニ会フ。スツカリヌレテ帰ル
徳治今日ハ船橋デ泊ル

◆▼295ページ◆▼昭和18(1943)年10月10日(日)

天気 風雨

五時起床 六時半出 船橋デ丁度七時 京成ヨリ省線ニ馳(ママ)足デ漸ク間ニ合フ
自轉車ニテ工場出 終日大雨降り止マズ帰リニ北風東ノ風強カッタ 六時半帰宅
九時半ヨリ三時迄生産委員会 昨日ヨリノ分續行 板垣ノミ出席セズ
成田ヨウカン八百本來 全員ニ一本ヅ、配給スルコトトス 自分二十本クレタ 雨ノ中ヲ
大切ニ持チ帰ル 皆ナモ大嬉(ママ)ビデアッタ
今夜ハカユト芋トメリケン粉ノパン 但シ、フクレズウイロウノ様デウマカッタ

◆▼296ページ◆▼昭和18(1943)年10月11日(月)

天気 晴

五時起床 昨夜カイロヲ持ツテ寝タノデ夜モ小便ガ少ナカッタ
八時三十五分市ヶ谷着 浅井君スデニ來テ居タ 航本波多江氏不在 渡辺君ニ明日ノ
会議ニ対シ機種ト数量ヲ調べテ貰フ ユングマンガ大量ニ三千機 キ九ガ五百機位アル
トノコトデアッタ 其発注先キモキマツテ居タ
十時本社着 社長モ待ツテ居タ 今里氏モ來 明日ノ対策ニツキ協議 皆翼等ノ部品
デアラバ止メ様、全機完成ナレバ引受ケ様ト社長以下全員ノ意見デアッタ。局ニ浅井
君同道 各部ニ挨拶ヲナシ村上君ニ神崎ノ件委頼 兎三角書類受付テ呉レル。岩田氏
今氏会见 土地門(ママ)題ヲ聞ク 正午本社ニ帰り、後チ東亜ニ行ク 長尾、鷺見丁度
僕ニ連絡ヲ取ル處デアッタトノコト 此際軍ノ方針ニ従ヒお役ニ立ツコトナラナンデモヤ
ルコトト意見ヲ述ベテ浅草へ御参リニ行ク 之レハ日本航空ニ対シテモ変ラヌ自分ダケノ
考ヘデアル

◆▼297ページ◆▼昭和18(1943)年10月12日(火)

天気 晴

五時四十五分出 七時十分本社着 板垣浅居同道八時十分航本着 今里氏モ來
生産課長室ニ入ル スデニ皆來テ居タ 今日ノ会議ハ東京飛行機ノ生産全然間ニ合ワ

ズ、ソレガ速(ママ)進会議ノ様デアッタ 結局本社ニ六金具百五十機分製作ヲ命ゼラレタ 自分ヨリ完成機製作ニ自信アル旨述べタニ対シ布袋少佐ヨリ完成機発注ノ用意アルモ今月中ニ機種決定シタシトノコトデアッタガ会議中今里氏ヨリ尚希望ヲノベ会議後自分ヨリ今里外三名ヲ布袋氏ニ照会 今日ノ会議ヲ多大ノ期待ヲ懸ケテ來タコトヲノベ発注 機種ヲ知りタイ旨ノベル。三種類アリトノコトデ示サレタノデ其内キ八十六ヲ希望ス ソレニ対シソレデハトテキノ八十六四百台十九年度製作方内示アリ 尚事業法ト管理工場ノ適要方今里氏ヨリ申出諒解ヲ得帰社ス
午後各課長全部ト早速生産會議ヲ行フ 五時散会ス 社長モ嬉(ママ)ブ
東亜長尾一人來 鷹七百機発注アリ 後チ一人デ布袋ト会ツテ居タ 自分ヨリ東航十二型適當ノ旨布袋氏ニ述ベテ居ク

▲▼298ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月13日(水)

天気晴

定刻工場出 朝四時五十分起床ス

朝礼ノ時実行ニツイテ訓示ヲナス

午前中來ル筈ノ來客來ラズ アト鈴木ニタノンデ正午ヨリ上京 本社ニテ富岡君ニ會フ昨日ノ発表ニツイテ異議ヲ稱ヘテ居タガヨク説明シ納得ス 長田氏同道営團ニ行ク 部長課長不在 係長ト會見後工務課ニ行キヨク懇談 調査ノ結果二千五百石アレバ百戸建ツコトニ見込ミツイタノデ今五百石出サセルコトトス
航空局ニ行ク 山本大佐不在 道路ノ件話出來ズ 千葉航空ノ証明書ヲ貰ヒスグ速達デ出サセル

夜浅居氏ノ歓迎懇談会ヲ松戸富吉デ行フ 各課長ト長田氏出席 小野足立欠席

▲▼299ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月14日(木)

天気晴

定刻出朝礼

次長、石倉、富岡、小野、利根川、浅居ト委員会開催 正午終了 キ八十六生産計画政治的ニ漸(ママ)定月割生産台数所要人員ヲ出ス
午後二時五十八分ニテ帰ル
清平帰ツテ來タ由

▲▼300ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月15日(金)

天気晴

定刻出 十一時ヨリ工場懇話会 出席者十二名
福井ニ木材二千石ヲ尚五百石宮團へ廻スコト交渉承諾サセル
朝出ガケニ清平ニ會ヒパラシユート貸スコトトス 自動車明日十二時タノマレ足立君ニ依
頼 ガソリン提供シテ行ツテ呉レルコトトナル
六時半帰宅夕食 和子御腹ガビクトノコト 皆ヤハラカイ御カユヲ喰フ ウマカッタ
明朝家内大坂ノ姉ヲ見舞ニ行クノデ準備ナシトランク一個津田沼駅カラ出ス 一度ハ
芋ガ這入ツテ居テハイケナイトテ折角畑カラ取ツテ來タ芋ヲ出シテ夜又出シテヤル

▲▼301ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月16日(土)

天気 晴

時事 靖国神社御親拝 午前十時十五分

定刻出 御親拝時ニ襖被ス

十二時半過ぎ長尾來 計器高度計一 速度計一 昇降計一ヲ貸ス 飛行場ニ行キ出
発ヲ見送り一時三十一分離陸ス

午前午後ニ渡リ委員会開催ス 圖面到着迄ニ準備スベキ事ヲ主題トシテ議ス 今日八定
時帰ス

朝出ガケ今日モヤガ多カッタ 其中二日ガ朱盆ノ様ニカゝツテ居タ

月残る 朝もや分て 日昇る

月白き 朝もやつひて 日出づる

▲▼302ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月17日(日)

天気 曇雨

七時半頃ヨリ千葉田母神氏訪問 棒炭ノ件 然ルニ児供ガ應召シタノニ面會ニ行ツテ
不在。

小鳥屋ニヨリコチラカラヤッタチャボ四羽ヲ二十円ニテ引取ルトノコト 胡錦鳥税三割
入レテ六十五円ダカラ四十五円ヤラネバ買エナイノデ考ヘタ上何ニカ負ケサセルコトニ
シテツヒニ白錦花鳥ヲ一番ツケテ四十五円デ買フ 帰途野口君ニヨリ來月講演ノコト
ヲタノミ一時間程話シコンデ明日航本へ行クコトニ同道スルコトトシテ帰ル 叡山へ上ゲ
ル般若心經写経ヲナス 午後島田君來 一時間程話シテ帰ル
静カナ雨 静カナ日

残月や 朝もやつひても 日出づる昇る

▲▼303ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月18日(月)

天気 曇晴

八時野口君ト京成ニテ會ヒ上京 航本ニ直行 内田中佐ニ面會 生産課ト連絡ノツイ
タコト札ヲ述ベ直局ノ仕事ハ絶対ニヤルカラ安心ヲシテ貰フ様チカウ 同氏ヨリモ尚局
ノモノモ軍ノ仕事ダカラ最(ママ)非ヤツテ呉レト頼マレル

波多江氏ニ會ヒ札ヲ述ベルツモリノ處同氏ハ又仕事ノコトヲタノミニ來タト思ツテ自分ニ
ロヲ聞カサズ、モウジキキメルカラトノコトデ機モ大体中島デヤツテ居ル戦闘機キノハ
ヲヤツテ貰フコトニナツテ居ルナドト例ニヨツテ出駄羅目ヲ云ツテ居タ ソコ、ニシテ本
社ニ行ク 町田ト東京飛行機カラ來テ部品ノ打合セ中デアッタ。社長専務モ居ル 社
長ヨリ町田ノ連中ニ町田全体ガ松戸ノ部品工場トナルコトノ申渡シヲナス
浅草寺ニ參詣 四時半帰宅ス
夜ユングマンノ写真ガアッタノデ徳治ニ焼カセル

▲▼304ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月19日(火)

天気 晴

定刻出 終日生産會議 今日ハ全課長出タガ一度ニ揃ワナイノデ云フベキコトヲ控エタ
六時半帰宅

徳治市川へ就職運動ニ行ツタソウデ八時頃帰ツテ來タ 曾根君ノ處へ行ツテ來タ由 市
川ノ写真館ハ二三日内ニ返事スルトノコトデアッタガ余リ見込ミハナイトノコトデアッタ

▲▼305ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月20日(水)

天気 晴

四時半起床 八時四十分本社着 板垣浅居ト社長ヲ待ツ 九時半頃社長來 今回ノ
仕事ニツキ社ノ意見発表アリ 尚明日石倉富岡ヲ加ヘ社長ヨリ方針ノ指示ヲ行フコト
トナル

航本渡辺君電話ニテ話シス 布袋少佐ヨリ受注ノ内示ノ禮ヲ述ベ規格外鋼板ノ書類ノ
コトヲ聞ク 係リニ出シテ居イタトノコトデアッタ 布袋氏本日來テ居ナイトノコトニ航
本行ヲ明日ニ延期ス

組合ノ理事会ニ十一時出席 引續キ午後ノ技術研究会發會議ニ出席 四時五分終了
六時帰宅ス

▲▼306ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月21日(木)

天気 曇小雨

省線停電ノ爲メ八時二十分本社着 九時半社長來 石倉、富岡、足立、鈴木、浅居、板垣來集 社長ヨリ陸軍作業方針ニツキ太閤式割負新(ママ)作業ヲ基トシテヤルコト工賃ノ三倍ヲ原價ト見テ其ノ内外デ仕上ゲルコト等ニツキ話シアリ 後チ自分ヨリ課長級ニ会社デ家ヲ建テル事出來ル迄ハ全員少トモ、四月ノ生産態勢ノトトナウ迄松戸ニ泊込ミデヤツテ貫ヒタイコトヲ希望ヲ述ベル 長田氏來 午後二時局ニ山本大佐訪問會議中デ会见ヲヤメ帰宅 四時松ノ手入レヲナス 局ニテ長尾君ニ會フ 満州ノキンカラ、アツキトパイナップルノ罐詰ヲ送ツテ來タ 大坂へ家内到着 尚ユックリシテ貫フトノ重ニカラノハガキ來ル

◆◆307ページ◆◆ 昭和18(1943)年10月22日(金)

天気 晴

定刻工場出 十時三十分工場出 上京ス 午前申五番ニテ板垣ノ自動車ニ會フ 昨日來タ航本ヨリノ通知書ヲ見ル 四百機内示ノ件明記シテアッタ

正午本社着 局ニ行ク 山本大佐ニ會フ 道路ノ件松戸ガ差支ナケレバ當方ハヨロシトノコト 續イテ建設課長ニ會ヒ右諒解ヲ得 岩田技師不在ニツキ課長ヨリツタエル由 航本布袋少佐不在 浅野大尉モ不在 明朝行クコトトシテ二時出テ帰ル ウイスキー二本ヲ求ム 一本兄ニ譲ル

朝日新聞ヨリ日本航空定刊行委員ヲタノマレル 発会式ニ参列ノ返事出ス 舟崎氏長男結婚式ノ参列返事出ス

ひげそつて ぼんのくぼ涼し 秋淋し

◆◆308ページ◆◆ 昭和18(1943)年10月23日(土)

天気 晴

航本ニ直行セルモ靖国神社祭祀ト運動会トカデ誰レモ居ラズ本社ニ帰ル 板垣之レカラ畑氏ト松戸へ行クトノコト 社長ニパイプノ代リニ鋼板利用ノ事ヲ板垣ガ話シタ處非 常ニ乗氣デ最(ママ)非ヤツテ呉レト頼マレル

スグ航研ニ行キ小林ニ相談スル 余リ話シ進マズ木村君ニ會フ 英国デ昔シヤッタ例ガアルカラソレヲ調べテ改造ヲヤツテ見マストノコトニ頼ンデ帰ル 船橋ニヨリ星野君ニ來テ貫ヒ同君ノ社長ニ対スルウツプン話シヲ聞ク 航空神社例祭ノコトト自動車ヲタノム 夜七時大坂ヨリ家内帰ル 姉右手少シ上ル由

夜兄、久次郎ヲ呼び、ヒナ雄ヲシメタノデ会食中妻帰り松茸ガ來テ嬉(ママ)ビアフレル

一カゴ十五円モシタトノコト

▲▼309ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月24日(日)

天気 曇り

五時半起床 朝食後久次郎徳治ヲ連レテ航空神社ノ掃除ニ工場ヘ行ク 十時帰宅
手紙其他ノ整理ヲナス
午後庭ノ手入レヲナス 夕方久シ振リノ風呂ニ入ル 気持チヨクナル
青木仙ノ助來 夕食ヲ共ニス
今夜ハ松茸メシニ魚モ手ニ入ッタノデ御馳走デアッタ

▲▼310ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月25日(月)

天気 雨

航本直行 布袋少佐病欠 浅野大尉出張 竹村少佐ニ會フ 圖面ノコト相談 今後スベテノコトニ監督班デ交渉シテ與レトノコトデアッタ
十時半ヨリ本社ニテ重役會 今期ノ決算承認 十一月四日總會 九百五十万増資ノ件決定
午後再度航本調辨課ニ板垣、富岡ト行ク 二三日中ニ内示通牒ヲ出スカラ監督班ハ其上デ行ツタ方ガヨイトノコトデアッタ
晝重山來 夕方五時黒田迎ニ來 雪村ニ行ク 重山兄弟ト日立ニ居タ有田ト云フノヲ照(ママ)介サレル 今後萩原ニ這入ルコトニナツタ由 今後ノ仕事ノ方針ニツイテ相談アリ 最近ノ事情ト東航式十四型ノ件ヲ話シス 大変嬉(ママ)ンデ、ソレヲヤル方針デア進ムコトニ決定ス。
十時帰宅

▲▼311ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月26日(火)

天気 晴

朝津田沼工場ニ行キお祭りノコト自動車ノコトヲタノミ十一時ニテ松戸工場行
正午着 晝食後青校査閱ノ練習ヲナシ上京 三時半本社着 社長専務板垣赤坂瀬尾モ居テキ四十六ヲ複操ニ直スコトニツキロクニ議論シテ居タガキ四十六ガドンナ機体ガ分ナ(ママ)ナイマ、ヤツテ居タノニアキレタ。スグ布袋サン電話シテ司令部偵ヲ復坐ト云フコトヲ聞ク 朝カラ板垣ヤ浅居ハ何ニラシテ居タノガト思ツタ 社長ノ方針ト自分考ヘモ一致シタノデ、出來ルダケコトワル方針デ明朝板垣三行ツテ貰フコトトス 四時出テ上野精養軒ノ田中館博士米寿記念事業トシテノ日本航空史刊行會実行委員会ニ望

ム 編輯ハ朝日新聞デヤルコトデ同社々々會長トナリ郷古氏實行委員長トナル 今日
ハ止中下一二三卷ノ内容ニツキ協議ヲナス 十時帰宅

▲▼312ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月27日(水)

天気晴

七時半出 縣庁行き 途中田母神氏ニ會フ 棒炭ハ出來テ居ルノダガマダ發賣ノ許可
ガナイカラ賣出セナイトノコトデアッタ。ソコヘ丁度風見來 共ニ縣庁ニ行ク 青柳、野
村不在 代理ノ人ニ書類ヲ提出、ス 住宅課ノ方へ行ツタ方松井氏ハ先月應召シタトノ
コトデアッタ 代リノ人ハ不在
十一時船橋發 正午工場着 長田氏來 土地ノ狀況ヲ聞ク。技術課夕方會議ヲヤル
四時ヨリ成人教育開會式ヲ舉行。時間遅レタノデ松戸廻リニテ帰ル
朝七時前黒田君來 航本ヘ今日行キタイトノコトニ手紙ヲ書イテ渡ス

▲▼313ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月28日(木)

天気晴

定刻出社

黒田君カラ東京航空ヘ同行ヲ希望シテ來タガ今日ハ出ラレナイ旨答ヘル 明日航本ヘ行
クコトカラ会社ヘ報告方々來ルトノコトデアッタ
本日ヨリ成人學級開始ス 参加ストカセヌトカ門(ママ)題ニナツタガ決(ママ)局皆出
ルコトニナル ドウモ係長ヤ課長ニ申出タ事ガ少シモ反響ガナイノデ工員間ニ門(ママ)題
ニナリヤスイラシイ
夕食事ヨリ初メ六時半ヨリ懇談會 利根川氏ト自分トデ話シヲナス 八時十分終了
寄宿舎ノ一室ニ泊ル

▲▼314ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月29日(金)

天気晴

五時四十分起床 モヤ深ク氣持チノヨイ朝デアッタ 六時半ヨリ行事アリ
養成所長ニ道路問題諒解ヲ得
長田氏夕方來 土地問題
板垣航本ヘキ四六コトワリニ行ク 十一月五日京都ノ國際ヨリ打合セ會議ヲナス由 富
岡、石倉、浅居同道板垣行クコトニ諒解ヲ與ヘル 住宅地圖ヲ作製ス
配給ノ酒持ツテ帰ル 立派ナ新ラシイ壘ニ這入ツタ三級ダガ清酒デアッタ
今夜ハ代用食支那ソバガウマカッタ

代用の 支那ソバうまし 茸香ふ

▲▼315ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月30日(土)

天気 晴

定刻出社 昨夜八板垣宿泊ス 一時頃カラ眠レナカッタトノコト

新組織ニ対スル人事ノ異動ヲ行フ

長田氏來。福井會フ

航本ノ方十一月五日京都国際デ会議ヲ行フトノコト 板垣自分デ行キタイトノコトニ
富岡、石倉、浅居ヲ同行セシムルコトトス

▲▼316ページ▲▼ 昭和18(1943)年10月31日(日)

天気 晴

六時起床 工場ニ行キ明日ノ打合せヲナス

萩原航空ノ黒田氏來 今日有田氏長野ノ工場ニ行カラ電報ヲ打ツテ貰ヒタイトノコ

トニ電文ヲ書イテ渡ス 松茸ヲ貰フ

名古屋航空ノ森、西村両氏來 今後ノ仕事ニツキ意見ヲ聞カレル ヨク話ス 嬉(ママ)ン

デ帰ル。紅茶ヲ貰フ

夕食ノ時薮崎來 親類ノモノ松戸へ這入タイトノコト 下駄屋ノ轉職デアッタ 嬉(ママ)

ンデ入レルコトトス。ドラ焼ヲ貰フ 今日貰ヒ日デアル

午後ヨリ庭木ノ手入レ 午前八庭正面ノ竹笹整調

▲▼317ページ▲▼ 十一月

陸軍機準備

▲▼318ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月1日(月)

天気 晴

秋晴レノ上天気 九時半工場出 朝残りノマキノ木ノ手入レヲ終ル

十一時ヨリ祭式 正午晝食後一時ヨリ松戸ニ行ク 赤坂板垣來場

三時頃赤玉少佐外二名工場へ來 主トシテ板垣ヨリ説明ヲナス 今日ハ各課長皆來テ

居タノデヨカッタ 信田君來 四日本社へ來ル様話ス 給與ハ自分カラ話シタ額貳百円

デ承知ス

監督官夕食仕度シタガ帰ツタノデ課長連ト会食ス

▲▼319ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月2日(火)

天気晴

定刻出タガ自轉車ナク工場遅レル

長田氏午後來

板垣本社ヨリ來ラズ

二時頃石倉、足立、鈴木本社ヨリ來

終日工場 五時十分ガ四十分ニ遅レテ七時帰宅ス

イワシノ天ぷらが大変ウマかつた

▲▼320ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月3日(水)

天気晴

明治節日和 朝礼ノ時祭式ヲ行ヒ御詔語ヲ讀ミ皇室ノ御靈ニツイテ訓話ヲナス

午後応召者三名ノ壮行会ヲ行ヒ二時五十八分ニテ帰宅ス

恵美子明日ヨリ船橋ノ千葉銀行へ勤メルコトナル

徳治今日ハ杉原へ手傳ヒニ行ク 十五日モ來テ呉レトノコト 尚再勤希望シテ居タトノコト

▲▼321ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月4日(木)

天気晴

本社直行 今朝航本ヨリキ七十六シユトリツヒ製作方話シアリ 二〇〇機ニテ次第第二ヨツテハキ八十六ヲヘラシテモヨイトノコトデアッタ 社長以下皆ヤリタイ希望ノ様デアツタガ不可能ヲ述ベテ居ク 直各課長ノ意見ヲ京都デ聞イテ決定スル様話ス 課長モオソラク不可能論者デアロウ

十時工業クラブニ行キ株主總會 会社側以外ハ六七名シカ居ラズスラ、終ル 上半期決算ト増資決定。信田君來 社長ニ引合ス 十一日ヨリ來場ノコト

航空局ニ行ク 村上氏総務課入り 工務課ハナクナル 駒林氏ニ榮轉ヲ祝フ 村上氏ニ陸軍ノ仕事初マツテモ修理ハ完全ニヤル旨特ニ説明シテ諒解セシム 松尾氏不在 岩田氏ト會ヒ道路門(ママ)題決定ス

二時頃東亜ノ新事ム所ニヨル 高橋ニ會ヒ清原ニ自分所在ヲ事傳テ三時雷門発ニテ六時日光着 金谷ホテルニ入ル

▲▼322ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月5日(金)

天気 晴

時事 大東亜六国初ノ大会議開催 第一日

五時半起床 六時五分ホテルヲ出三佛堂東照宮仁王門迄 社務所前ヨリニ荒山本宮ニ参拝 帰宿 朝食後昨夜タノソダニギリメシヲ貰ヒ駅ニ行ク 準備悪ルク二十名位シカ居ラズ九時半頃出発ス 古河精銅所ヲ見ル 精銅関係ヨリ今日軽合金ノ方ガ大キクナツテ居タ 更ニ尚拡張中デアッタ パイプ、板、線ノ製造工程ヲ見學シテ十二時解散 相羽君ニ會フ 八日迄ニ一度工場ヲ見セテ貰ヒニ行クコトヲキメル 電車ニテ裏参道下車 大靈廟ヨリニ荒山東照宮ト拝觀シアマリノ立派サニムシロ反感ヲ生ズ 数句アリ 三時十九分日光発 八時帰宅ス 車中大部分立ツタノデ、クタブレタ 帰りニエミ子ニ會フ 徳治就職決定セル由

▲▼323ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月6日(土)

天気 晴

時事 第二日 大東亜會議

五時半起床 出ガケニ野口君ヨリ明日ノ打合セシテ百円渡シ然ルベク依頼ス 十時工場出 四時迄事ム多ク建設ノコト 四時自動車ガアツタノデ松戸ニ出テ帰ル 各電車皆込シテ苦シカッタ。帰宅 非常ニツカレタ

夜徳川夢声ノ宮本武蔵ヲ聞キ落語ヲ聞イテ床ニ入ル スグ眠ル

海軍大戦果発表サル

▲▼324ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月7日(日)

天気 晴

朝船橋へ電話ヲ懸ケニ行ク 明日東京航空見學ノ件重山へ知ラセル 青木清平同道正午帰宅 晝食ス 夕方電報ニテ十一日以後ニサレタシト云ツテ來タ 午後庭木ノ手入れ ダン、呼吸ガ分ツテ來テ木振りモヨクナルヨウダ 夜清平、青木ヲ加ヘ久シ振リニスキ焼ヲナス 肉ハイルカノ肉デ酒ハ配給ノガマダ八合バカリアツタノデ皆満腹ス 須坂デハ米ハ十月ノ末ニアツタノミデ十二月迄配給ナク其間ハ芋バカリトノコトデアッタ

▲▼325ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月8日(月)

天気 曇小晴

出懸ケニ野口君ニ寄ル 昨夜帰ラナイトノコト 午後三時半松戸駅へ迎へニ出ルコトヲ事傳テ貰フ

上京 本社ニ行ク 社長内田サンノ處へ同道スルツモリノ處居ラズ 今里専務ニ會フキ 八六八十二月カラカ、ルコト 其間キ七六ヲヤル様トノ航本ノ話シニ、ヤルコトニキメタ 由 丁度今朝京都ノ富岡ヨリ電話アリ荷造用ノ木材ヲ送レトノコト スグ鈴木課長ヨリ手配ス 十日帰京十一日会議シタシトノコトニツキ十一日午前九時本社ニテ行フコトニキメ専務ニ話シテ東京航空見学ニ行ク 相羽君居ラズ原君ノ案内ニテ見学ス 十日 松戸工場ニ帰ル 板垣本社ニ出社セル由 野口君三時半來場 飛行機ト日本刀ト題シ精神ノ銘ヲ打込ダ翼アル日本刀ヲ作レト激励ス ヨイ話シデアッタ 八時帰宅ス

▲▼326ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月8日(月)

天気 雨晴

時事 ブーゲンビル島沖第二海戦 戦鬪艦三隻 合計二十隻撃沈 大勝利 定刻出社

建設課員ニ從來ノ土地建物関係ヲ話シ整備ヲ命ズ 藤井ニ建物ノ位置側(ママ)量ヲ 風見ニ鉄道ノ地主調査ヲ 道家ニ帳簿ノ整備ヲ命ズ

本日又應召者三名アリ 壮行会ヲ開ク

板垣ト電話デ今日迄ノ経過ヲ聞ク 明日午後本社デ会議ヲヤルコトニ決ス

二時津田沼へ自動車行クノニ薪ト芋、ヌカ、水槽ヲタノミ同乗シタ 帰ル 三時ツキ四時左官屋ニ手傳テ貰ツテ方付ケ終ル

後チ散髪ヲナス 田母神氏ヨリ棒炭出來タカラ至急取りニコイトノハガキ來ル

▲▼327ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月9日(火)

天気 晴

時事 昨日ノ追撃戦更ニ戦果ヲ拡大ス

五時十分起床 大藪ト同行中組合ノ現状ヲ聞ク

八時半本社着 板垣ニ會フ 九時小型事ム所ニ行ク 本庄氏ノ外ニ小型重役二人 河合東洋アトヨリ福田代水野主人等來ル 本庄氏ノ組合ニ対シダツタイヲ六社協定シタ イトノコトデアッタガ自分ヨリ先ヅ現組合ニ対シ警告ヲ發シ理事会ヲ召集シテ意見ヲノベ入レラレナイ時ハダイタイスルコトニシテハ如何ト尚組合ノ將來ニツキ予想ヲノベ結

局自分ノ意見通り臨時理事会開催ノコトヲ決シテ本社ニ帰ル
午後一時ヨリ京都ヨリ帰タル富岡ヲ中心ニ今後ノ取ルベキ急方針ニツキ協議 五時頃
終了ス 浅居石倉マダ帰ラズ 明日連絡ヲ取ルコト

収穫の秋に ふさわし 大戦果

▲▼328ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月11日(木)

天気晴

定刻出社 訓示ヲナス

今日ハ急(ママ)ガシカッタ 夕方五時半ノバスニテ帰ル

午後二時間程生産会議

徳治本日ヨリ横須賀へ行ク

工場へ重山君カラ佛教辞典ヲ届ケテ呉レタ

▲▼329ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月12日(金)

天気晴

朝冷タカッタノデ少シカケ足ヲナス 温ツタ

今日モ終日暇ガナカッタ

朝今日カラ禮法週間トスル旨訓示シ尚火ノ代リニカケ足ヲ奨励ス

六時半帰宅

久次郎ガ芋ヲ貰ヒニ來テ居タ 工場ノ話シヲ聞ク 明日明後日休ミダトノコト

旭さす 富士を仰いで いき白し

月を受けて 照空燈の すじ淡し

月を受けて 道連れ黒き 家路かな

▲▼330ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月13日(土)

天気晴

朝モーニングノズボン見當ラズ一汽車遅レル 十時工場着 建設計画ヲ樹ツ 一時工場
発 二時本社着 三時半本社出 日比谷ノ菊ヲ見ニ行ツタガホトンドナカッタ 本ヲ二
三冊求メ朝日ノ電光ニュースニヨツテ十一日又第三次ブーゲンビル島ノ大戦果ガ発表
サレテ居タ

五時五十分ホテル着 終始奈良原氏ト同席ス。例ノ会社出來天王寺谷ヲ社長ニシタ

トノコトデアッタ 福知氏総務部長トシテ就任 信田氏ヲ世話シテ呉レトノコトデアッタガ、アヒニク一昨日入社シタ旨トワル 披露宴ハ盛大デアッタ 食後ノ照(ママ)介トテールスピーチガ長ク数多ク五六人アッタノデ九時漸ク終ル 帰宅 十一時床ニ入ル

◆▼331ページ◆▼ 昭和18(1943)年11月14日(日)

天気 晴

薄寒カッタガ後チ温カニナル 明日ノ天候氣ツカワレレ

七時起床 新聞ヲ見ル内幕張ノ島田氏ト會フ 元氣ガナイノデ重山式ノ突進ヲウナガシ元氣ツケル 十一時帰ル 庭木ノ手入レ 晝食後仕度シテ一時十五分出カケル 和子船橋ニ行クノデ大神宮下道同道ス 自分松戸ニ行ク途中金町ニテ三十分ワザトオクラセ観音信仰史ヲ讀ム

三時高砂旅館ニ到テ三時三十分ヨリ書類ノ査閲ニ入ル 馬橋、高木本社ノ組ニテ進ミ五時終了ス 今日感ジタコトハ永久予定表 午後予定表ニ五日予定忌日実施表出欠表等ニツキ調査サレタガ之レハ其マ、生産ニ應用スベキコトヲ痛憾(ママ)ス

航本ノ注文ヲ受ケテ感アリ 左ニ記ス

夢の世や 尚かん難の 夜は明けぬ

◆▼332ページ◆▼ 昭和18(1943)年11月15日(月)

天気 晴

九時半本社 社長、板垣、赤坂何ニヤラ話シテ居タノデスグ道家ヲ連レテ住宅営團ニ行ク 虎ノ門カラ青山二丁目ニ引越シテ居タ 総務課工務課ニ行ツタガ當方ヨリ出シタ書類ガ着イテ居ナカッタガ兎ニ角進メテ居ル 近ク入札ニ対スル筈ダガ貴方デモ心當リアレバ入札ニ参加サセテ呉レトノコトデアッタ

帰途局ヨリ補給課長ニ會ヒ局ノ仕事ヲ完全ニ実行スルカラ安心サレタイ旨ノベテ諒解ヲ得テ帰ル。研究所ニ木村君ヲ訪問ス。マダカ、ツテ居ナイトノコトデアッタ 其後ノ状況ヲ話シ社長ノ希望ヲノベ今週社長ト會見ノコトヲ打合セテスグ浅草ニ行ク 軍航空殉難者ノ追卓(ママ)會ノ後チ大東亜民族航空増強聯盟ノ講演会ヲ聞ク 奈良原サンヲ出ラレタ

六時半帰宅 船橋デ味噌一升貰フ

◆▼333ページ◆▼ 昭和18(1943)年11月16日(火)

天気 曇雨

定刻出社 板垣信田スデニ來テ居タ

終日建設予算ニ従事 其間明日航本提出書類ノ打合セ其他デ寸暇ナシ

夕方成年工學級ノ爲メ四時ヨリ出席 五時半終了 本日八縣ノ石毛氏來場講演 利根川氏帰りガナイノデ自分案内駅前天重ニテ夕食ヲ共ニス サービス悪ク一時間モ待タサレル。自分一人ナラ疊ヲケツテ帰ツタカモ知レナイ

長田氏來ル

石毛氏中學時代觀音信仰ヲ教ヘラレタトテ大ニ話シ甲斐ガアッタ

▲▼334ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月17日(水)

天気 晴

八時過ギ本社着 富岡、浅居、鈴木同道航本ニ行ク 布袋浅野両氏不在 渡辺君ニ會ヒ要領ヲ聞ク 鈴木浅居調辨課酒井氏ニ面會ス 轉換資材ニ就テハ調辨課ニ於テ指示スル由。

監督班吉田技師ニ面會ス 生産計画ト現状ヲ報告シ資材門(ママ)題ニツキ聞ク 京都ヨリ引取品ヲ調査シテ不足部ニツキ申請セヨトノコトデアッタ 帰社後原町田ノ人ニ名ニ會フ 十九日夜発京都ヘ行クトニス

工場ニ出市川氏ニ建設ノ用件ヲ命ズ 明日會議ノ準備モ命ズ 夕方青年學校職員ノ慰勞会ヲ天重ニテ開ク 十時帰宅後福西ヘ手紙書ク 賞与ヲ社長ヨリ貰フ 記帳 佛壇ニ上ゲル

▲▼335ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月18日(木)

天気 曇小雨

定刻出社 訓示ヲ行フ 終了 急(ママ)ガシカッタ

定刻帰ル 牛肉ガアツテスキ焼ヲナス 少シカタカッタガ久シ振りデウマカッタ

▲▼336ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月19日(金)

天気 曇リ

五時半起床 七時半出 船橋ニヨリ上京 十時東亜事ム所ニ行ク 決算報告 式万七千円ノ欠損アリ 社長ベラボーナ積極方針ヲ話ス 世間ノ話ニ浮カサレテ居ルモノダ然シ先ヅ結構ナコトデハアル 午餐後一時出テ本社ニ行ク

建設ニツキ福井清水組会见セシム 円満ニ話シツク 第三期ノ工場四棟ヲ大体清水組ニ依頼スルコトトス。建設計画社長ニ説明。今里畑ニモ説明セシモ熱心ニ聞カズ半バニシ

テ終ル 津田沼足立ノ分工場トスコトニ決定セリト板垣ヨリ報告ヲ受ク 十時富岡ト
出發ス
夕方社長会食セズ木村君ニ氣ノ毒ス 自分浅居足立ト会食ス

▲▼337ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月20日(土)

天気晴

車中寒クテ閉ロス 美濃路デ夜ガ明ケル 霜深シ 八時半京都着 九時上京 工場行
キ 圖面昨日貰ツタ由 大藪ニ持チ帰ラセルコトトス。会谈ノ結果資材ノイヨ、困難ナ
ルヲ見ル 出來ルダケ国際ガ本年度分發注済ノモノヲ貰フコトニ努力スルコト
丁度明日工場査察ノ爲メ原田少将ニ布袋少佐來場スルトノコトニ会见ヲ申込マシム
三時松味ヲ訪問 十数年振りデ會フ 大変年取ツテ居タ
夜熊野神社前森増楼ニテ国路社員二名(組長)本社出張員九名ヲ招キ会食 労ヲネ
ギロウ 帰宿 入浴後十時就眠

▲▼338ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月21日(日)

天気晴

式百台分ノ資材ヲ轉換シテ貰フコトヲ押スコトト方針ヲ定メ大久保工場ニ行ク 査察
使スデニ來テ居タノデ面會ヲ遠慮シ名刺ヲ原氏ニ置イテ京都ニ帰りホテルヲ引上げ高
山ニ向フ 九時五十分高山着 萩原ヨリ二村氏同行 長瀬旅館デ入浴 夕食 一杯ア
リ旅ラシイ氣分ヲ味フコトガ出來タ

▲▼339ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月22日(月)

天気晴

六時頃公園ニ行ク 村川マダ戸締リガアツタノデ公園ニ行ク 清水山ノ編額ノアル山門
ヨリ焚火スル大工二名ヲ聞クト観音様ガ御マツリシテアル由 保壽寺ト云フ由 観音経
一卷ヲ上ゲテ村川ニ行ク 立話シテ元氣ノ様ヲ見デスグ帰ル 小供ノ手が大きクナツテ
居タノガ目ニツク 二十円土産代トシテ置ク。ネクタイト考藤ノ盆ヲクレタ 宿ノ帰途
古道具屋デ自在鍵ヲ一ツ求メタ
高山航空ヲ見九時發萩原ニ行ク 工場モ大分トノヒ盛ニヤツテ居タ 嬉シカッタ
治具材搬出ノコトヲ打合セ十二時十二分發 京都ニテ一寸下車 夕食 八時半大坂
ノ宅ニツク

霜ふんで 聖壽ヲ祈る 保壽寺

▲▼340ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月23日(火)

天気晴

温イ日デアッタ 八時半京都ノ富岡君ト電話デ話シタガ何等連絡ナシトノコト 十時
迄姉ヤ皆ト語り仁三郎希望ノ紙モーベツ、アッタノデ少シ持チアトハ送ツテ貰フコトト
ス

十一時半国際へ行ク 休日デ宿直ノ人居リ原氏宅ニ電話シテ貰フ 十二時頃漸クカ、
ル。コレカラ出カケル處デ明日午後本社デ會フトノコトニ、今日ハ、アキラメ京都ニ行ク
富岡君ト會フ 同君モ今日ハ何等ノ収穫ナシ 西村氏広島ノ郷里ニ帰り明日ハ出社スル
由。夕方四條ヲ散歩シ夜宿ニテ荻野君ト国際ノ治具係長來 食事ヲ共ニス
出発ヲ明日ニ延期シ急行券ヲ買フ

▲▼341ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月24日(水)

天気晴

大久保ニ川崎副社長上京ニ西村所長ト会見 資材轉換ノ件ヲ依頼。大坂ニ行キ五時
半本社ニテ原、坂東、関口三氏ト会見 轉換ノ件依頼 ソレ、ハ勿論ソウシナケレバ出
來ナイ筈ダカラ必ズヤル 特ニ枝野ヲツケテヤルトノコトデアッタ 新大坂ホテルニテ坂
東関口ト会食後大坂駅ニ行ク 八時半発ニ乗ル 大坂デ一杯ニナリ立ツ人ガアッタノ
デ富岡君ノ爲メニ席ガ取ツテ居ラナカッタ 富岡京都ヨリ乗車 立ン棒 時々代ツテヤ
ル

▲▼342ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月25日(木)

天気晴

八時半東京駅着 本社 十時ヨリ工場ニ行ク 不在中ノ報告ヲ聞き晝食後會議 京
都ノ経過ヲ報告シ京都ニテ打合せタルモノヲ基礎ニ各課担任事務ヲ協議 四時終了
六時帰宅 荷物ガアッタノデ重カッタ

配給ガアッタトテ酒ガ膳ニツク 嬉シカッタ 徳治ニ徵用ガ來タトノコト 廿七日体格
検査ノ由

仁三郎操縦ノ方合格 入所式モ終ツタ由

▲▼343ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月26日(金)

天気晴

五時半起床 船橋ヨリ九時過ぎ本社着 十時ニテ富岡市川同道 布袋少佐会见
京都ノ報告ヲナシ生産台数ノ月利表ヲ示サル 市川住宅ノ件聞キ資料課ニ行ク 住宅
三台分ア。パート千人分許可サル

東亜吉田技師ニ富岡ヨリ自分ヨリ森玉少佐ニソレ、報告ト希望ヲ述べ引揚 自分ハ試
験場ニ南航空官ト会见 Y39スポイラトブレーキ、ツケテ貫ヒタイトノコト承認シ
テ本社ニ帰ル 社長板垣、畑、今里会談中デアッタ 社長ト少シ話シテ引揚ル 局ニ村
上氏訪問 陸軍関係ノ諒解ヲツケル。試験場帰りニ太田喜八郎ニ會ヒ引受損ニ〇〇ニ
対スル一万円借入方諒解ナル 十二月二日午後電話ニテ聞合セニ行クコトトス
夜徳治帰ル
徳治嫁ノ件兄ニ大坂へ行ツタラ松谷へ行ク様タノム

▲▼344ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月27日(土)

天気 晴

四時半起床 七時二十五分東京発 平塚九時着 富岡待ツテ居タ 国際ニ行ク 戸川
氏ニ面會 坂東氏モ來テ居タ 應援ヲ依頼シ懇談ノ後子別室ニテ課長連カラ上京ハヤ
ツタ材料表部品表等ヲ貰フ 正午馳走ニナリ戸川氏ト少時話シテ一時ニテ帰ル 四時
福井來 板垣富岡ト会談 組立工場清水組ニヤラセルコトヲ決定 月曜日板垣清水組
ト會ヒ火曜日松戸ニテ清水福井会见サセルコトトス
今日ハ東京ノ綜合防訓アリ
帰ツタラ又四百株割當ガ來テ居タ

▲▼345ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月28日(日)

天気 薄曇リ

五時半起床 七時十分出 船橋ニヨル 清平ニ會フ 給與ノ件タノマレル 明日行クコト
ヲ約ス
九時十分本社着 丁度京都ノ枝野君ト富岡君談話中デアッタ 要ハ爆雷ヲツク様ニ改
造スル件デアッタ。スグ松戸ニ行ツテ正午迄工場ヲ見諸般ノ報告ヲ聞キ氣付タ處ヲ命
ズ

正午松戸ヨリ船橋ニ帰り清平ト三時頃迄語り會ヒ帰宅後佛手柑ノカコヒヲ作ル

▲▼346ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月29日(月)

天気 晴

時事 第二次第三治ギルバート島空戦ノ戦果発表サル 空母五隻巡艦三隻其他

久シ振リデ徒歩 朝礼二間ニ合フ
松本産業來 井上武三郎同道ス 富岡君ニ引繼グ 十時五十分ニ井上君ト上京 自
分ハ東亜へ清平ノ件ニツキ行ク 本庄氏高岡へ出張不在 今夜帰ルダロウトノコト 本社
ニヨリ松戸ニ帰ル 電気ボール、トウナン事件ツヒニ司直ノ手ニ渡ス 松戸署ヨリ司法主
任ト刑事二名來 容疑者中ニ名連行ス 外二名ハ休ミデ不在 一名ハ会社ニ入用ノ爲
メ預ルコトトス
賞与査定ヲナシ板垣本社へ持參ス
七時半自動車ニテ金町廻リ帰宅ス

▲▼347ページ▲▼ 昭和18(1943)年11月30日(火)

天気 晴

時事 日比谷公会堂ヨリ東條首相ノ貯蓄増強ノ放送アリ

八時工場ニ出久シ振リニ津田沼工場ヲ見神社ニ參拜 後チ小型ニテ工業學校ニ行ク
校長不在 代理ニ会ヒ學生三名割宛配當方依頼ス 本科生ハ賣切レ 第二本科生中
五名津田沼希望者アル由 十一時學門ヲ出ル 十二時半船橋発ニナル 買物部隊ニテ
身動キモナラヌ有様デアッタ 帰リハ松戸廻リトス
赤坂谷ノ契約書承認ヲ與ヘル
盜難ノ電気ボール二個新品警察ヨリ信田受取テ関(マ)ル 発動機ノ上野ノ自宅ニ有
ツタ由
今日ハ應召者壮行会ヲ行フ

▲▼349ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月1日(水)

天気 晴

定刻出社 定刻帰ル

警察ヨリ寄附金ノ件ニツキニ三回電話アリタリ
建設ノ資材調査資金調辨ノ基礎案ヲ作製ス
足立今日ハ早朝カラ來テ居タ

▲▼350ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月2日(木)

天気 晴

今日ハ一日金融デイトス

七時工場ニ行キ太田ニ電話シ今日ノ打合せヲナシ上京 本社ニヨリ車ヲ得太田喜八郎
訪問 一万円借入レル アト五千円ハ一寸出來ソウモナイノデ、銀行カラ借りルコトニ

ス利子モ八分デハ損スルコトモアルトノコトデアッタノ一割ヤルコトニ右デ決ス 正午本社ニ帰ル 其前社長ニ會ヒ万一不足ノ場合足シテ貰フコトヲ諒解ヲ得。板垣、鈴木、石倉一時工場へ行ク 自分ハ今日ハ休ムコトニシテ津田沼ノ銀行ニ行キ定期ヲ担保ニ五千円借りルコトヲキメ風呂屋ニ行キ釜ヲ見釜屋ヲ照(ママ)介シテ貰フコトトス 四時帰宅ス

松谷忠治死ンダトノコト船橋ノ姉カラ聞ク 廿六日葬式ヲシタトノコト

▲▼351ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月3日(金)

天気 曇後晴

定刻出社

足立作業工程中組立作業方針ヲ案ヲ作ツテ出ス 少シ無理ノ點アッタガ先ヅヨサソウニ思フ 富岡反対アリ議論シテ居タガ先ヅ足立案ニ進ムヲヨシハ考ヘル 終日寒ニイソガシイ

今夜ハ昨日カラ技術課ガ七時半迄残業シテ居ルノデ工場ニ泊リ残業振リヲ見ルコトトス 七時半皆送り出シテ宿舍ニ帰ル 榎本君ガ芋ヲ焼イテ居イテ呉レタノデウマカッタ

▲▼352ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月4日(土)

天気 晴

ヨク眠レタ 六時皆ト共ニ起床

板垣本社出

工場配置場圖ヲ正確ニツクル

午後三時頃清水組來 福井ト会见サセ取アエズ事ム所トアパートヲタノムコトトシ圖面持ツテ帰ル 福井ノ態度ヨロシカラズ

四時松戸廻リ帰ル

仁三郎昨日ヨリ練習初メタトノコト 嬉ンデ居ルヨウデアッタ 帽子ト眼鏡島君ニ借りタ由

東亜輕飛行機ヨリ役員報酬トシテ五百円來ル

▲▼353ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月5日(日)

天気 晴

時事 第六次ブーゲンビル島沖航空戦々果発表サル 空母三隻戦巡等多数

今日ハ亡キ母の日 朝夕ニ回御経ヲ上ゲル(イツモハ朝一回)

朝散髪。大藪ト会谈後重ニ、松本産業、太田喜藏へ手紙ヲ書ク 重ニ小包ヲ作ル

(作業服)

晝食ハ芋ト南京豆

午後盆栽ノ霜除ケヲ作ル。三時過ギ川名田舎カラ帰ッテ來タトテ挨拶ニ來 兔一匹
土産ニクレテ料理シテ帰ッテ行ッタ

◆▼354ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月6日(月)

天気 曇リ

七時船橋駅ニ行キ川名ニ風呂釜屋ノ行クコトヲ事ツケル

清平ト角來テ居タ 兔ノ肉一キレ届ケテ津田沼ニ帰り野口君訪問 千葉製作所見学
ノコト 經濟部長会見ノコトヲ相談ス 明日津田沼海岸へ來ルトノコトニ自分行クコトト
ス 農地問題今日部長ニ會フカラ話シテ居クトノコトデアッタ。役場ニテ印鑑ヲ取り一
度帰宅 時間ヲ計ッテ銀行ニ行キ五千円借入レ上京 三菱丸ノ内支店へ拂込ミラナス
正午三十分過ギ本社着

京都ヨリ平佐外三名來テ居ルトノコト 会見ス 賞与最后ノ決定ヲナス。鈴木金六工
場へ行クノニ今日勤労課長ガ來ルノニ対シ農地門(ママ)題依頼サセル

二時半浅草寺着 スデニ経ハ終リ講演ノ初ツタバカリデアッタ 三時半終了帰宅 徳治
友人ツレテ帰ッテ居タ

◆▼355ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月7日(火)

天気 雨

昨日以來今日モツカレガ取レナカッタ

出懸ケニ野口君ト打合せ工場出 京都出發ノ様子ヲ聞キ午後十時半ト十一時半ニテ
帰宅

晝食後工場ニ行ク 三時頃遠藤第一部長縣土木課長外一名來場 一應ノ説明ヲナシ
工場ヲ見テ帰ル

夕食後七時半頃床ニ入ル

◆▼356ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月8日(水)

天気 晴

定刻出 大詔ヲ奉讀シ釋尊ノ成導ト月日時刻ヲ同ジクスル 大東亜戦發生ノ意義ヲ
説ク

午後一時半出テ船橋宅ニテ待ツ 三時半皆揃フ 長尾、鷺見、参吉、清平ノ四名ヲ連
レ千葉工作所ニ到リ見学ス 大ニ得ル處アリタリ 五時梅ノ詣ニ行キ夕食ヲ共ニス 大

変沢山馳走ヲ出シテ呉レタ 酒モタップリアッタノデ皆満足シテ帰ル 鷺見君ノ努力ヲ
祈ル

◆▼357ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月9日(木)

天気 晴

定刻出社 教務課ノ女二人ニ表彰状ヲ與ヘル 終日建設ト企画ニカゝル
正午赤坂林両氏來 賞與ヲ持ッテ來タ 夕四時職員全部ヲ集メ賞與ヲ渡ス 言葉ヲ
述ベ課長ノ手ヨリ渡ス

◆▼358ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月10日(金)

天気 晴

四時五十分起床 六時五分出 野口君ニヨル 昨日百五十円ト酒一升預リ農技課青
柳小作官特待ノコトヲ依頼ス 海面飛行場ノ件イヨ、具体化スルコトニナツタ由
終日工場 現場課長ノグータラニ困ツタモノ 眞劍ニ教育ノ必要ヲ認ム 利根川教務
課長信田勤勞課長ト話ス 鈴木課長正午前京都ヨリ帰ル 国際ニハ行カズ板垣ト社長
ガ今日行ツテ居ル筈トノコト 川崎ダケ行キ石倉氏ニハ同氏ノ宿ヲ富岡ガ忘レテ連絡
ガツカナカッタトノコト 馬鹿々々シイ話シ

三十年 みのりの秋や 初冬かな

◆▼359ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月11日(土)

天気 晴

休日ナレドモ定刻出社 竹田建築屋、山形ノ木材商会見正午
昨日到着ノキ七六午後二時工場ニ搬入終ル
二時五十分ニテ帰宅ス

浅居出社 爆雷取付機年内作業命令アレバヤルコトニ方針ヲ示ス

◆▼360ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月12日(日)

天気 晴

定刻出社 陸軍機到着ニツキ作業上下防諜ニツキ注意ヲ與ヘル
十一時十五分ニテ帰宅 途中野口君ニヨル 明夜青柳氏ト会食スルコトニ席ヲ取ツタト
ノコトデアッタ 一時間近ク雑談シテ帰宅 晝食ハ芋デスマス 後子鳥小屋ト佛手柑小

屋ヲ俵莖デ防寒シ永クテ氣ニナツタ浜勇(ママ)ヲ佛手柑小屋ニ移植ス
板垣今朝東京ニ帰ツタ由 明日九時半本社ニテ待ツトノ入電アリタリ

▲▼361ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月13日(月)

天気晴

九時半本社へ來テ呉レトノ入電ニヨリ行ク

社長川崎川西、国際ノ見學談アリ 建設方針ノ縮少説アリ 建設ノ再検討ヲシテ呉レトノコト 其他参考ニナルコト大分アツタ。専務モ大分消極的ナ意見デアッタノデ株ノ拂込ガ思ワシクナカッタノデハナイカト感ジラレタ 三時工場ニ行ク。東軍キヤリアーガ來テ居タ

成人學級ノ最終ノ講演会デ閉会式ヲ行フ 協調会松村氏ノ講演アリ 終ッテ縣航學ト会食 オソクナル 牛肉ハウント出シタガ待遇ノ悪イコトオビタダシ。十二時床ニ入り 明日ノ会議ノ議題ヲメモニ記入ス

▲▼362ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月14日(火)

天気晴

定刻出社

終日会議 建設再檢ノ結果二期計画二四八三棟ヲ増スノミニテ出來ルコトトナル 外ニ生産計画充員計画ヲ命ズ

松戸署長ニ挨拶ノ爲メ夕方廻ツタガ不在 七時帰宅 腹ガヘツテスグ食事ス

▲▼363ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月15日(水)

天気晴

今朝ハ氣持ヨク四時四十分起床 定刻出社

今日ハ課長ハ足立一人來テヤツテ居タ 此ノ方デ本人ハ、得意ニナツテ居ル様デアッタ 午後オソク石倉來 ソレヨリ機体梱抱ヲトモニカゝル

長田氏來 明日公証ニ行ク由

六時過ギ帰宅 登方來テ居タ ビールヲ三本持ッテ來テ呉レタ 早速一本ノム 今日ハ 歸リノ乗物ガ込ダノデツカレガヒドク八時頃居眠リヲ初メタノデ床ニ入ル

▲▼364ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月16日(木)

天気雨

傘ナシデ出タガ六實ニツク頃ヨリ少雨トナル 終日大シタ降りナシ
十時過ぎ社長來 足立ヨリ主トシテ計画ヲ説明 工場建設坪数一昨日決定通り承認
人員計画大体三千人トシ補充方法、機械購入 配置圖ハ廿二日來ル迄ニ作ツテ居イ
テ呉レトノコトデアッタ 四時過ぎ同乗シテ自分松戸警察ニ鈴木課長同道出頭ス 縣
勤務課へ行ツテ呉レトノコトノ聞き違ヒデアッタノデ明朝行クコトトス 信田同行スベク
打電セシム

◆▼365ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月17日(金)

天気晴

九時縣庁前ニテ信田ト會ヒ共ニ勤勞課ニ行ク ドウモ松戸警察デ勝手ニ云ツタコトラシ
イ 馬鹿ヲ見タ 営團出張所ノ今泉氏ニ初メテ會フ 農務課ニ行ク 野村氏居ラズ 青
柳氏居タガ野口氏ノ話シヲマダ聞イテ居ナイノデ會ワズニ帰途小鳥屋ヨリエヲ買ヒ船
橋ニ預ケテ上京 本社ヨリ航本ニ電話ス 内田中佐満州ニ轉任シタトノコトノ、止メテ
東亜ニ行ク 本庄氏ニ會ヒ三人ヲ共ニ活カシテ働セルコト清平ノ給與ノコト軍人ヲ入レ
ルコトヲ止メルコト等ヲ注意シテ帰ル 清平長尾來テ居タ。帰途本所映画館ニテ海軍ヲ
見ル 終リ追涙ガ止ラズ、ヨワツタ。悲シミデナク感激ノ涙ダ

◆▼366ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月18日(土)

天気晴

五時起床 七時宅ヲ出ル 途中野口君ニ會フ 青柳氏諒解成ル 今一通願書出シテ呉
レトノコトデアッタ

本社ニ行キ鈴木課長同道 東監吉 ■技師ニ會フ 局ノ仕事ニツキ諒解ヲ求メタルモ成
ラズ。航本ニ伴少佐訪問 更ニ新航務課長ニ面會 生産課東監へ局ノ仕事諒解方依頼
ス。初メテ軍需省ニ行ク 布袋少佐不在 浅野大尉ニ面會 七六貸與機ニ関シ鈴木ヨリ
交渉

局ニヨリ補給課長不在ニツキ英氏ニ局ヨリ航本へ依頼方要求シ本社ニ帰り一時自動車
ニテ松戸ニ向フ 二時着 防訓ノ準備ヲ聞キ旅行ヨリ帰ツタ富岡ヨリ報告ヲ聞ク 課長
異動ニツキ板垣ト協議ス
定刻帰宅ス

◆▼367ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月19日(日)

天気晴

日曜ナレドモ定刻出社ス 信田一人 後チ鈴木足立浅居出ル 次長欠 足立ヨリ工数

表(組立)見セテ貰フ 一寸気付イタ點デモ信頼出來ソウニモナカッタ。式時半頃市川出金町ニ工員住宅用トシテ一戸賣物アリ見テ來タトノコト 三万五千円デ土地七十坪付キ 家八坪當四百五十円ニツク由電話アリトノコト

正午大藪ト一所ニ高松ノ森氏來 今度東京飛行機ノ下請ヲヤルニツイテ意見ヲ聞キタイトノコトニ木工ヲ主トシテ進ム様教ヘル 三時共ニ自動車ニテ松戸迄送ル 四時半帰宅

野口君ニヨリ役場ノ上ニ出タ時不圖見ルト富士ガ黒黒ト高クソビエテ居タ イツモトマツタク違ツタ富士ニ見エタ

夜吉野明日入営トテ挨拶ニ來ル

寒風にぬきんでたり 富士の山

富士黒く

▲▼368ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月20日(月)

天気晴

時事 タラワ、マキン島將兵三十萬一千五百ノ玉碎発表サル

五時起床 定刻出社

▲▼369ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月21日(火)

天気晴

六時過ぎ起床 充分寝足りタ

終日防訓 四回ニ渡ツテ行 最后ノ六時半ヲ以テ終了 直チニ帰宅 九時十分前ツク板垣、富岡東京。石倉欠勤

▲▼370ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月22日(水)

天気晴

五時起床シタガ船橋七時発ガ八時ニナリツヒニ朝礼ニ合ワナカッタ 九時頃社長來 収容人員ニ対シ家屋ノ坪数ヲ決定 大体ノ予算ヲ立ツ 約二百万円ニト、メル 自分ノ計画ヨリ大分少(ママ)イサクナル 工場配置ト治具機械ノ予定表出ル。明後日迄ニ予算ヲ命ズ

国際ノ牧野君來 爆雷操(ママ)置改造年内ニ行フコトニ決シ作業會議ノ結果三十日迄ニ完成スルコトニ決定 コレニ対シ社長ヨリ賞與ヲ出スコトトナル 社長満足シテ歸ル 兄大坂ヨリ歸ル 一時間程話シテ帰宅 七時半

▲▼371ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月23日(木)

天気 晴

八時野口君ト會ヒ本ヲ貰フコトニツキ打合セル 九時半縣庁ニ行ク 約十分オクレ市川、松原ヲ連レテ來 勤務課建築課へ行ク 資金調整ノ許可ト合致シテ居ルカ否ヤヲ調べ、タイトノコトデ松戸迄其旨届ケルコトトシテ農務課ニ行キ青柳、野村、越沢三人ニ會ヒ過日不許可ノ分ニツキ再願ヲナシ大体諒解セルモノノ如ク書類置イテ帰ル 一時四十分工場着 建設附属物ノ予算ヲ作り爆雷作業ヲ見明日ノ打合セ命令等ヲナス。牧野君少時話ス 四時四十分ニツタノデ急ギ帰ル 買物部隊デ六實デ身動キモナラヌ状態ニナリ、ツカレル

▲▼372ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月24日(金)

天気 曇少雨

五時半起床 七時半出 九時本社着 十時ヨリ重役会開催 増資拂込ミノ報告アリ 尚千九百株程未拂込ミアル由 定カン変更ノ件株式名議(ママ)停止期間ニツキ尚研究ノ余地アリ決定ニイタラズ 後チ松戸製作所建設ニ対シ承認ヲ得 尚資金ヲ増資ニヨルカ借入金ニヨルカハ研究題目トス 午後松戸ニ帰り爆雷操(ママ)置ノ進行ヲ見ル 今夜ヨリ十二名徹夜スル由 資金問題明朝決定ノ爲メ會議スルコトトス

▲▼373ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月25日(土)

天気 晴

六時五分宅ヲ出ル マダ今日ハカナリ暗カッタ 八時工場出 板垣來テ居タ 礼後信田ト三人學校デ語ル 信田退社ヲ申出ル 資材課長ヲ最(ママ)非引受ケル様進メテ分レル 富岡牧野出社 爆雷器順潮ニ進ンデ居ルトノコト 成田山ノ御守リヲ俵木ニ渡ス 十時頃ヨリ資金會議ヲ開キ方針ヲ定ム 三時過ギヨリ市川同道警察署ニ行ク 呼出シタ人不在 スグ帰宅ス 明日ハ休ムコトヲ会社ニ云ツテ來タ 今月ハ一日モ休マナカッタノデ大分ツカレヲ覺エル

▲▼374ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月26日(日)

天気晴

ヨイ日デアツタ 七時近ク迄眠リ氣持ヨシ 朝食ハ近頃ハカニシテ居ル 後チ散髪ヲシテ工場ニ行キ今日ボールトヲ取りニ來ルコトニツキ依頼ス
旭東ノ島田君來 其後同社ノ様子ノ報告アリ リンゴヲ貰フ
十一時過ギタノデ晝食後家内ト和子ヲ連レテ成田山ニ参拜 三時半帰宅ス
大和農團カラ紅リングトイチゴ苗ガ來テ居タノデ夕方植ヘテ居ク

▲▼375ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月27日(月)

天気晴

定刻出社 午後一時ヨリ上京 本社ニヨル 四時半萩原ノ黒田君ヲ呼びキ八十六木製部品ノ件治具材ノ件、櫨ノ件鋸ノ件相談ス
五時ヨリ嵯峨野ニ行ク。奈良原、川辺、浅見君ガ來テ居タダケ。アトヨリ豊馬、井上、相羽、渡辺、根岸等 外ニ井上君ノ甥二人來 九時過ギ散会ス
今日ノ会ニ井上百円寄附、豊馬君來春ノ分トシテ百円寄附ス

▲▼376ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月28日(火)

天気晴

定刻出社

朝カラノ会議延ビテ十一時頃ヨリ初メル 足立ト板垣ト議論合ワズ 板垣ノ方ニ少々無理アリ 調和ヲ取リスマセル 夕方ニナル
今夜ハ組立板金共ニ徹夜ヲスルノデ自分モ泊リ昇給表ノ査定ヲナス 十時床ニツク 點呼後帰郷生徒ガ米ヲ呉レト力服ヲ帽子ヲナド要求ガマシク來タノデ利根川氏ト説教シテ帰ス

▲▼377ページ▲▼ 昭和18(1943)年12月29日(水)

天気晴

六時十分起床 洗面後工場ノ外ヲ一廻リカケ走(ママ)ヲナス 温マツタ 組立工場ハスデニ出來上リ休ンデ居タ 板金ノ方モネギラヒ朝礼ノ時ソレ、ニ注意ヲ與ヘ最后ニ徹夜組ニ礼ヲ述ベル
十時半審査部ヨリ十一時下志津ヨリ來 工作中ノモノヲ見下志津機一機居イテ帰ル 三十一日午後空輸スルコトニ作業ヲ進メルコトニ決定ス 夜板野君京都へ帰ルノト課長連來 会食ス 板垣君風ヲ引イテ居タノデ熱ガ出タラ休ム様進メテ居ク 九時半帰宅

◆▼378ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月30日(木)

天気 晴

定刻出社 板垣定刻出 課長一人モ來ラズ 富岡横浜へ行ツタ由 足立一人定刻出社
夕方モオソク追居タ 石倉不明。信田來ラズ 明日日本社デ十時會フコトニ打電ス
社長來 明日引渡シ出來ルコトニツキ嬉(ママン)ンデ晝食後二時頃帰ル
應召者一名アリ壮行會ヲ行フ 酒一升配給アリ 帰途兄ニ五十円渡ス
塗縫ノ方今夜ヤツテ呉ルカト帰途氣ニカル

◆▼379ページ◆▼ 昭和18(1943)年12月31日(金)

天気 晴

夜中ニ雨降ツテ温カナ朝デアツタ 定刻船橋着ニ行ツタガ汽車居ラズ川名ニ事傳テ上
京 本社ニ行ク 九時半有田氏來 板垣ト共ニ會フ 八十六、八全面的ニタノムコト 七
十六ハ桁トリブ材其他ヲタノムコト 治具材ハ圖面デ作ツテ貰フコトニスルガ差當リ今自
分ノ處デ使用スルモノガ何ニモナイノデ一部送ルコトヲ依頼ス 信田君ツヒニ來ラズ
今里、社長、赤坂來 遊郭ノ件社長買フコトニ決定シヨウトノコトデアツタガ再考ノ上
牧場説ニ變リ遊郭コトワツテクレトノコトニ兎三角今日ノ回答ヲ保留スルコトト決定ス
松戸ニ専務同道行ク 藤沢大尉ステニ來テ居タ 晝食後飛ンデ行ク 有難イコトダ
工員ニ社長賞ヲ渡シ感謝ノ言葉ヲ述ベル 學校ノ藤井應召三日入隊ノコトニ壮行會ヲ
行フ 三時松戸ニテ専務以下課長迄八名ツモゴリソバヲ喰ヒ金町ニテ分レテ帰宅 正
月ノ仕度ハトノヒ、味醂モ恵美子ノ銀行ニ配給ガアツテヨカッタ 船橋へモ少シ持タセ
テヤル

◆▼380ページ◆▼ 補遺

本年ハ陸軍ノ仕事ガ決定シタ事ハ何ニヨリノ成果デアツタ 多年ノ宿願ガカナツタ訳デ
特ニ年末ニ爆雷装置ヲ一週間デ仕上ゲタコトモ又大キナ収穫デアツタ 此意氣ヲ以テ
來年度ハ何ニガ何ンデモ軍ノ仕事ヲ達成セネバナラナイ

神佛に 御礼申して 來る年も 加護を祈りて 春を迎へる
十二月卅一日夜 九時

▲▼423ページ▲▼ 支出録

3.10 晝食板垣 1.90

船橋—津田沼 10

11 電車 22

12 朝食 1.20

晝食 1.95

新聞 04

▲▼424ページ▲▼ 昭和十八年出納表

父保儉	256,50	地租
和子	62,00	所得税
恵美子保険	46,00	
仁三郎	151,50	家屋税
父保儉	256,50	所得税
和子	62,00	地租
エミ子	46,00	所得税
徳治	321,00	所得税家屋税
	1,201,50	

盆栽	自18-1至18-12	5,40
航空學會	自18-1至18-6キ	5,00
主人觀世音	自17-5至18-4五月拂込	3
キチ	自17-9至18-8	3
国風盆栽会	自17-12至18-11	1